

**Canon**

コントロールROM

# CR-MES/MEN

F359ユーザーズガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

# はじめに

このたびは、キャノンコントロールROM（CR-MES、CR-MEN）をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本書はコントロールROMでご利用いただけるエミュレーションモード（以降F359エミュレーションモードと呼びます）の各種の機能や操作パネルを使った操作のしかた、およびエミュレーションモードで使用できる制御命令などを詳しく説明しています。本書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、本書をお読みになる前に、必ずLBPシリーズの取扱説明書をお読みください。

本書は、LBPシリーズ付属の「ユーザズガイド」および「LIPS機能ガイド」といっしょにご活用ください。

Canon、Canonロゴ、LBP、LIPSは、キャノン株式会社の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## ご注意

- 本書の内容を無断で転載することは禁止されております。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

# 本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

## 第1章 ご使用になる前に

F359エミュレーションモードの特長を紹介します。

---

## 第2章 F359モードの解説

F359エミュレーションモードの概要とエミュレーションモードの持ついろいろな機能について説明します。

本エミュレーションモードを初めてお使いになるときや、エミュレーションモードの機能の全容を知りたいときにお読みください。

---

## 第3章 F359モードの設定

操作パネルを使って行うことのできるF359エミュレーションモードのメニュー設定と、その操作について説明します。

本エミュレーションモードで作業するときにお読みください。

---

## 第4章 制御命令

FMモードの制御命令およびLBPシリーズ専用の制御命令について説明します。独自にプログラミングを行われるときにお読みください。

---

## 付 録

F359エミュレーションモードをお使いになるときの注意事項や制限事項、初期状態の設定値、テストプリントのサンプルなどを掲載します。

必要に応じてお読みください。

## 本書で使用している記号

本書では、説明を分かりやすくするために、いろいろな記号を使用しています。



：操作の手順を説明しています。



：詳細な説明や、補足的な説明を行っています。



：ご使用上の注意事項や制限事項を説明しています。



：製品の破損などにつながる注意事項を説明しています。



：関連事項が説明されているページを知らせます。《P.ページ》



：制御命令のパラメータを説明しています。

## 対応機種について

お使いのLBPシリーズによっては、本コントロールROMを使用できない機種があります。

本コントロールROMが使用できるかどうかについては、LBPシリーズに付属の「設置ガイド」または「ユーザーズガイド」をご覧ください。

# 目次

第1章 ご使用になる前に	1-1
1.1 F359モードの特長	1-2
1.2 F359モードを使用する準備	1-5
1.3 PCF-359との互換性について	1-7
第2章 F359モードの解説	2-1
2.1 用紙のセット	2-2
2.2 ページフォーマット	2-3
2.2.1 ページフォーマットの種類	2-8
(1) 実寸で縦に印刷する【ジッスンタテ：Fmode 1】	2-9
(2) 実寸で横に印刷する【ジッスンヨコ：Fmode 2】	2-11
(3) 連続用紙（10×11インチ）をA4縦に印刷する【10" →A4タテ：Fmode 3】	2-12
(4) 連続用紙（15×11インチ）をA4横に印刷する【15" →A4ヨコ：Fmode 4】	2-14
(5) 連続用紙（15×11インチ）をB4横に印刷する【15" →B4ヨコ：Fmode 6】	2-16
(6) カット紙B4をA4縦に印刷する【B4→A4タテ：Fmode 7】	2-18
(7) カット紙B4をA4横に印刷する【B4→A4ヨコ：Fmode 8】	2-20
2.2.2 1ページの文字数と行数	2-22
2.3 ワイド領域に印刷する	2-23
2.3.1 ワイド領域モードのページフォーマット	2-23
(1) 連続用紙（10×11インチ）をA4縦いっぱい印刷する 【10" →A4タテ：Fmode 3：ワイド領域】	2-23
(2) 連続用紙（15×11インチ）をA4横いっぱい印刷する 【15" →A4ヨコ：Fmode 4：ワイド領域】	2-25
(3) 連続用紙（15×11インチ）をB4横いっぱい印刷する 【15" →B4ヨコ：Fmode 6：ワイド領域】	2-26
(4) カット紙B4をA4縦いっぱい印刷する 【B4→A4タテ：Fmode 7：ワイド領域】	2-27
(5) カット紙B4をA4横いっぱい印刷する 【B4→A4ヨコ：Fmode 8：ワイド領域】	2-28

2.3.2	ワイド領域での1ページの文字数と行数	2-29
2.4	ページフォーマットと用紙サイズの関係	2-30
2.5	印字領域と印字動作	2-33
2.5.1	印字領域の上端での印字動作	2-33
2.5.2	印字領域の左端での印字動作	2-36
2.5.3	印字領域の下端での印字動作	2-38
2.5.4	印字領域の右端での印字動作	2-40
2.6	F359モードの拡張機能	2-41
2.6.1	ページオーバレイ機能	2-41
	(1) システムページ	2-42
	(2) ユーザページ	2-44
2.6.2	複写用紙機能	2-47
2.6.3	マクロ機能	2-52
2.6.4	行桁固定機能	2-56
2.6.5	2ページ印刷機能	2-61

### 第3章 F359モードの設定 .....3-1

3.1	F359モードの設定項目の種類	3-2
3.2	F359モードの設定	3-5
3.2.1	ページレイアウトグループ	3-5
	(1) ページフォーマットを設定する (ページフォーマット)	3-5
	(2) 上余白を設定する (ウエヨハク)	3-7
	(3) 用紙位置を左右に微調整する (ヨウシイチビチヨウセイ)	3-9
	(4) 印字領域を設定する (リョウウイキ)	3-11
	(5) 右マージンの位置を設定する (ミギマージンキテイチ)	3-12
	(6) 用紙サイズを設定する (ヨウシサイズ)	3-13
	(7) 2ページ分のデータを1ページに印刷する (2ページインサツセツテイ)	3-14
3.2.2	行桁固定グループ	3-15
	(1) 改行ピッチを自動的に設定する (ギョウコテイキノウ)	3-15
	(2) 文字ピッチを自動的に設定する (ケタコテイキノウ)	3-16
	(3) 1ページの行数を設定する (ギョウスウ)	3-17

(4) 1行の文字数を設定する (ケタスウ).....	3-18
(5) 漢字の文字ピッチを設定する (カンジピッチ) .....	3-19
<b>3.2.3 フォントグループ</b> .....	3-20
(1) 漢字の書体を設定する (カンジショタイ) .....	3-20
(2) オプションの漢字書体を設定する (フォントID) .....	3-21
(3) OCR文字を設定する (OCRモジ).....	3-22
(4) 漢字サイズを設定する (カンジサイズ) .....	3-24
<b>3.2.4 印字機能グループ</b> .....	3-25
(1) イメージデータの補正を設定する (イメージノホセイ) .....	3-25
(2) システムページのオーバーレイ印字を設定する (システムオーバーレイ) ...	3-26
(3) マクロ機能を設定する (スタートアップマクロ) .....	3-28
(4) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する (ユーザオーバーレイ1) .....	3-29
(5) ユーザページ2のオーバーレイ印字を設定する (ユーザオーバーレイ2) .....	3-30
<b>3.2.5 印字動作グループ</b> .....	3-31
(1) 自動排紙の時間を設定する (ジドウハイシ) .....	3-31
(2) ヘキサ形式モード後の改行を設定する (HEXモードゴノLF) .....	3-32
(3) 右マージン動作 (ミギマージンドウサ) .....	3-32
<b>3.2.6 VFCグループ</b> .....	3-33
(1) ページ長を設定する (チョウヒョウページチョウ) .....	3-33
(2) ミシン目スキップ行数を設定する (ミシンメスキップ) .....	3-35
<b>3.2.7 その他のグループ</b> .....	3-36
(1) FM/F9450モードを切り替える (コマンドモード) .....	3-36
(2) 登録データの削除方法を設定する (トウロクレベル) .....	3-37
(3) ヘキサ形式モードを設定する (HEX/LIPSキノウ).....	3-38
(4) フォーム登録時のLIPSモードを設定する (LIPSフォーム).....	3-40

## 第4章 制御命令 ..... 4-1

<b>4.1 制御命令の種類</b> .....	4-2
(1) FMモードの基本制御命令 .....	4-4
(2) FMモードの拡張制御命令 .....	4-4
(3) LBPシリーズ専用命令 .....	4-7

4.2 F359モードの制御命令	4-9
4.2.1 基本制御命令	4-9
(1) 後退	4-9
(2) 水平タブ位置への移動	4-9
(3) 改行	4-10
(4) 垂直タブ位置への移動	4-10
(5) 改ページ	4-10
(6) 復帰	4-11
(7) データ削除	4-11
(8) 1文字削除	4-11
4.2.2 [ESC]シーケンス	4-12
(1) 漢字モードの指定 (JIS78) SCS	4-12
(2) 漢字モードの指定 (JIS83) SCS	4-12
(3) ANK文字モードの指定SCS	4-12
(4) 復帰改行NEL	4-13
(5) 水平タブ位置の設定HTS	4-13
(6) 垂直タブ位置の設定VTS	4-14
(7) プリンタのリセット処理RIS	4-14
4.2.3 [CEX]シーケンス	4-15
(1) 水平相対位置への移動PS	4-16
(2) 水平・垂直絶対位置への移動SAP	4-16
(3) 水平タブ位置の設定STF	4-17
(4) 漢字の文字ピッチの指定CP	4-18
(5) 改行ピッチの設定LP	4-18
(6) 漢字の拡大指定KGM	4-19
(7) ANK文字の書体指定TF	4-20
(8) 左右マージン位置の設定LC	4-20
(9) 漢字のアンダーラインの指定HL	4-22
(10) 漢字縦倍指定時の印字位置の指定 (中央合わせ) KSM	4-22
(11) 漢字縦倍指定時の印字位置の指定 (下端合わせ) KRM	4-23
(12) 文字の登録 (24×24ドット構成) CPT	4-23
(13) 復帰改行NEL	4-24

(14) 復帰改行 (左マージン位置1) KNL1	4-25
(15) 復帰改行 (左マージン位置2) KNL2	4-25
(16) 復帰改行 (段落) NPH	4-26
(17) 逆方向水平タブ位置への移動CHBT	4-26
(18) 逆方向垂直タブ位置への移動LBT	4-27
(19) 水平タブ位置の設定SCT	4-28
(20) 水平タブ位置の解除RCT	4-29
(21) 垂直タブ位置の設定SLT	4-29
(22) 垂直タブ位置の解除RLT	4-29
(23) 漢字縦書きモードの指定VWF	4-30
(24) 漢字横書きモードの指定HWF	4-30
(25) 上付き文字の指定SSP	4-31
(26) 上付き文字の解除ESP	4-32
(27) 下付き文字の指定SSB	4-32
(28) 下付き文字の解除ESB	4-33
(29) プロポーショナルピッチの指定SPS	4-34
(30) プロポーショナルピッチの解除EPS	4-34
(31) プリンタのリセット処理RBS	4-35
<b>4.2.4 [CSI]シーケンス</b>	4-36
(1) 水平絶対位置への移動HPA	4-37
(2) 水平相対位置への移動 (右方向) HPR	4-37
(3) 垂直絶対位置への移動VPA	4-38
(4) 垂直相対位置への移動 (下方向) VPR	4-39
(5) 水平・垂直絶対位置への移動HVP	4-40
(6) 水平／垂直タブ位置の解除TBC	4-41
(7) 水平相対位置への移動 (左方向) HPB	4-41
(8) 垂直相対位置への移動 (上方向) VPB	4-42
(9) ANK文字のアンダーラインの指定SGR	4-42
(10) ANK文字の横幅拡大指定GSM	4-43
(11) プロポーショナルピッチのスペース幅の設定TSS	4-44
(12) 改行ピッチ／ANK文字ピッチの設定SPI	4-44
(13) 水平タブ位置の設定HTSA	4-45

4.2.5	[PUT]シーケンス	4-46
	(1) 垂直タブ位置の設定VTSA	4-47
	(2) ページ長の設定 (行単位) PGL1	4-47
	(3) ページ長の設定 (インチ単位) PGL2	4-48
	(4) 改行ピッチの設定LP2	4-49
	(5) ミシン目スキップ行数の設定SPF	4-49
	(6) 水平絶対位置への移動HPA2	4-50
	(7) 左マージン位置の設定LMRG	4-50
	(8) 単密度倍幅ドット列イメージの印字SIMG	4-51
	(9) ドット列イメージの印字NIMG	4-53
	(10) 倍幅ドット列イメージの印字DIMG	4-54
	(11) カットシートフィーダの制御CSF	4-55
	(12) 漢字縦倍指定時の印字位置の指定KUPF	4-56
	(13) 漢字縦書き時の半角文字の印字HVWF	4-57
	(14) 漢字縦書き時の印字方式の指定VWF2	4-58
	(15) 罫線接続の指定KC	4-58
	(16) 漢字未定義コード印字の指定KUDC	4-59
	(17) 1バイト半角文字の印字HSS2	4-59
4.3	LBPシリーズ専用命令	4-60
4.3.1	フォーム作成の制御命令	4-61
	(1) ユーザページの登録	4-61
	(2) ユーザページの登録終了	4-62
	(3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録	4-62
	(4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了	4-65
	(5) 複写ページの登録	4-65
	(6) 複写ページの消去	4-66
	(7) 複写用紙のオーバーレイ印字開始	4-66
	(8) 複写用紙のオーバーレイ印字終了	4-67
4.3.2	文字修飾の制御命令	4-68
	(1) 漢字の文字ピッチの指定	4-68
	(2) 漢字の拡大／縮小指定	4-69
	(3) ANK文字の文字ピッチの指定	4-70

(4) ANK文字の拡大／縮小指定 .....	4-71
(5) 強調印字の指定／解除 .....	4-72
(6) 上付き／下付き文字の指定 .....	4-73
(7) 全文字印字 .....	4-73
<b>4.3.3 マクロ機能の制御命令</b> .....	4-74
(1) マクロの登録 .....	4-74
(2) マクロの実行 .....	4-75
(3) マクロの削除 .....	4-75
(4) マクロの追加登録 .....	4-76
<b>4.3.4 LIPSモードの制御命令</b> .....	4-77
(1) LIPS-ヘキサ形式モードの開始 .....	4-77
<b>4.3.5 そのほかの制御命令</b> .....	4-79
(1) 右マージンの設定 .....	4-79
(2) ヘキサ形式データの設定 .....	4-80
<b>付 録</b> .....	app.1
<b>付録1. F359モードの注意と制限</b> .....	app.1
(1) 解像度の違いについて .....	app.1
(2) 文字セット・フォントパターンについて .....	app.2
(3) そのほかの制限 .....	app.3
<b>付録2. 初期状態</b> .....	app.6
<b>付録3. F359ステータスプリント</b> .....	app.16
<b>付録4. 内蔵フォームの印字サンプル</b> .....	app.17
<b>付録5. コード表</b> .....	app.22
(1) 1バイトコード表 .....	app.22
(2) FMモードの2バイトコード表 .....	app.23
(3) F9450モードの2バイトコード表 .....	app.35
(4) JEF拡張非漢字コード表 .....	app.41

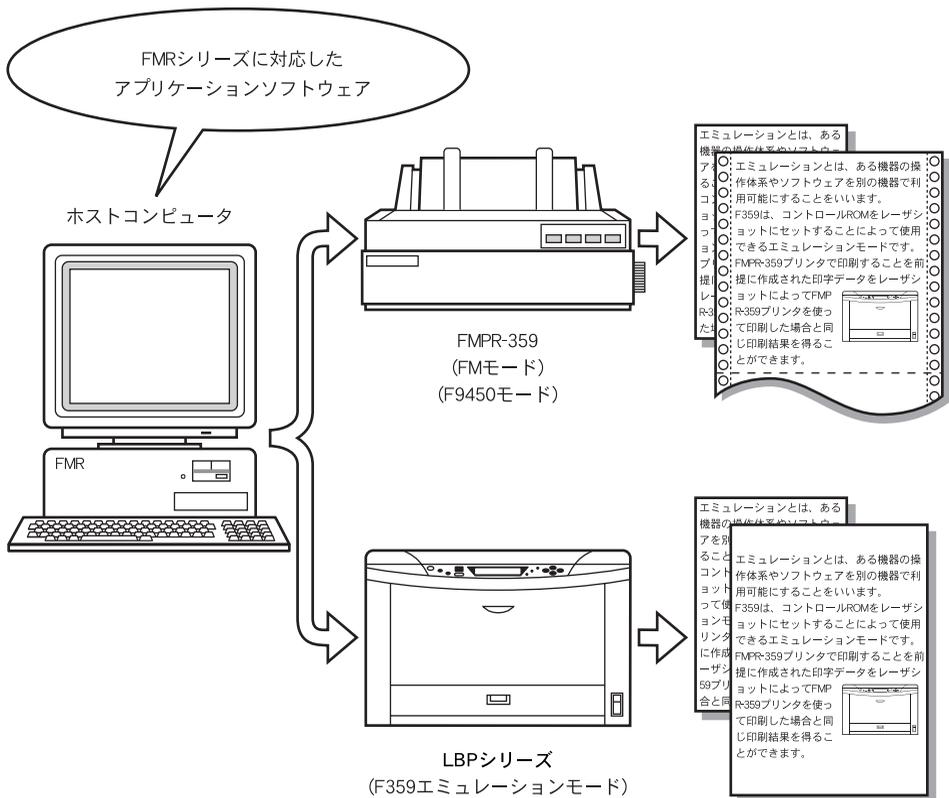
# 1

## ご使用になる前に

コントロールROM (CR-MES、CR-MEN) をLBPシリーズにセットすることによって、F359エミュレーションモードをご利用いただけます。

LBPシリーズの動作モードが本コントロールROMのF359エミュレーションモードに切り替わることによって、FMPR-359プリンタを使って印字したときと同等の印字を行うことができます。

LBPシリーズのLIPSモードに対応していないアプリケーションソフトウェアなどをお使いのときは、アプリケーション側でプリンタ機種にFMPR-359（または同等の機種）を指定し、本エミュレーションモードをご利用ください。



## 1.1 F359モードの特長

### FMモードとF9450モードをエミュレーション

F359エミュレーションモードは、FMPR-359の持つFMモードとF9450モードの両方の印字動作をエミュレーションします。FMRシリーズでご利用のオペレーティングシステムに合わせてエミュレーションモードを選べます。エミュレーションモードの切り替えは、操作パネルのセットアップメニュー（F359グループ）によって行えます。《☞ P.3-36》

### 豊富な書体をサポート

FMPR-359の持っているすべての文字フォントに対応する専用のフォントが用意されています。FMモードでは、明朝10cpi、12cpi、明朝18cpi、プロポーション文字、1バイトコード半角文字、全角／半角文字、富士通特殊非漢字を持ち、F9450モードでは、明朝10cpi、18cpi、OCR文字（OCR-B）、全角／半角文字、JEF漢字を持っています。また、明朝体のほか、ゴシック体、丸ゴシック体（丸ゴシック体がプリンタに搭載されている場合のみ）、OCR文字（OCR-A、OCR-B、OCR-カナ）を使用できます。

### ページのレイアウトを活かした印字

FMPR-359と同じサイズ用紙をセットすれば、FMPR-359と同じレイアウトで印字できることはもちろんですが、印字する用紙に応じて印字データを縮小してレイアウトを変えずに印字することもできます。たとえば、連続用紙に印字するためのデータをレイアウトを変えずに、そのままカット紙に印字したり、B4サイズのデータをA4サイズのカット紙に印字したりすることが可能です。《☞ P.2-3》

### 1ページの文字数や行数を簡単に決定

1ページに印字したい行数や文字数が決まっていれば、その行数や文字数に合わせて改行ピッチと文字ピッチを自動的に設定できます。また、文字幅の異なる漢字と英数字を混ぜて印字したときに、文字がきれいにそろうように文字間隔を調整することもできます。この機能を行桁固定機能といいます。この機能は、操作パネルのセットアップメニュー（F359グループ）によって利用できます。《☞ P.2-56》

## 用紙を無駄なく活用した印字 .....

印字データを縮小すると、用紙の上下、左右の余白ができることがあります。

このようなとき、印字領域をワイド領域にすることによって、文字数や行数を用紙サイズいっぱいまで広げて印字することができ、用紙を無駄なく使えます。

《☞ P.2-23》

## 設定しやすいメニュー構造 .....

このエミュレーションモードでは、操作パネルを使って印字に必要ないろいろな設定を行うことができます。印字設定の項目はメニュー形式で並んでおり、ディスプレイに表示されるメニューにしたがって簡単に探すことができます。それぞれの設定は、操作パネルのセットアップメニュー（F359グループ）で行うことができます。《☞ P.3-1》

## 印字設定はメモリに登録 .....

メニューなどで設定した印字環境は、自動的に不揮発性メモリに登録されます。ですから、いったん設定値を登録してしまえば、他の動作モードに移ったり、電源をオフ（同等のリセット処理も含まれます）にしたりしても、いつでも同じ設定で印字を行うことができます。

## 印字データと定型フォームを重ねて印字 .....

ページ全体を枠取りしたり、1行おきに網や横罫を入れたりするデータをページ単位であらかじめ用意しておき、プログラムリストや帳票データなどを印字する際に、重ねて印字することができます。この機能をページオーバーレイ機能といい、重ねる罫線や網かけデータをフォームといいます。

LBPシリーズには、5種類の汎用的なフォームが登録されていますが、必要に応じてユーザー独自のフォームを作成し、登録することもできます。《☞ P.2-41》

## バックカーボン付き複写用紙のような印字が可能 .....

バックカーボン付き複写用紙を使用したときと同じように、1ページの印字データを送るだけで、複写枚数分の印字を行えます。この機能を複写用紙機能といいます。それぞれの複写ページには、共通の枠や罫線などをオーバーレイ印字することができるほか、異なるタイトル名などをページごとにオーバーレイ印字することもできます。《☞ P.2-47》

## 定型的な処理を登録 .....

一連の処理を行う制御命令の手順や、文字・イメージなどのデータが繰り返し使用される場合は、それらのデータを登録し、必要なときに呼び出して実行することができます。この機能をマクロ機能といいます。マクロを使うと、同じ印字データを繰り返し送る必要がなくなるため、印字処理を効率化できます。マクロの登録や実行は制御命令によって行えます。《☞ P.2-52》

また、制御命令でリセット処理が行われた場合に自動的に特定のマクロを実行することもできます。このマクロをスタートアップマクロといい、操作パネルのセットアップメニュー（F359グループ）で設定できます。《☞ P.3-28》

## 2ページのデータを見開きで印字 .....

A4サイズやB5サイズの用紙2ページ分の内容を、A3サイズやB4サイズの用紙に見開きになるように印字することができます。印字した文書を二つ折りにしてとじるときなどに便利です。

なお、文書のとじかたに応じて、右開きまたは左開きになるようにページの向きを設定することも可能です。《☞ P.2-61》

## 1.2 F359モードを使用する準備

コントロールROM (CR-MES、CR-MEN) をLBPシリーズにセットすることによって、LBPシリーズに内蔵されたLIPSモード (LIPSⅡ+、LIPSⅢ、LIPSⅣ)、N201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードのほかに、FMPR-359プリンタのFMモードとF9450モードをエミュレートすることができるようになります。

印字を行うときのLBPシリーズのモード (動作モードといいます) は、送られてくる印字データを判別して自動的に切り替わりますので、特に設定する必要はありません。ただし、動作モードの自動切り替えがうまくいかなかったり、印刷が正常に行えない場合は、動作モードを本エミュレーションに設定してください。

使用するモードが決まっているときなどは、動作モードの設定を本エミュレーションに設定することをお勧めします。詳しくは、LBPシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。

また、セントロニクスインタフェースで使用している場合に、動作モードを固定しても正常に印刷されないときは、以下の操作を行ってください。

- (1) 専用インタフェースケーブルを使用してください。
- (2) インタフェースの設定を「セントロニクス」に設定し、ハードリセットまたは電源のオフ/オンをしてください。

詳しくは、LBPシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。



ハードディスクを装着しているプリンタで本エミュレーションを使用する場合、「タイムアウト」を無効 (シナイ) に設定すると正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。



■F359エミュレーションモードは、従来のLBPシリーズで使用できるPCF-359/3コントロールカードの機能を継承し、かつ新しいLBPシリーズに対応したFMPR-359のエミュレーションモードです。

■コントロールROM (CR-MES、CR-MEN) をLBPシリーズに取り付ける手順については、LBPシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。

本エミュレーションモードには、FMモードとF9450モードの2種類のコマンドモードがあります。

EPOシリーズなどのAPCS上で動作するアプリケーションソフトウェアからデータを送る場合は、メニューにある「コマンドモード」をF9450モードに設定してください。

MS-DOS、Windowsのアプリケーションソフトウェアからデータを送る場合は、FMモードに設定してください。

工場出荷時の設定では、FMモードになっています。F9450モードでお使いになる場合は、セットアップメニューによってモードを切り替えてください。



「3.2.7 その他のグループ (1) FM/F9450モードを切り替える」《☞ P.3-36》



オンラインエミュレータ等の特殊なハンドシェイクを必要とするアプリケーションを使用する際はLIPSのジョブが終了したことを確認してから起動してください。

## 1.3 PCF-359との互換性について

コントロールROMのF359エミュレーションモードは、旧コントロールカードPCF-359のエミュレーションと次の点などで異なります。

旧エミュレーションモードをご利用の方は、本エミュレーションモードをご利用になる前に、ここの説明をよくお読みください。

### ページフォーマットFmode 4, 7, 8のイメージ印字

旧エミュレーションモードでは、ページフォーマットFmode 4, 7, 8のときにイメージを実寸で印字していましたが、本エミュレーションモードでは、LBPシリーズの解像度が600dpiまたは300dpiであるため同じ大きさに見えるように印字するためイメージを拡大しています。

### 文字フォント

文字フォントのデザインが旧エミュレーションモードと異なります。

### メニューの操作とリセット処理

旧エミュレーションモードでは、操作パネルによって排紙やメニュー操作を行ったときに一部のメニュー操作を除き印字パラメータが保持されていましたが、本エミュレーションモードでは、それらの操作を行った場合にジョブ終了が行われます。

### イメージの展開

旧エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度240dpiと、本エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度600dpiまたは300dpiとの違いから、イメージの展開方法が異なります。本エミュレーションモードでは、イメージの印字方法をメニューの「イメージノホセイ」で選択できます。

### 登録文字の印字

エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度の違いによって、登録文字はパターンを拡大して登録します。

## 複写用紙機能の開始

複写用紙機能の開始を指定した場合、旧エミュレーションモードでは現在ページから機能が有効になりましたが、本エミュレーションモードでは現在のページに影響を与えず、次ページから有効になります。

## システムページのフォーム

オーバーレイ印字を行うシステムページの定形フォームの矩形罫線は、旧エミュレーションモードでは1ページ内の印字可能行数を元に罫線を描いていましたが、本エミュレーションモードでは有効印字領域を元に描きます。

また、システムページ2および5の網かけの順序は、旧エミュレーションモードでは網罫から始まっていましたが、本エミュレーションモードでは網かけしない行から始まります。

## オーバーレイページの反転・上書き

旧エミュレーションモードではオーバーレイページに対して実ページの反転・上書き印字ができましたが、本エミュレーションモードではできません。

## 垂直タブセット

旧エミュレーションモードでは、FMモードのとき、TOF行に垂直タブ位置をセットできましたが、本エミュレーションモードでは、セットできません。

## スペース

旧エミュレーションモードでは、スペースコードは文字データとして扱っていませんでしたが、本エミュレーションモードでは、文字データとして扱います。したがって、スペースの後に排紙命令を受け取ると排紙動作が行われます。

## LIPS-ヘキサ形式モード

旧エミュレーションモードは、LIPS II+の命令のみ使用でき、LIPSのジョブ開始/終了命令、ソフトリセット命令は無効でしたが、本エミュレーションモードではLIPS命令に制限が緩和され、LIPSのジョブ開始/終了命令、ソフトリセット命令も有効になります。したがって、LIPSのジョブ終了命令でLIPS-ヘキサ形式モードを終了します。

また、従来はLIPS-ヘキサ中に登録したものはLIPS-ヘキサを終了するときに削除していましたが、本エミュレーションモードでは削除せず、登録されています。

また、本エミュレーションではF359モードで登録したのも、LIPS-ヘキサモードの開始／終了をしても削除されません。LIPS-ヘキサ中の登録は一時登録で行い、不用になった登録データは必ずLIPS-ヘキサ終了前にソフトリセット命令を発行して削除してください。

### LIPSの制御命令によるユーザページの登録

旧エミュレーションモードは、LIPS II+の命令のみ使用できましたが、本エミュレーションモードではメニューの「LIPSフォーム」で次の2種類のモードが選べます。

- メニューで「LIPS2」を選んだとき

旧エミュレーションモードと同様に、LIPS II+の命令のみ使用できます。

したがって、LIPSのジョブ開始命令やオーバーレイページ登録開始命令などが使用できません。

- メニューで「LIPS4」を選んだとき

LIPS命令に制限がなくなります。ただし、LIPSのジョブ開始命令やオーバーレイページ登録開始命令などが正しく送られなければなりません。

### エミュレーションモードの自動切り替え

本エミュレーションモード使用時は、動作モードを自動切り替えする機能は使用できません。

### フォント／解像度の違い

フォントおよび解像度に関連して、次のような違いがあります。

- 旧エミュレーションモードでは、240dpiのドットフォントを使用していましたが、本エミュレーションモードでは本体内蔵のスケラブルフォントを使用します。また、従来は240dpiで印字していましたが、本エミュレーションモード対応のLBPシリーズでは600dpiまたは300dpiで印字します。このため、印字結果や印字スピードが異なる場合があります。

- 解像度が異なるため、イメージの補正や登録文字の展開方法も異なります。

また、罫線文字はつねにイメージとして印字されます。

- 240dpi専用のイメージデータ、登録文字パターンデータは、従来と同じ大きさになるように補正されるため、印字するパターンが異なります。矩形罫線も線幅および太り方の違いがあるほか、4点に同一点を指定した場合描画されません。

- 旧エミュレーションモードでは、拡大文字をスケーラブルフォントで印字するかどうかをメニューで設定しましたが、本エミュレーションモードでは、すべてスケーラブルフォントで印字します。

### メニューとホルダー

本エミュレーションモードでは、排紙などのパネル操作を行った場合や、ジョブタイムアウトした場合に、メニューで設定した値にリセットされます。また、従来のホルダー機能は使用できません。

### フォント指定

LIPSの制御命令によるページ登録中は、LIPSのフォントが指定できます。また、LBPシリーズ専用命令による文字セットの選択では本体内蔵の漢字フォントのみ指定できます。

### 制御命令

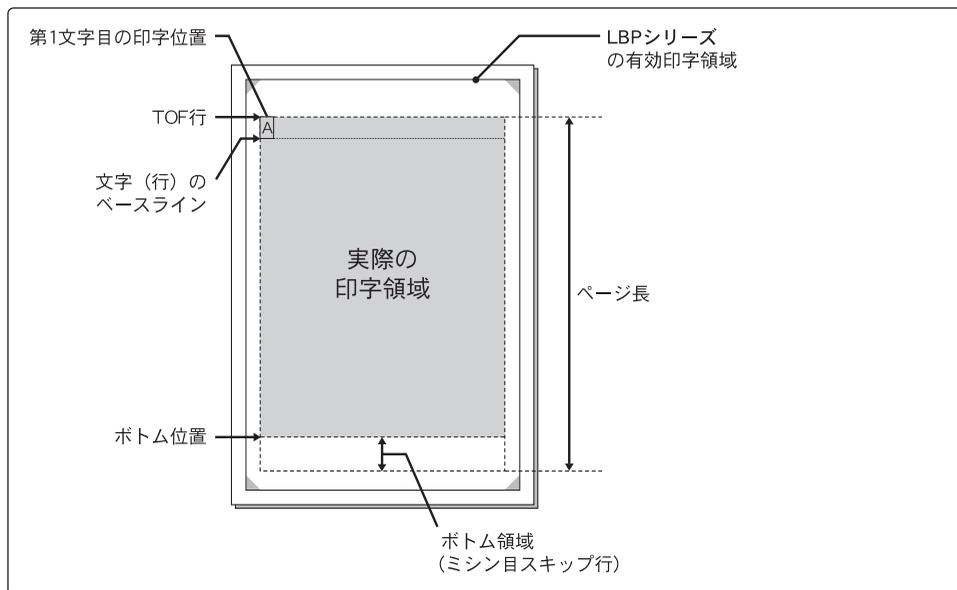
本エミュレーションモードでは、SUBシーケンスの拡張制御命令はサポートされません。

# 2

## F359モードの解説

本エミュレーションモードを使用して印字を行うときの用紙の向きと印字方向の関係や、FMPPR-359プリンタと同等の印字結果を得るための情報などについて説明します。

本エミュレーションモードでは、実際の用紙上での印字位置と印字領域について次の用語で説明しています。



### ■実際の印字領域

FMPPR-359プリンタ用に作成された印字データが、の領域に同等のレイアウトで印字されます。印字領域の位置とサイズは最初に決められていますが、LBPシリーズの有効印字領域内で変更できます。

### ■ページ長とボトム領域

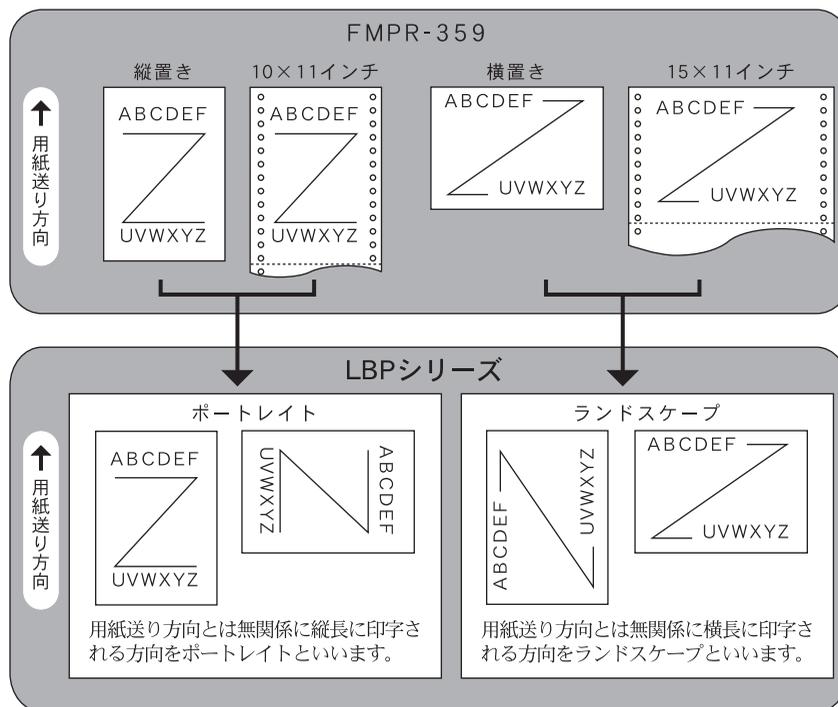
印字領域のページ長はLBPシリーズの有効印字領域内で任意の行数に変更することができます。また、印字しないで改ページする領域（ボトム領域）を設定することもできますので、連続用紙用に作成されたデータなども任意のレイアウトで印刷することができます。

## 2.1 用紙のセット

FMPR-359はカット紙や連続用紙に印字できます。印字方向は常に一定ですから、カット紙を縦置きや横置きにすることで縦長（ポートレイト）または横長（ランドスケープ）の文書を印字します。

これに対して、LBPシリーズは印字に際して用紙の方向（縦置き／横置き）を意識する必要はありません。操作パネルの設定によって縦長（ポートレイト）で印刷するか横長（ランドスケープ）で印刷するかが決まり、印字データ全体の向きを自動的に変換して印字します。また、連続用紙を想定した印字データもカット紙に印字します。

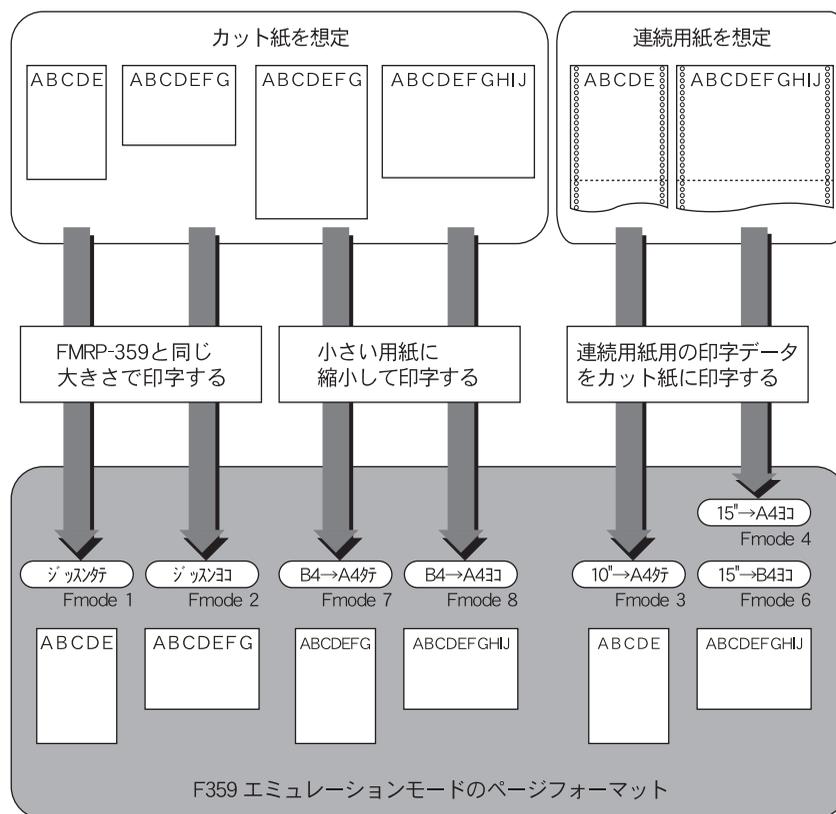
FMPR-359で印刷するときと本 エミュレーションモードで印刷するときの用紙セットの対応は次のとおりです。



## 2.2 ページフォーマット

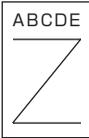
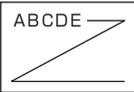
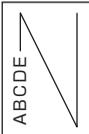
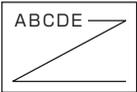
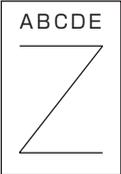
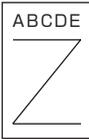
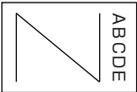
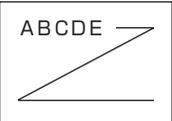
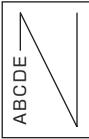
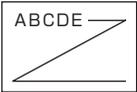
F359エミュレーションモードには、FMPR-359プリンタでの印刷を想定した様々なアプリケーションソフトウェアおよび印字データに対応するために、7種類のページフォーマットが用意されています。

ホストコンピュータ側で印字開始を指示する前に、想定されている用紙の種類（カット紙／連続用紙／用紙サイズ）や用紙の方向（縦置き／横置き）に合わせて、最適なページフォーマットを選んでおきます。



ページフォーマット名の右下にある名称（Fmode 1, 2, 3, 4, 6, 7, 8）は、各ページフォーマットに対応するモードNo.です。以後、本書の操作説明および制御命令の説明では、おもにこのモードNo.を使用しています。

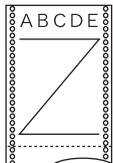
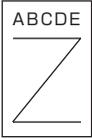
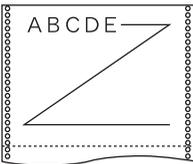
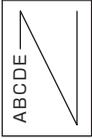
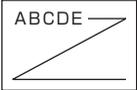
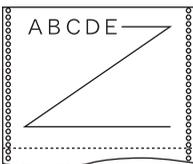
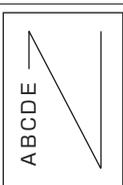
## ■カット紙のページフォーマット

ページ フォーマット	FMPR-359	F359エミュレーションモード	
		縦送り	横送り
ジッスタテ (Fmode 1)	縦置き 		ポートレイト 
	FMPR-359にカット紙を縦置きでセットすることを想定している印字データを実寸のポートレイトで印字します。		
ジッソヨコ (Fmode 2)	横置き 		ランドスケープ 
	FMPR-359にカット紙を横置きでセットすることを想定している印字データを実寸のランドスケープで印字します。		
B4→A4タテ (Fmode 7)	縦置き 		ポートレイト 
	FMPR-359にB4サイズのカット紙を縦置きでセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してポートレイトで印字します。		
B4→A4ヨコ (Fmode 8)	横置き 		ランドスケープ 
	FMPR-359にB4サイズのカット紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してランドスケープで印字します。		



- カット紙に対応したページフォーマットは、第1文字目が有効印字領域の左上端とほぼ同じ位置に印字されます。
- 操作パネルで設定されている用紙サイズにしたがってレイアウト・印字されます。  
「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 用紙サイズを設定する」《☞ P.3-13》
- 改ページの制御命令により、ページ長の設定に関わらず用紙1枚を排紙します。

## ■連続用紙のページフォーマット

ページ フォーマット	FMPR-359	F359エミュレーションモード	
		縦送り	横送り
10"→A4タテ (Fmode 3)	10×11インチ 	A4以上 	ポートレイト A4以上 
	FMPR-359に10×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してポートレイトで印字します。		
15"→A4ヨコ (Fmode 4)	15×11インチ 	A4以上 	ランドスケープ A4以上 
	FMPR-359に15×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してランドスケープで印字します。		
15"→B4ヨコ (Fmode 6)	15×11インチ 		ランドスケープ B4以上 
	FMPR-359に15×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをB4サイズに縮小してランドスケープで印字します。		



■連続用紙に対応するページフォーマットは、印字データを縮小して印字します。

■1ページに印字できる行数（改ページの位置）は、ページ長の設定によって異なります。

「3.2.2 行桁固定グループ（3）1ページの行数を設定する」《☞ P.3-17》

「3.2.6 VFCグループ（1）ページ長を設定する」《☞ P.3-33》

「3.2.6 VFCグループ（2）ミシン目スキップ行数を設定する」《☞ P.3-35》

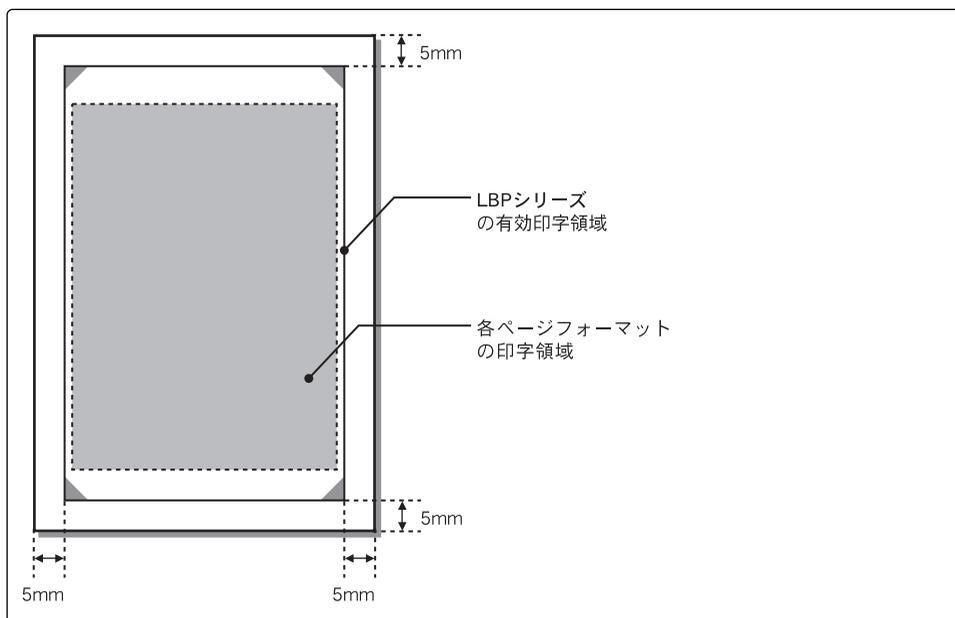
■用紙の余白を有効に活用するワイド領域モードが使用できます。

「3.2.1 ページレイアウトグループ（4）印字領域を設定する」《☞ P.3-11》

## 2.2.1 ページフォーマットの種類

本エミュレーションモードの7種類のページフォーマットについて説明します。それぞれのページフォーマットでは、FMPR-359プリンタと同等の印字結果を得られるように、印字データの縮小方法や、印字領域などが決められています。

なお、LBPシリーズの機械的な制限により、用紙の上下、左右5mmの範囲には印字できません。この余白を除いた印字可能な範囲を有効印字領域といいます。各ページフォーマットでは、この有効印字領域内に、FMPR-359用に作成された印字データが収まるように、それぞれ印字領域が定められています（設定によって、実際の印字領域は有効印字領域内で変更可能です）。



図に示されている周囲の空きを示す値はLBP-730で本エミュレーションを使用した場合の参考値です。

尚、以降の図や文中に示されている値も同様です。



ページフォーマットはメニューの「ページフォーマット」で設定します。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (1) ページフォーマットを設定する」 《☞ P.3-5》

## (1) 実寸で縦に印刷する【ジッスタテ：Fmode 1】

FMPR-359にカット紙を縦置きにセットして印字するときのデータを、実寸のサイズでポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。

改行ピッチ、文字間隔は、FMPR-359と同一です。

### ■用紙サイズ

A3、B4、A4、B5、A5、はがきの6種類のサイズの用紙を使用できます。

用紙サイズは、メニュー操作または制御命令で設定したサイズになります。

初期状態の用紙サイズは、LBPシリーズでは現在選択されている給紙元の用紙サイズになります。

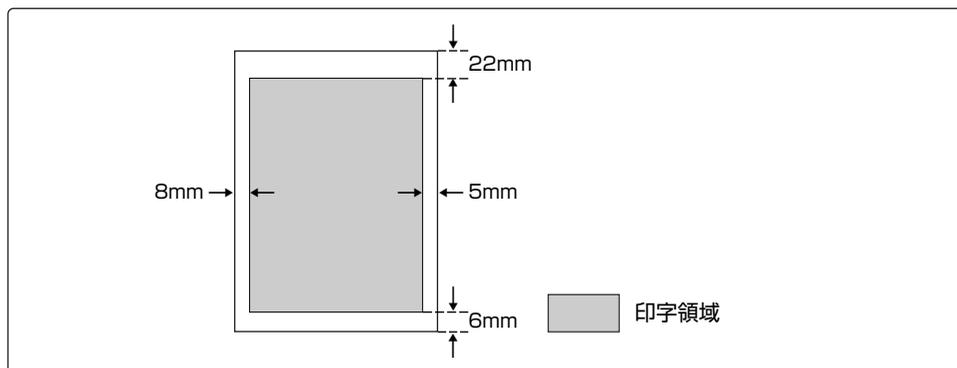
### ■文字の印字

ANK文字および漢字を10ポイントの文字フォントで印字します。ただし、メニューの「カンジサイズ」によって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は10ポイントのままです）。

### ■イメージの印字

FMPR-359の解像度とLBPシリーズの解像度の違いにより、1ドットを約1.67ドット（300dpi）に拡大して印字します。

### ■印字領域



#### ■第1文字目の印字位置

TOF行は用紙の上端から約22mmの位置になり、第1文字目の印字位置は、有効印字領域の左端とほぼ同じ位置になります。

### ■印字データの折り返し位置

メニューの「ミギマージンキテイチ」の設定によって、行の折り返しかたが変わります。初期状態は「136ケタ」に設定されています。

- 「136ケタ」：用紙サイズに関係なく印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。
- 「ミギハシ」：印字する用紙サイズの有効印字領域の右端（用紙端から5mm内側）が折り返し位置になります。右端を越えた印字データは、次行の左端に折り返して印字します。



「ミギマージンドウサ」を「データスキップ」に設定している場合、印字データは折り返されず、行末までのデータが無視されます。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (5) 右マージンの位置を設定する」《☞ P.3-12》

「3.2.5 印字動作グループ (3) 印字データが右マージン位置を越えた場合の動作を設定する」《☞ P.3-32》

### ■ページ長

メニューの「チョウヒョウページチョウ」が「システム」（初期状態）に設定されているときは、現在の用紙サイズにしたがったページ長に決まります。このときのボトム位置はFMPPR-359のカットシートフィーダが用紙の終わりを検出する位置とほぼ同じ位置です。「チョウヒョウページチョウ」で行数が設定されているときは、設定されているページ長になります。

「3.2.6 VFCグループ (1) ページ長を設定する」《☞ P.3-33》

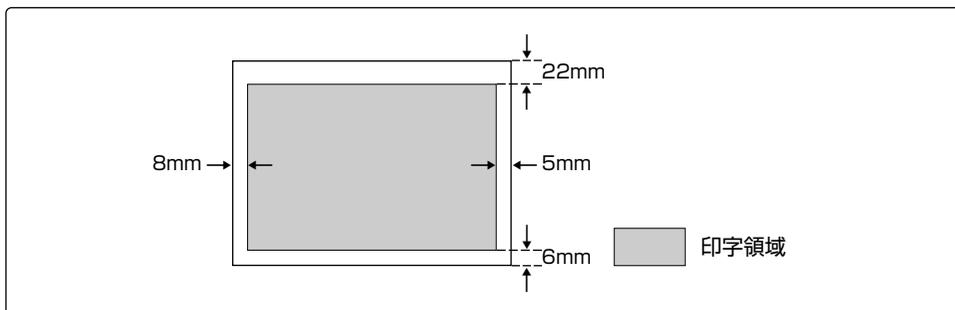
## (2) 実寸で横に印刷する【ジッスンヨコ：Fmode 2】

FMPR-359にカット紙を横置きにセットして印字するときのデータを、実寸のサイズでランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。

改行ピッチ、文字間隔は、FMPR-359と同一です。

用紙サイズ、文字の印字、イメージの印字、印字領域などについては、「ジッスンタテ」（Fmode 1）と同じです。

### ■印字領域



B4、A3サイズの内紙を使用する場合は、印字領域の左右に若干余白が空きます。

### (3) 連続用紙（10×11インチ）をA4縦に印刷する【10” →A4タテ：Fmode 3】

FMPR-359に10×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙（またはA4サイズ以上の用紙）にポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

#### ■縮小率

FMPR-359に10×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲（横方向8インチ、縦方向11インチ）を、横方向、縦方向ともに290/300倍に縮小します。

#### ■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのとおり縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

#### ■文字の印字

ANK文字および漢字を10ポイントの文字フォントで、文字ピッチをつめて印字します。

ただし、メニューの「カンジサイズ」によって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は10ポイントのままです）。

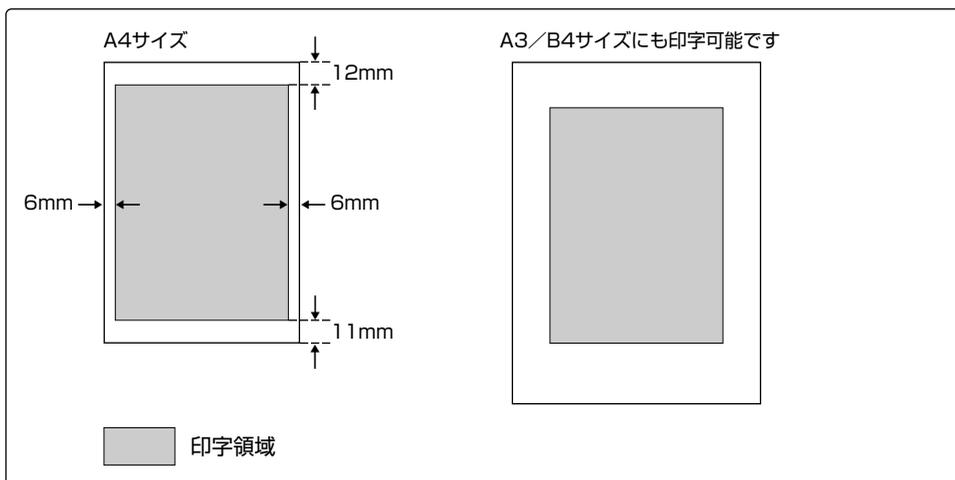
#### ■イメージの印字

FMPR-359の1ドットを約1.6ドット（300dpi）に拡大して印字します。

#### ■印字領域

##### ■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ（標準）では縮小率の関係でLBPシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3、B4サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左端に大きな余白ができます。



### ■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。



「ミギマージンドウサ」を「データスキップ」に設定している場合、印字データは折り返されず、行末までのデータが無視されます。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (5) 右マージンの位置を設定する」《P.3-12》

「3.2.5 印字動作グループ (3) 印字データが右マージン位置を越えた場合の動作を設定する」《P.3-32》

### ■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際の用紙上では約10.7インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

#### (4) 連続用紙 (15×11インチ) をA4横に印刷する【15” →A4ヨコ : Fmode 4】

FMPR-359に15×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙 (またはA4サイズ以上の用紙) にランドスケープ (横置きと同じ印字結果になる) で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

##### ■縮小率

FMPR-359に15×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲 (横方向13.6インチ、縦方向11インチ) を、横方向3/4倍、縦方向2/3倍 (横方向10.2インチ、縦方向7.3インチ) に縮小します。

##### ■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのとおり縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

##### ■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで印字します。ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります (ANK文字は8ポイントのままです)。

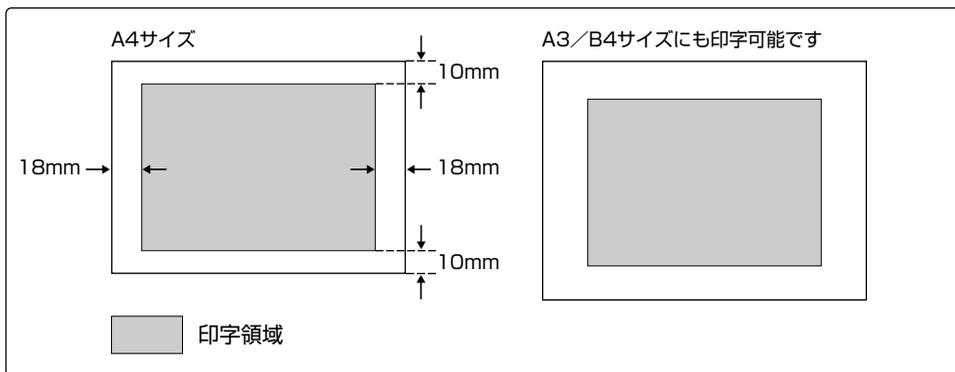
##### ■イメージの印字

FMPR-359の1ドットを約1.25ドット (300dpi) に拡大して印字します。

##### ■印字領域

###### ■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ (標準) では縮小率の関係でLBPシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3、B4サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左右端に大きな余白ができます。



### ■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。



「ミギマージンドウサ」を「データスキップ」に設定している場合、印字データは折り返されず、行末までのデータが無視されます。

「3.2.5 印字動作グループ (3) 印字データが右マージン位置を越えた場合の動作を設定する」《P.3-32》

### ■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際用の紙上では約8.3インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

## (5) 連続用紙 (15×11インチ) をB4横に印刷する【15” →B4ヨコ : Fmode 6】

FMPR-359に15×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してB4サイズのカット紙 (またはB4サイズ以上の用紙) にランドスケープ (横置きと同じ印字結果になる) で印字します。

印字データは、B4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

### ■縮小率

FMPR-359に15×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲 (横方向13.6インチ、縦方向11インチ) を、縦方向のみ約259/300倍 (横方向13.6インチ、縦方向9.5インチ) に縮小します。

### ■用紙サイズ

標準ではB4サイズを使用しますが、A3サイズでも印字できます。

B4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

### ■文字の印字

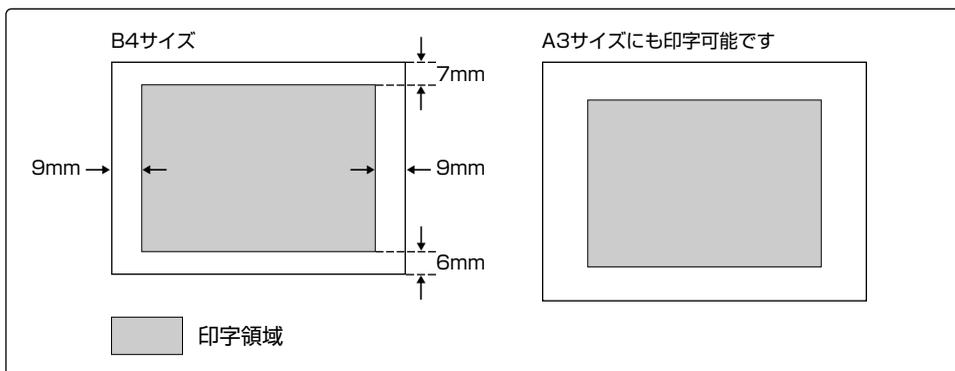
10ポイントの文字フォントを使用し、行ピッチのみ縮小して印字します (文字ピッチは実寸サイズになります)。

ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります (ANK文字は10ポイントのままです)。

### ■イメージの印字

FMPR-359の1ドットを横方向約1.6ドット (300dpi)、縦方向約1.4ドット (300dpi) に拡大して印字します。なお、横方向が実寸サイズで、縦方向のみ縮小されるため、横長のイメージになります。たとえば、真円は横長の楕円になってしまいます。

## ■印字領域



### ■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、B4サイズ（標準）では縮小率の関係でLBPシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左端に大きな余白ができます。

### ■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく有効印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。



「ミギマージンドウサ」を「データスキップ」に設定している場合、印字データは折り返されず、行末までのデータが無視されます。

「3.2.5 印字動作グループ (3) 印字データが右マージン位置を越えた場合の動作を設定する」〈☞ P.3-32〉

### ■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際用の紙上では約9.5インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

## (6) カット紙B4をA4縦に印刷する【B4→A4タテ：Fmode 7】

FMPR-359にB4サイズのカット紙を縦置きにセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙（またはA4サイズ以上の用紙）にポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

### ■縮小率

FMPR-359にB4サイズのカット紙を縦置きにセットしたときの印字範囲（横方向9.7インチ、縦方向13.9インチ）を、横方向、縦方向ともに3/4倍に縮小（横方向7.2インチ、縦方向10.4インチ）します。

### ■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの内紙を使用しても、A4サイズのとおり縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

### ■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで、文字ピッチおよび改行ピッチを3/4倍に縮小して印字します。

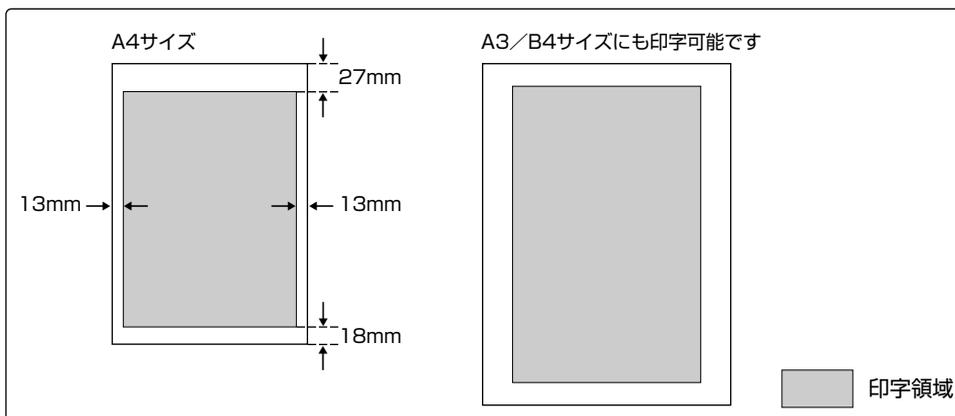
ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は8ポイントのままです）。

なお、印字できる文字数や行数は、「ジッスタテ」（Fmode 1）でB4サイズの内紙を使用した場合と同じです。

### ■イメージの印字

FMPR-359の解像度とLBPシリーズの解像度の違いにより、1ドットを約1.25ドット（300dpi）に拡大して印字します。

## ■印字領域



### ■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ（標準）では縮小率の関係でLBPシリーズの有効印字領域の左上端より少し内側になります。ただし、A3、B4サイズ用の紙を使用する場合は、印字領域の左右に若干余白が空きます。

### ■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく有効印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。



「ミギマージン」を「データスキップ」に設定している場合、印字データは折り返されず、行末までのデータが無視されます。

「3.2.5 印字動作グループ (3) 印字データが右マージン位置を越えた場合の動作を設定する」〈☞ P.3-32〉

### ■ページ長

メニューの「チョウヒョウページチョウ」が「システム」（初期状態）に設定されているときは、現在の用紙サイズにしたがったページ長に決まります。このときのボトム位置はFMPPR-359のカットシートフィーダが用紙の終わりを検出する位置とほぼ同じ位置です。「チョウヒョウページチョウ」で行数が設定されているときは、設定されているページ長になります。

「3.2.6 VFCグループ (1) ページ長を設定する」〈☞ P.3-33〉

## (7) カット紙B4をA4横に印刷する【B4→A4ヨコ：Fmode 8】

FMPR-359にB4サイズのカット紙を横置きにセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙（またはA4サイズ以上の用紙）にランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

### ■縮小率

FMPR-359にB4サイズのカット紙を縦置きにセットしたときの印字範囲（横方向13.6インチ、縦方向9.5インチ）を、横方向、縦方向ともに3/4倍に縮小（横方向10.2インチ、縦方向7.1インチ）します。

### ■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのとおり同じ縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

### ■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで、文字ピッチおよび改行ピッチを3/4倍に縮小して印字します。

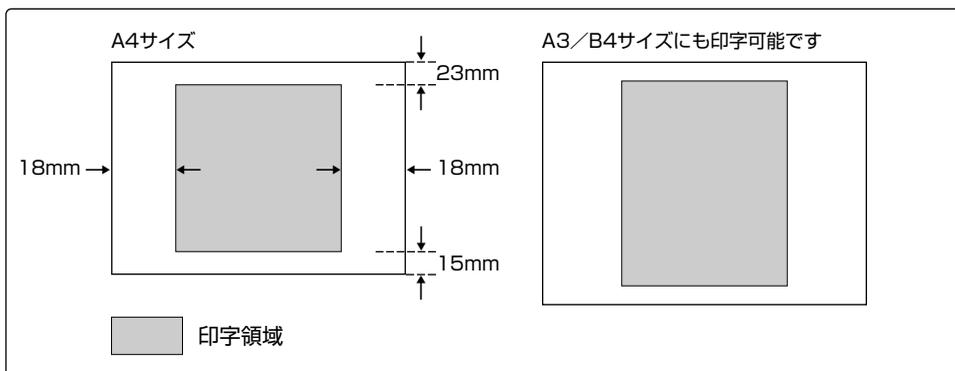
ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は8ポイントのままです）。

なお、印字できる文字数や行数は、「ジッスンヨコ」（Fmode 2）でB4サイズの用紙を使用した場合と同じです。

### ■イメージの印字

FMPR-359の解像度とLBPシリーズの解像度の違いにより、1ドットを約1.25ドット（300dpi）に拡大して印字します。

## ■印字領域



### ■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ（標準）では縮小率の関係でLBPシリーズの有効印字領域の左上端より少し内側になります。ただし、A3、B4サイズ用の紙を使用する場合は、印字領域の左右に若干余白が空きます。

### ■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく有効印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。



「ミギマージンドウサ」を「データスキップ」に設定している場合、印字データは折り返されず、行末までのデータが無視されます。

「3.2.5 印字動作グループ (3) 印字データが右マージン位置を越えた場合の動作を設定する」〈☞ P.3-32〉

### ■ページ長

メニューの「チョウヒョウページチョウ」が「システム」（初期状態）に設定されているときは、現在の用紙サイズにしたがったページ長に決まります。このときのボトム位置はFMPP-359のカットシートフィードが用紙の終わりを検出する位置とほぼ同じ位置です。「チョウヒョウページチョウ」で行数が設定されているときは、設定されているページ長になります。

「3.2.6 VFCグループ (1) ページ長を設定する」〈☞ P.3-33〉

## 2.2.2 1ページの文字数と行数

それぞれのページフォーマットで1ページに印字できる文字数（10cpiのとき）と行数（6lpiのとき）を用紙サイズごとに示します。

ページフォーマット		A3	B4	A4	B5	A5	はがき
ジッスンタテ (Fmode 1)	文字数	111	96	77	66	53	34
	行数	95	82	66	56	45	30
ジッスンヨコ (Fmode 2)	文字数	136	136	111	96	77	53
	行数	66	56	45	38	30	19
10"→A4タテ (Fmode 3)	文字数	80	80	80	×	×	×
	行数	66	66	66	×	×	×
15"→A4ヨコ (Fmode 4)	文字数	136	136	136	×	×	×
	行数	66	66	66	×	×	×
15"→B4タテ (Fmode 6)	文字数	136	136	×	×	×	×
	行数	66	66	×	×	×	×
B4→A4タテ (Fmode 7)	文字数	96	96	96	×	×	×
	行数	FM 82	FM 82	FM 82	×	×	×
		F94 79	F94 79	F94 79			
B4→A4ヨコ (Fmode 8)	文字数	136	136	136	×	×	×
	行数	FM 56	FM 56	FM 56	×	×	×
		F94 54	F94 54	F94 54			



- 「×」印になっているページフォーマットと用紙サイズの組み合わせでは、印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
- 上表の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値が初期状態の場合です。



「cpi」は、文字ピッチを表す単位です。1インチあたりの文字数で表します。  
10cpiは1インチの幅にANK文字（1バイトコード文字）が10文字印字できることを意味します。

「lpi」は、行ピッチを表す単位です。1インチあたりの行数で表します。  
6lpiは1インチの高さに6行印字できることを意味します。

## 2.3 ワイド領域に印刷する

印字データを縮小するページフォーマット（Fmode 3, 4, 6, 7, 8）を使用する場合や、ページフォーマットで標準となる用紙より大きなサイズ of 用紙を使用する場合は、用紙の上下、左右に大きな余白ができることがあります。

FMPR-359で印刷するときと同じレイアウトにする必要がなければ、ページフォーマットの印字領域を、ほぼ用紙の有効印字領域いっぱいまで広げて印字することができます。ページフォーマットの印字領域にしたがって印字するモードを標準領域モードというのに対し、ページフォーマットの印字領域を広げて印字するモードを、ワイド領域モードといいます。

### 2.3.1 ワイド領域モードのページフォーマット

ワイド領域のページフォーマットFmode 3, 4, 6, 7, 8の内容を詳しく説明します。

#### (1) 連続用紙（10×11インチ）をA4縦いっばいに印刷する

##### 【10"→A4タテ：Fmode 3：ワイド領域】

10×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっばいにポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット10"→A4タテ（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-12》

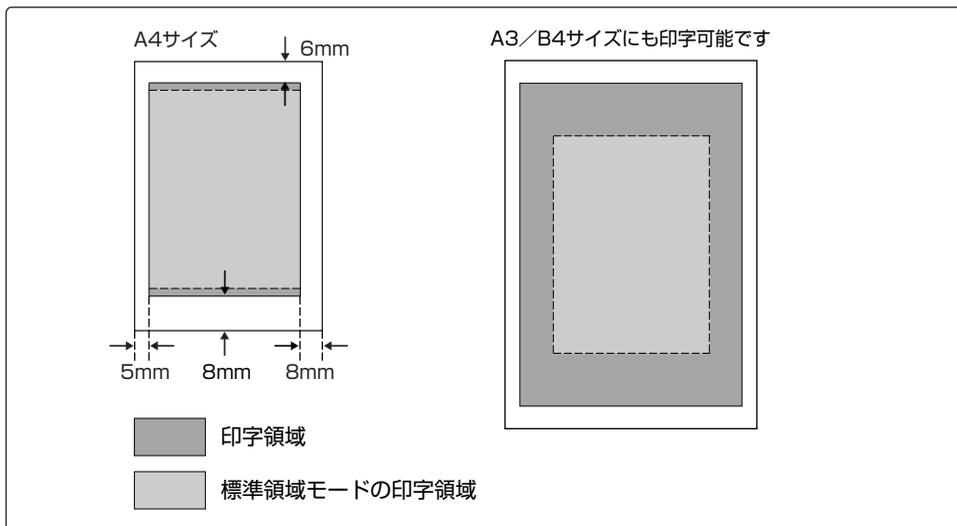
#### ■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの用紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

## ■印字領域

A4サイズでは、標準領域モードでページフォーマットの印字領域と用紙の有効印字領域にあまり差がないため、ワイド領域モードにしてもあまり効果がありません。



### ■第1文字目の印字位置

第1文字目は、用紙サイズにかかわらず用紙の上端から約6mm、左端から約5mmの余白をとって印字されます。

### ■印字データの折り返し位置

LBPシリーズの有効印字領域の右端とほぼ同じ位置まで印字できます。

印字領域の右端を越えた印字データは自動的に折り返されて、次の行の左端から印字されます。

### ■ボトム位置

LBPシリーズの有効印字領域の下端とほぼ同じ位置まで印字できます。

## (2) 連続用紙（15×11インチ）をA4横いっぱい印刷する

### 【15"→A4ヨコ：Fmode 4：ワイド領域】

15×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット 15"→A4ヨコ（Fmode 4）と同じです。《☞ P.2-14》

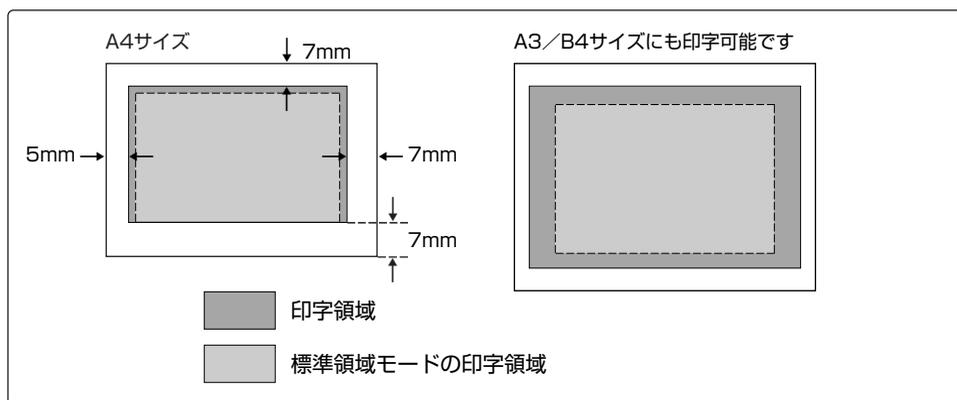
### ■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの内紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

### ■印字領域

15"→A4ヨコ（Fmode 4）は縮小率が大いので、上下左右に大きな余白が空きます。このため、ワイド領域モードをもっとも有効に使用できます。



### ■第1文字目の印字位置

第1文字目は、用紙サイズにかかわらず用紙の上端から約7mm、左端から約5mmの余白をとって印字されます。

印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4タテ（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-23》

### (3) 連続用紙（15×11インチ）をB4横いっぱい印刷する

#### 【15"→B4ヨコ：Fmode 6：ワイド領域】

15×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、B4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット 15"→B4ヨコ（Fmode 6）と同じです。《☞ P.2-16》

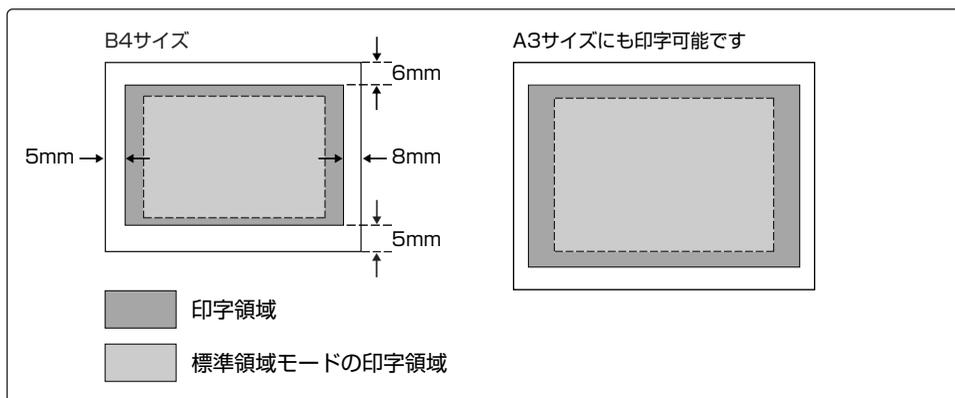
#### ■用紙サイズ

A3、B4の2種類のサイズの内紙を使用できます。

B4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

#### ■印字領域

B4サイズでは、標準領域モードでページフォーマットの印字領域と用紙の有効印字領域にあまり差がないため、ワイド領域モードにしてもあまり効果がありません。



第1文字目の印字位置、印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4タテ（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-23》

#### (4) カット紙B4をA4縦いっぱい印刷する【B4→A4タテ：Fmode 7：ワイド領域】

B4サイズのカット紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにポートレート（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット B4→A4タテ（Fmode 7）と同じです。《☞ P.2-18》

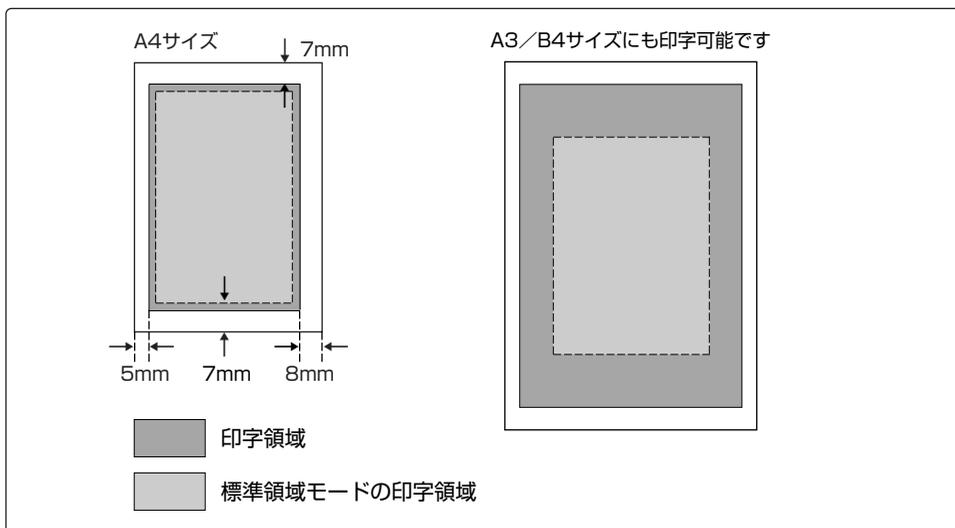
#### ■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの内紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

#### ■印字領域

B4→A4タテ（Fmode 7）は縮小率が大きいため、上下左右に大きな余白が空きます。このため、ワイド領域モードを有効に使用できます。



第1文字目の印字位置については、ワイド領域モードの15"→A4ヨコ（Fmode 4）と同じです。《☞ P.2-25》

印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4タテ（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-23》

## (5) カット紙B4をA4横いっぱい印刷する【B4→A4ヨコ：Fmode 8：ワイド領域】

B4サイズのカット紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット B4→A4ヨコ（Fmode 8）と同じです。《☞ P.2-20》

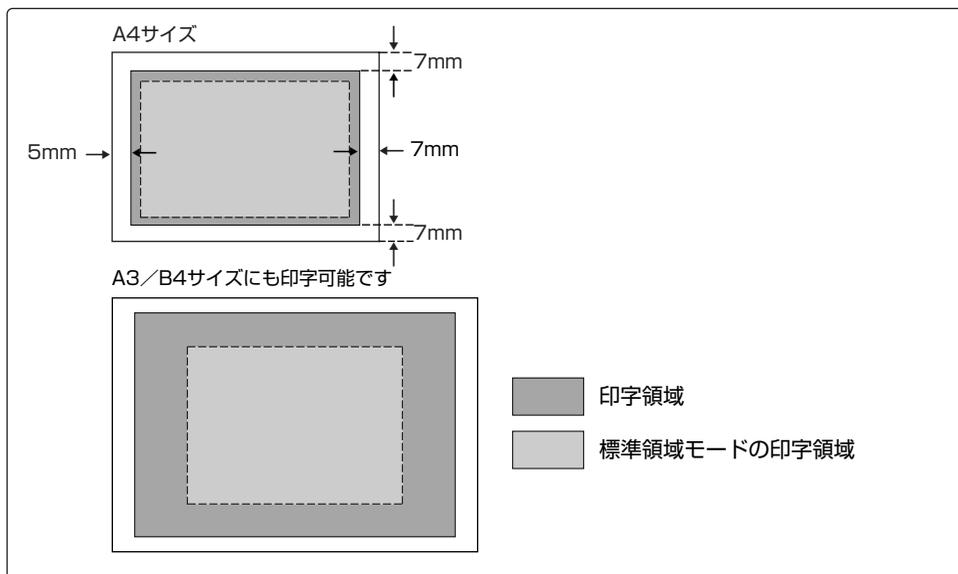
### ■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの内紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

### ■印字領域

B4→A4ヨコ（Fmode 8）は縮小率が大きいため、上下左右に大きな余白が空きます。このため、ワイド領域モードを有効に使用できます。



第1文字目の印字位置については、ワイド領域モードの15"→A4ヨコ（Fmode 4）と同じです。《☞ P.2-25》

印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4タテ（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-23》

## 2.3.2 ワイド領域での1ページの文字数と行数

それぞれのページフォーマットでワイド領域モードにしたときに1ページに印字できる文字数（10cpiのとき）と行数（6lpiのとき）を、用紙サイズごとに示します。

ページフォーマット(ワイド領域)		A3	B4	A4	B5	A5	はがき
10"→A4タテ (Fmode 3)	文字数	115	99	80	×	×	×
	行数	98	85	68	×	×	×
15"→A4ヨコ (Fmode 4)	文字数	214	184	149	×	×	×
	行数	98	85	68	×	×	×
15"→B4ヨコ (Fmode 6)	文字数	160	138	×	×	×	×
	行数	77	66	×	×	×	×
B4→A4タテ (Fmode 7)	文字数	149	128	103	×	×	×
	行数	127	109	88	×	×	×
B4→A4ヨコ (Fmode 8)	文字数	214	184	149	×	×	×
	行数	88	76	61	×	×	×



- 「×」印になっているページフォーマットと用紙サイズの組み合わせでは、印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
- 上表の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値が初期状態の場合です。



「cpi」は、文字ピッチを表す単位です。1インチあたりの文字数で表します。  
10cpiは1インチの幅にANK文字（1バイトコード文字）が10文字印字できることを意味します。

「lpi」は、行ピッチを表す単位です。1インチあたりの行数で表します。  
6lpiは1インチの高さに6行印字できることを意味します。

## 2.4 ページフォーマットと用紙サイズの関係

それぞれのページフォーマットで使用できる用紙サイズは次のとおりです。

ページフォーマット \ 用紙サイズ	カセット給紙						トレイ給紙					
	A3	B4	A4	B5	A5	はがき	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
ジッスンタテ (Fmode 1)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
ジッスンヨコ (Fmode 2)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
10"→A4タテ (Fmode 3)	△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×
15"→A4ヨコ (Fmode 4)	△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×
15"→B4ヨコ (Fmode 6)	△	○	×	×	×	×	△	○	×	×	×	×
B4→A4タテ (Fmode 7)	△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×
B4→A4ヨコ (Fmode 8)	△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×

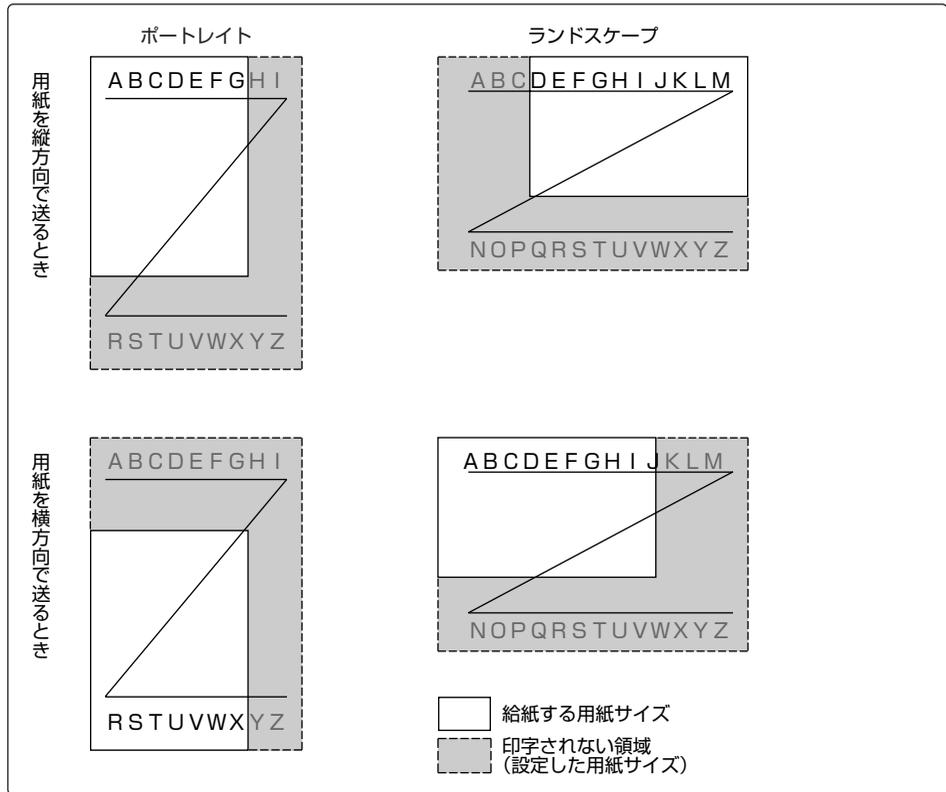
○	印字可能。用紙にちょうどよく納まります
△	印字可能ですが余白があきます
×	印字不可能。または、印字データが欠落するなどの不具合を生じることがあります



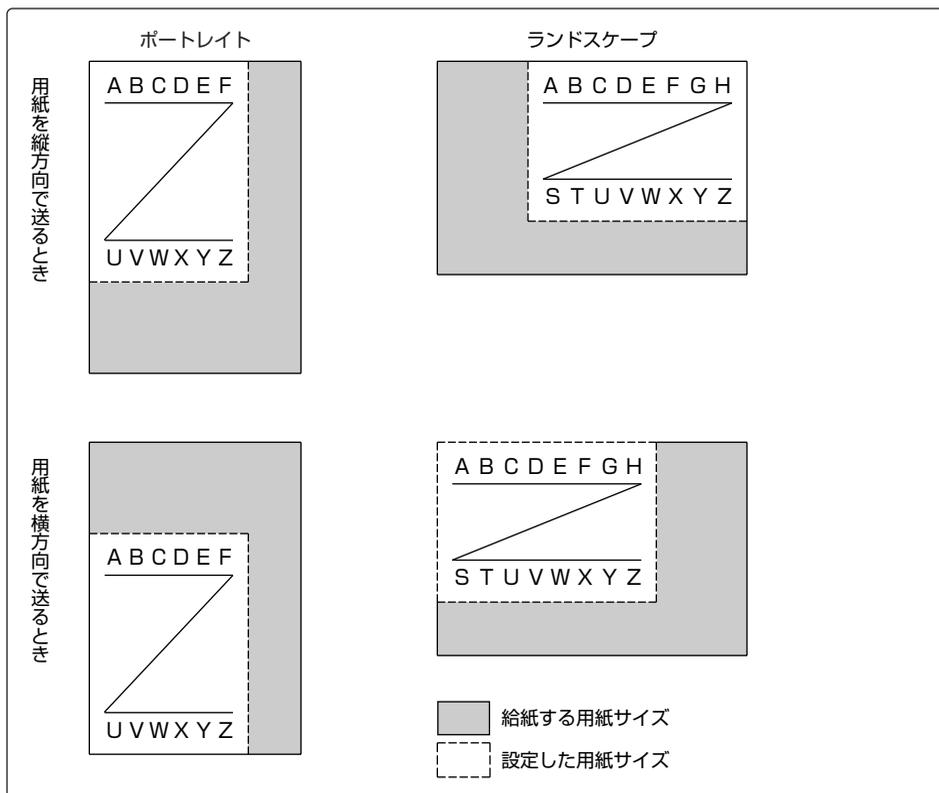
## 異なるサイズ of 用紙に強制的に印刷すると

メニューの「ヨウシサイズ」で設定した用紙サイズ（またはページフォーマットで決まる用紙サイズ）と異なるサイズ of 用紙に印字すると、用紙の大きさによって印字結果は次のようになります。

### ■設定した用紙サイズより給紙カセットの用紙サイズの方が小さいとき



■設定した用紙サイズより給紙カセットの用紙サイズの方が大きいとき



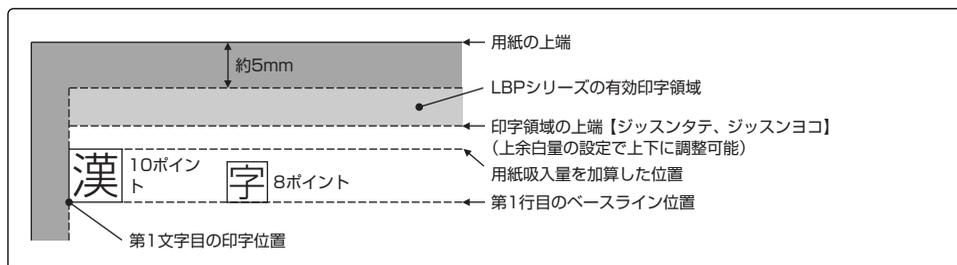
## 2.5 印字領域と印字動作

本エミュレーションモードの印字領域の上端、下端および左端、右端付近での印字動作について説明します。

### 2.5.1 印字領域の上端での印字動作

ジッスタテ (Fmode 1)、およびジッسنヨコ (Fmode 2) では、初期状態 (電源をオンにしたときや、LBPシリーズのリセット処理が行われた状態) のときの先頭行 (TOF行) の印字位置は、有効印字領域の上端とほぼ同じ位置になります。

また、FMPR-359の制御命令「カットシートフィーダの制御」によって、用紙吸入量を調整する場合は、メニューで設定した上余白量と用紙吸入量を合わせて実際の先頭行 (TOF行) が決まります。



FMPR-359の制御命令による用紙吸入は、印字する用紙に応じて、カット紙 (給紙モード0)、はがき縦 (給紙モード1)、はがき横 (給紙モード2) が指定でき、それぞれの吸入量の設定は、FMモードではページフォーマットFmode 1, 2, 7, 8で有効になり、F9450モードではページフォーマットFmode 1, 2で有効になります。

ページフォーマットFmode 3, 4, 6, 7, 8では、初期状態のときの先頭行 (TOF行) の印字位置は、ページフォーマットおよび用紙サイズによって異なります。それぞれのページフォーマットでの印字領域の上端は、LBPシリーズの有効印字領域の上端から決められた量だけオフセットした位置になります。

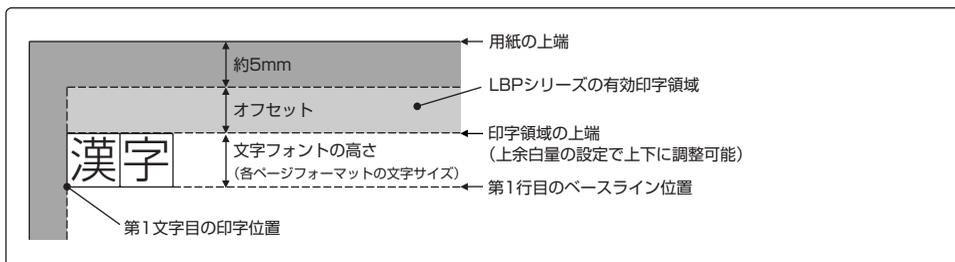
それぞれのページフォーマットの初期状態での第1文字目の印字位置はTOF行（メニューの上余白で決定した位置）から次の量だけ下がった位置になります。

ページフォーマット	給紙モード	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
ジッスタテ (Fmode 1)	0	200					
	1	100					
	2	70					
ジッソヨコ (Fmode 2)	0	200					
	1	100					
	2	70					
10"→A4タテ (Fmode 3)	0	805	476	77			20
	1						
	2						
15"→A4ヨコ (Fmode 4)	0	577	341	63			30
	1						
	2						
15"→B4タテ (Fmode 6)	0	256	20				
B4→A4タテ (Fmode 7)	0	982	653	255	30		
	1	907	578	180			
	2	885	556	157			
B4→A4ヨコ (Fmode 8)	0	731	495	217	30		
	1	656	420	142			
	2	633	397	120			

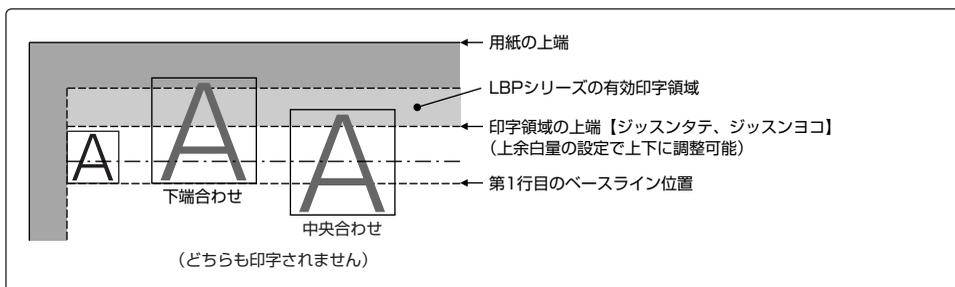
単 位：1/300インチ

- ・給紙モードは、カット紙（給紙モード0）、はがき縦（給紙モード1）、はがき横（給紙モード2）、となります。
- ・表の値は「ウエヨハク」が初期値「000」の場合です。

印字データを縮小するページフォーマットで標準となる用紙より大きなサイズを指定した場合、1ページ分の印字データが用紙の中央にレイアウトされるように先頭行の文字の上端がオフセット量によってかなり下方に移ります。

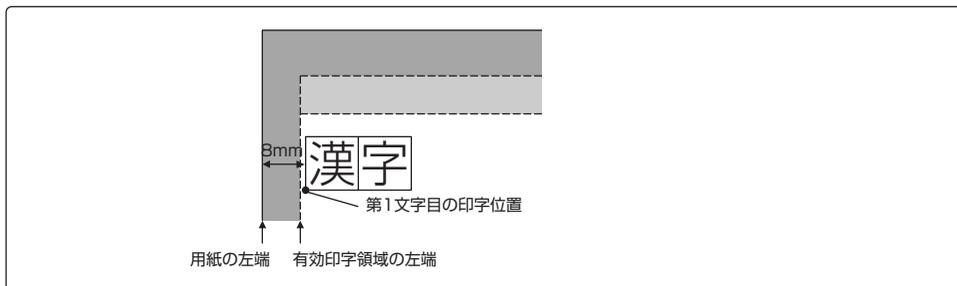


FMPR-359の制御命令によって、縦倍文字を標準文字の下端に合わせて印字することや、中央に合わせて印字できます。本エミュレーションモードでは、先頭行に縦倍文字がある場合、縦倍文字の印字位置がLBPシリーズの有効印字領域を越えると、その文字は印字しません。

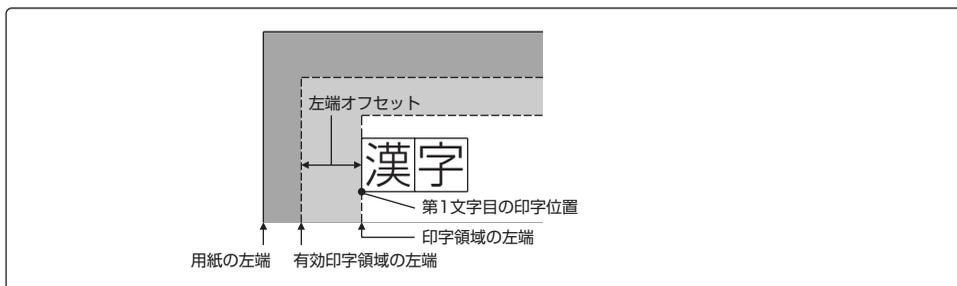


## 2.5.2 印字領域の左端での印字動作

ジッスタテ (Fmode 1)、および ジッスンヨコ (Fmode 2) では、初期状態 (電源をオンにしたときや、LBPシリーズのリセット処理が行われた状態) のときの第1文字目の印字位置は、FMPR-359にカットシートフィーダを装着したときの印字位置に合わせ、用紙の左端から8mmの位置になります。



印字データを縮小するページフォーマット (Fmode 3, 4, 6, 7, 8) の初期状態のときの第1文字目の印字位置は、ページフォーマットおよび用紙サイズによって異なります。文字の左端は、LBPシリーズの有効印字領域の左端からそれぞれのページフォーマットで決められた量だけオフセットした位置になります。



それぞれのページフォーマットの初期状態での第1文字目の左端位置は印字領域の左端から次の量だけ右にオフセットした位置になります。

ページフォーマット	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
10"→A4タテ (Fmode 3)	533	297	18		0	
15"→A4ヨコ (Fmode 4)	891	562	163		0	
15"→B4ヨコ (Fmode 6)	381	52			0	
B4→A4タテ(Fmode 7)	613	377	100		0	
B4→A4ヨコ(Fmode 8)	891	562	163		0	

単 位：1／300インチ

・表の値は「インジイチビチヨウセイ」が初期値「000」の場合です。

印字データを縮小するページフォーマットでは、標準となる用紙より大きなサイズを指定した場合、1ページ分の印字データが用紙の中央にレイアウトされるように第1文字目の印字位置がオフセット量によってかなり右に移ります。

なお、実際の左端位置は、メニューの「ヨウシイチビチヨウセイ」で位置を変えることができます。



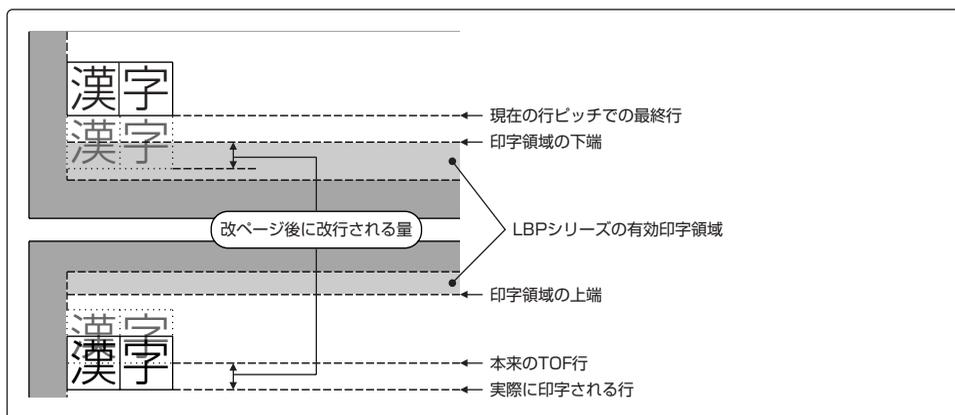
用紙位置の微調整 → 「3.2.1 ページレイアウトグループ

(3) 用紙位置を左右に微調整する」 《☞ P.3-9》

## 2.5.3 印字領域の下端での印字動作

F359エミュレーションモードでは、FMPR-359とほぼ同じ印字動作を行うために、FMPR-359の用紙エンド（用紙の下端）に相当する位置が用紙サイズごとに決められています。

この用紙エンドによって印字の下限となる印字位置（印字下限位置）は、先頭行（初期状態）からの最小改行ピッチ（FMモード時1/180インチ、F9450モード時1/120インチ）で設定されていますが、この位置が実際の印字の改行ピッチによる最終行（次行が用紙エンドを越える行）と一致しないと、次ページの先頭行の位置がずれてしまいます。これは、印字時の最終行で改行が行われると、その位置から用紙エンド位置までを改行量の一部とし、改ページしたあとで、その残りの改行が行われるためです。



複数のページにわたる印字データを、改ページ後に正しい先頭行の位置から印字させるには、次のいずれかを行う必要があります。

- 用紙エンドの検出位置より前で改ページ命令を送る
- メニューの「ヨウシチョウ」で1ページの行数を用紙エンドの検出位置より前に設定する



標準領域モードでの印字行数 → 「2.2.2 1ページの文字数と行数」 《☞ P.2-22》

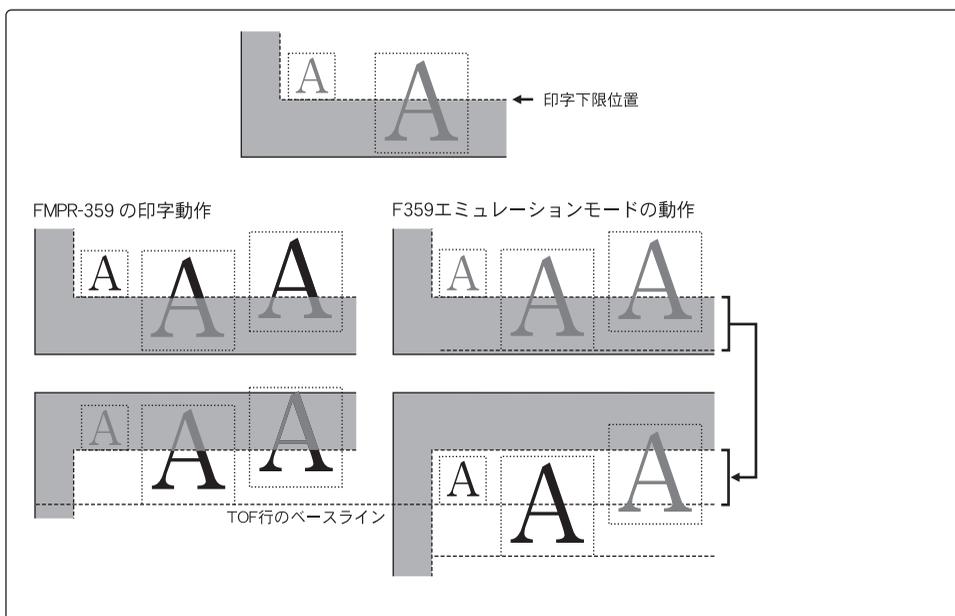
ワイド領域モードでの印字行数 → 「2.3.2 ワイド領域での

1ページの文字数と行数」 《☞ P.2-29》



FMPR-359の制御命令によって、縦倍文字を標準文字の上端に合わせて印字することや、中央に合わせて印字できます。最終行に縦倍文字がある場合、FMPR-359のカットシートフィーダ使用時は縦倍文字の上部を用紙内に印字し、下部を次の用紙のTOF行に印字します。また、トラクタフィーダ使用時はミシン目にまたがるように印字します。

本エミュレーションモードでは、最終行に縦倍文字がある場合、縦倍文字の印字位置がLBPシリーズの有効印字領域を越えると、そのページに印字しません（ページフォーマットごとの印字領域を越えていてもLBPシリーズの有効印字領域内であれば印字されます）。この場合、印字行が最大改行位置を越えていなければ、縦倍文字の印字は無視され、印字行が最大改行位置を越えていれば、その行を次ページの先頭行（TOF行）から印字します。

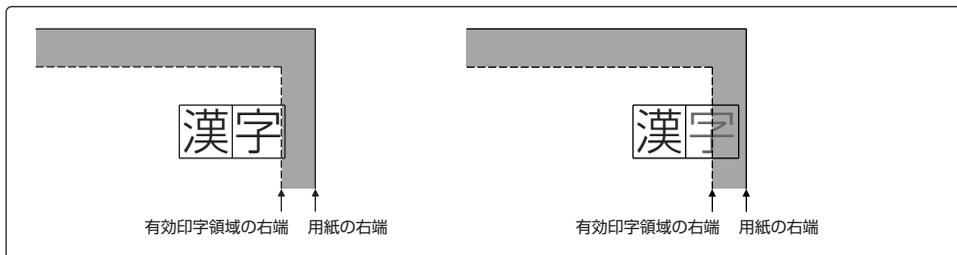


なお、改ページが行われたとき、次ページの先頭行（TOF行）での印字が有効印字領域の上端を越えた場合は、縦倍文字は印字されません。

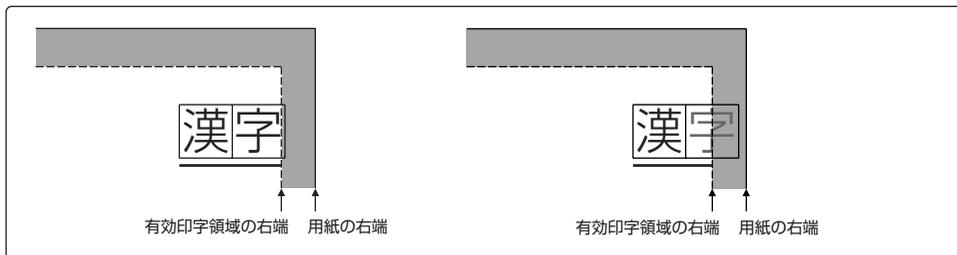
## 2.5.4 印字領域の右端での印字動作

FMPR-359でカットシートフィーダを使用している場合は、用紙の右端のチェックが行われません。

本エミュレーションモードでは、文字フォントの実際の文字幅が有効印字領域の右端を越えなければ、その文字を印字します。



文字にアンダーラインを引いている場合、同様に文字幅が有効印字領域を越えなければ、文字およびアンダーラインを印字しますが、文字幅が有効印字領域を越える場合は、文字を印字せずに有効印字領域内のアンダーラインだけを印字します。

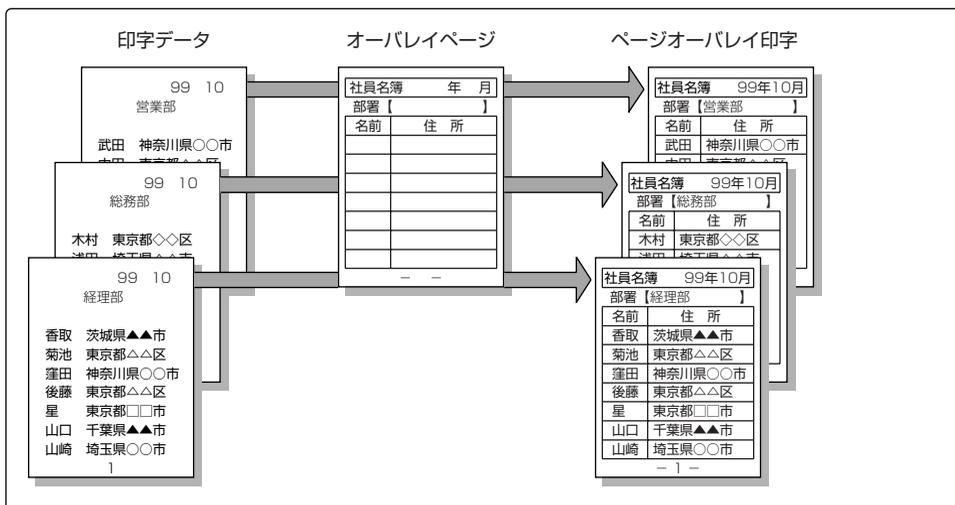


## 2.6 F359モードの拡張機能

F359エミュレーションモードが持っている拡張機能について説明します。

### 2.6.1 ページオーバーレイ機能

帳票などを印字するときに、それぞれのページの内容を枠取りしたり、罫線や網を掛けた場合があります。この罫線や網などをそれぞれのページで作成するのではなく、LBPシリーズのオーバーレイページにあらかじめ登録しておいて、ホストコンピュータから送られる印字データに重ねて印字することができます。この機能をページオーバーレイといいます。このページオーバーレイ機能を使うと、表の罫線や文字、網掛けなどのデータをページごとに送る必要がないのでデータ量を減らすことができ、データ作成を効率よく行うことができます。

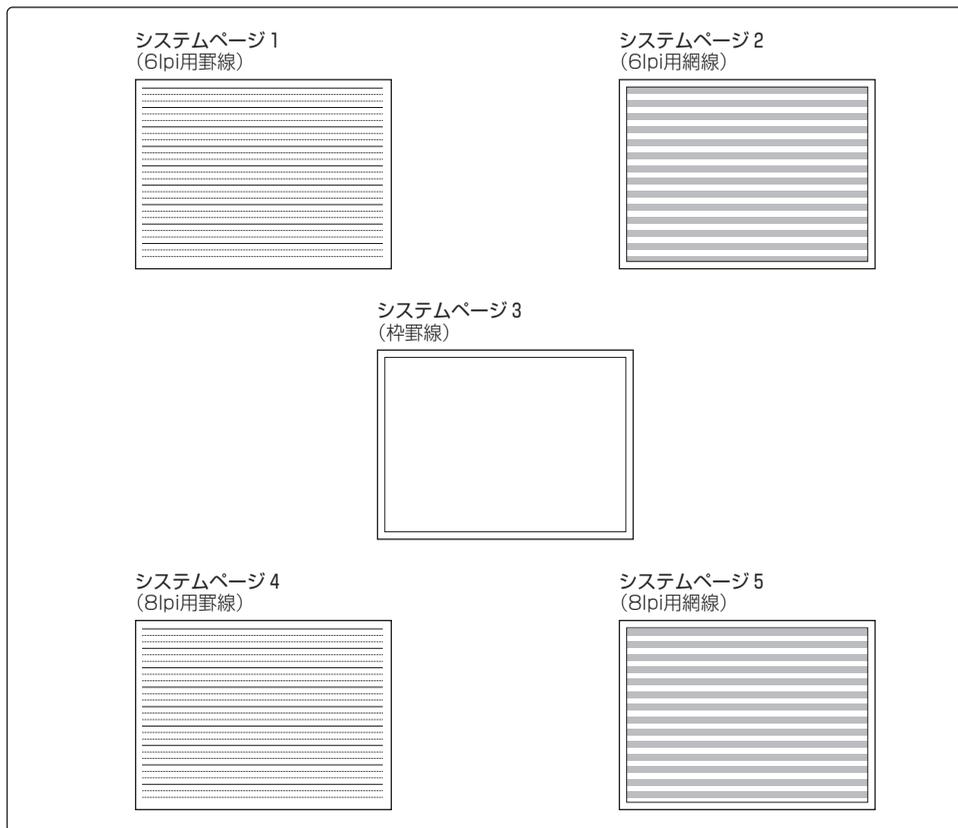


LBPシリーズには、横罫線、枠取り、行網掛けなど、汎用的な定型フォームが5種類ほど登録されています。あらかじめ保有しているこのオーバーレイページをシステムページといいます。

ユーザが独自にフォームを作成して登録できるオーバーレイページを、システムページに対してユーザページといいます。

## (1) システムページ

システムページには、LBPシリーズが保有している次の5種類の定型フォームが登録されています。



システムページの印字サンプル → 「付録4. 内蔵フォームの印字サンプル」 《P.app.17》

## ■システムページのオーバーレイ印字

システムページのオーバーレイ印字は、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を設定して開始します。

「3.2.4 印字機能グループ (2) システムページのオーバーレイ印字を設定する」

《☞ P.3-26》

ただし、システムページを指定した時点で、オーバーレイ印字が開始されるわけではなく、通常の印字データによってページが排出されるときに、そのページに対してオーバーレイ印字が行われます。

なお、システムページのオーバーレイ印字の開始を指定すると、パラメータリセット処理が行われます。

システムページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を指定せずに「オフ」を指定します。



システムページをオーバーレイ印字に設定し、さらにユーザーページに登録されているフォームを重ねてオーバーレイ印字することもできます。

## (2) ユーザページ

ユーザページは、ユーザが独自にフォームを作成して登録できるオーバーレイページです。ユーザページは2ページ（ユーザページ1およびユーザページ2と呼びます）まで登録できます。

### ■ユーザページの登録

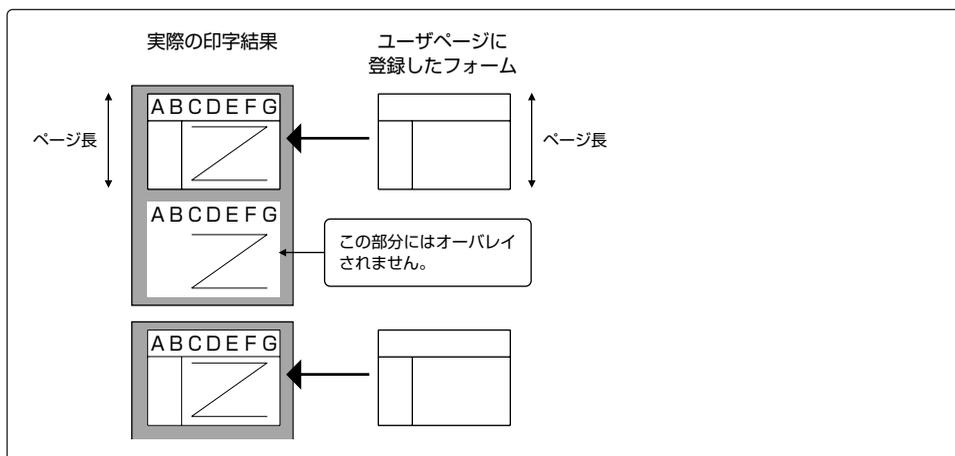
ユーザページのフォームの登録は、F359エミュレーションモードで追加されたLBPシリーズ独自の制御命令（LBPシリーズ専用命令）によって開始します。

#### ■ユーザページの登録 `[ESC] ? h` (P.4-61)

登録を開始すると、以降ホストコンピュータから送られてくるフォームデータが、指定されたユーザページ（1または2）に登録されます。なお、登録開始時にはパラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期状態に戻ります。ただし、メニューで設定した印字パラメータはそのまま残ります。また、LBPシリーズ専用命令によってユーザページの登録を終了したときにも、パラメータリセット処理が行われます。



ひとつのユーザページに登録できるフォームデータは、用紙1ページ分です。したがって、ページ長を短く設定して1枚の用紙に複数のページを確保した場合は、フォームは用紙単位でしかオーバーレイされません。



ユーザページの登録中は、以下の命令が無視されます。

- ユーザページの登録開始 ESC ? h
- LIPSの制御命令によるユーザページの登録 ESC ? '
- LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了 ESC ? .
- 複写ページの登録 ESC ? ? h
- 複写用紙のオーバーレイ印字開始 ESC ? ? p
- 複写用紙のオーバーレイ印字終了 ESC ? ? z
- 複写ページの消去 ESC ? ? r

ユーザページの登録は、次のLBPシリーズ専用命令を受信すると終了します。

- ユーザページの登録終了 ESC ? e 《☞ P.4-62》

このほか、次のような場合にもユーザページの登録は終了します。

- 排紙をとまなう制御命令を受信したとき
- パラメタリセットをとまなう制御命令を受信したとき
- 制御命令によって、ソフトリセット処理が行われたとき
- 垂直移動をとまなう制御命令によって用紙エンド位置を越えたとき

この制御命令には、改行[LF]、改ページ[FF]、垂直タブ位置への移動[VT]) などが  
あります。

- メニューの「ジドウハイシ」で設定した排紙時間になったとき
- ユーザページに登録するデータがメモリサイズを超えたとき

「23 ダウンロードメモリアル」 というエラーメッセージが表示されます。

このとき、[オンライン] キーを押すと、これ以前のデータを登録し、以降のデータ  
は読み飛ばします。

なお、ユーザページに登録したフォームのデータは、メニューの「トウロクレベル」の設  
定によって消去する時期を選択できます。

- 「イチジ」に設定したとき：印字を開始し、1連の印刷処理（ジョブ）すべてのページ  
の印字が終了した時点で登録内容が消去されます。
- 「エイキュウ」に設定したとき：LBPシリーズの電源をオフにするか同等のリセット処  
理を行うまで登録した内容を保持します。



「3.2.7 その他のグループ (2) 登録データの削除方法を設定する」 《☞ P.3-37》



すでに登録されているユーザページに新しいフォームを登録すると、登録済みのフォームは消去されます。また、ユーザページに登録したフォームのデータ量が多いと、普通のページの印字が遅くなることがあります。



LIPSモードでユーザページを登録する → 「4.3.1 フォーム作成の制御命令 (3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録/(4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了」 《☞ P.4-62/P.4-65》

### ■ユーザページのオーバーレイ印字

ユーザページのオーバーレイ印字は、メニューの「ユーザページ1」または「ユーザページ2」を「オン」に設定して開始します。両方を「オン」に設定すれば両方のフォームを重ねてオーバーレイ印字することができます。

ただし、ユーザページを設定した時点で、オーバーレイ印字が開始されるわけではなく、通常の印字データによってページが排出されるときに、そのページに対してオーバーレイ印字が行われます。

なお、ユーザページのオーバーレイ印字の開始を指定すると、パラメータリセット処理が行われます。



「3.2.4 印字機能グループ (4) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する/(5) ユーザページ2のオーバーレイ印字を設定する」 《☞ P.3-29/P.3-30》

ユーザページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「ユーザページ1」または「ユーザページ2」を「オフ」に設定することによって終了します。



ユーザページのフォームをシステムページの定型フォームと重ねて印字することもできます。

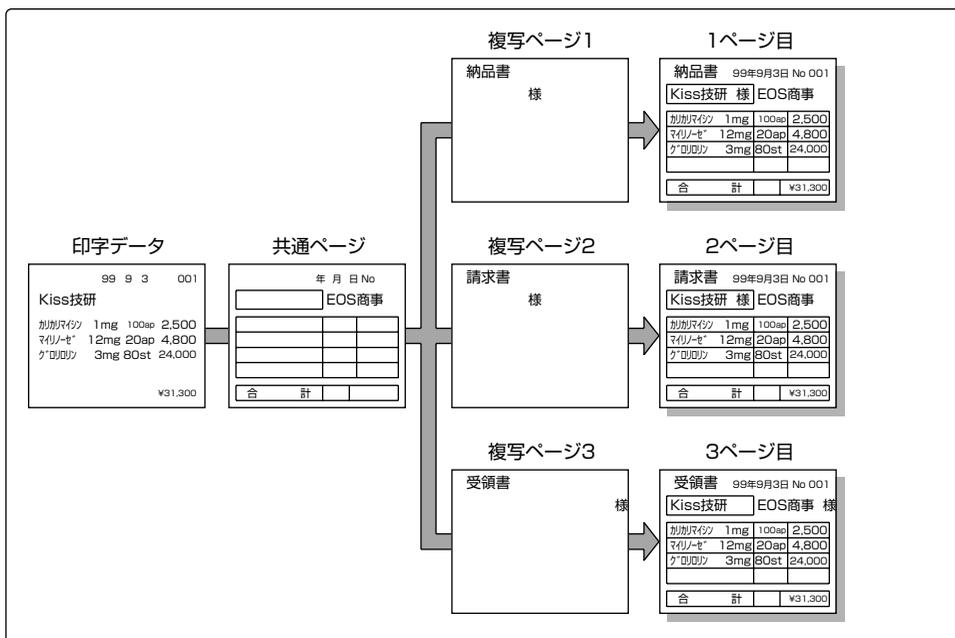
システムページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を指定せずに「オフ」を指定します。

## 2.6.2 複写用紙機能

バックカーボン付きの複写用紙のように、1ページの印字データを作成するだけで、そのページの内容を最高5枚まで複写して印字できます。この機能を複写用紙機能といいます。複写するそれぞれのページに枠取りや、罫囲みなどをオーバーレイ印字することもできます。全部の用紙にオーバーレイ印字するフォームは、共通ページという複写用紙機能専用のオーバーレイページに登録できるほか、ページオーバーレイ印字機能のシステムページやユーザページに登録されているフォームも利用できます。

また、複写式伝票のように、枠取りや罫囲みが共通でも伝票タイトル部分などがページによって異なるものがあります。複写用紙機能では、複写するそれぞれのページに対応する複写ページ（1～5）というオーバーレイページが用意されており、各ページの伝票タイトルなどを登録しておくことができます。

この複写ページを印字データにオーバーレイ印字すると、複写されたページそれぞれに、異なる伝票タイトルがオーバーレイされます。



## ■共通ページと複写ページを登録する

共通ページと複写ページは、ユーザが独自にフォームを作成して登録できる複写用紙機能専用のオーバーレイページです。

登録できるページ数は、共通ページが1ページ、複写ページは複写する枚数に順番に対応する1～5ページとなります。

共通ページは複写用紙すべてに毎回オーバーレイ印字され、それぞれの複写ページは、対応する複写用紙のページだけにオーバーレイ印字されます。

共通ページや複写ページの登録は、LBPシリーズ専用命令で開始します。

■複写ページの登録 `[ESC]??h` (P.4-65)

この制御命令のパラメータで「K」を指定すると共通ページ、「1～5」を指定すると複写用紙の各ページに対応する複写ページを登録できます。登録を開始すると、以降ホストコンピュータから送られてくるフォームデータが、指定された共通／複写ページに登録されます。



共通ページのかわりに、ページオーバーレイ機能のシステムページやユーザページのフォームを使用することができます。その場合は共通ページを登録する必要はありません。

共通／複写ページの登録を開始すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期状態に戻ります。ただし、操作パネルで設定した印字パラメータはそのまま残ります。

また、LBPシリーズ専用命令によって共通／複写ページの登録を終了すると、パラメータリセット処理が行われます。



ひとつの共通／複写ページに登録できるフォームデータは、用紙1ページ分です。したがって、ページ長を短く設定し、1枚の用紙に複数のページを確保しても、フォームは用紙単位でしかオーバーレイされません。



共通／複写ページの登録中に無視される制御命令

ユーザページの登録中は、次の制御命令が無視されます。

- ユーザページの登録 [ESC] ? h
- 複写ページの登録 [ESC] ? ? h
- 複写用紙のオーバーレイ印字開始 [ESC] ? ? p
- 複写用紙のオーバーレイ印字終了 [ESC] ? ? z

共通／複写ページの登録は、次のLBPシリーズ専用命令を受信すると終了します。

- 「ユーザページの登録終了」 [ESC] ? e 《☞ P.4-62》

このほか、次のような場合にも共通／複写ページの登録は終了します。

- 排紙をともなう制御命令を受信したとき
- パラメタリセットをともなう制御命令を受信したとき
- 制御命令によって、ソフトリセット処理が行われたとき
- 垂直移動をともなう制御命令によって用紙エンド位置を越えたとき

この制御命令には、改行[LF]、改ページ[FF]、垂直タブ位置への移動[VT]) などが  
あります。

- メニューの「ジドウハイシ」で設定した排紙時間になったとき
- 共通／複写ページに登録するデータがメモリサイズを超えたとき

「23 ダウンロードメモリアル」 というエラーメッセージが表示されます。

このとき、[オンライン] キーを押すと、これ以前のデータを登録し、以降のデータ  
は読み飛ばします。

登録した共通／複写ページのフォームを消去するときは、次のLBPシリーズ専用命令を  
使用します。

- 「複写ページの消去」 [ESC] ? ? r 《☞ P.4-66》

なお、共通／複写ページに登録したフォームのデータは、メニューの「トウロクレベル」の設定によって消去する時期を選択できます。

- 「イチジ」に設定したとき：印字を開始し、1連の印刷処理（ジョブ）すべてのページの印字が終了した時点で登録内容が消去されます。
- 「エイキュウ」に設定したとき：LBPシリーズの電源をオフにするか同等のリセット処理を行うまで登録した内容を保持します。



「3.2.7 その他のグループ（2）登録データの削除方法を設定する」《☞ P.3-37》



すでに登録されている共通／複写ページに新しいフォームを登録すると、登録済みのフォームは消去されます。また、共通／複写ページに登録したフォームのデータ量が多いと、普通のページの印字が遅くなることがあります。

## ■複写用紙機能の印字

複写用紙機能を使用した印字は、LBPシリーズ専用命令によって開始します。

- 「複写用紙機能の開始」`[ESC]??p`《[P.4-66](#)》

複写用紙全ページにオーバーレイするフォームとしては、複写用紙機能専用に登録した共通ページのフォーム、ページオーバーレイ印字機能のシステムページのフォーム、ユーザページのフォームが選択できます。

なお、複写用紙機能のオーバーレイ印字は、通常の印字データによってページが排出されるたびに、そのページに対して行われます。

複写用紙機能を終了するときは、LBPシリーズ専用命令を使用します。

- 「複写用紙機能の終了」`[ESC]??z`《[P.4-67](#)》



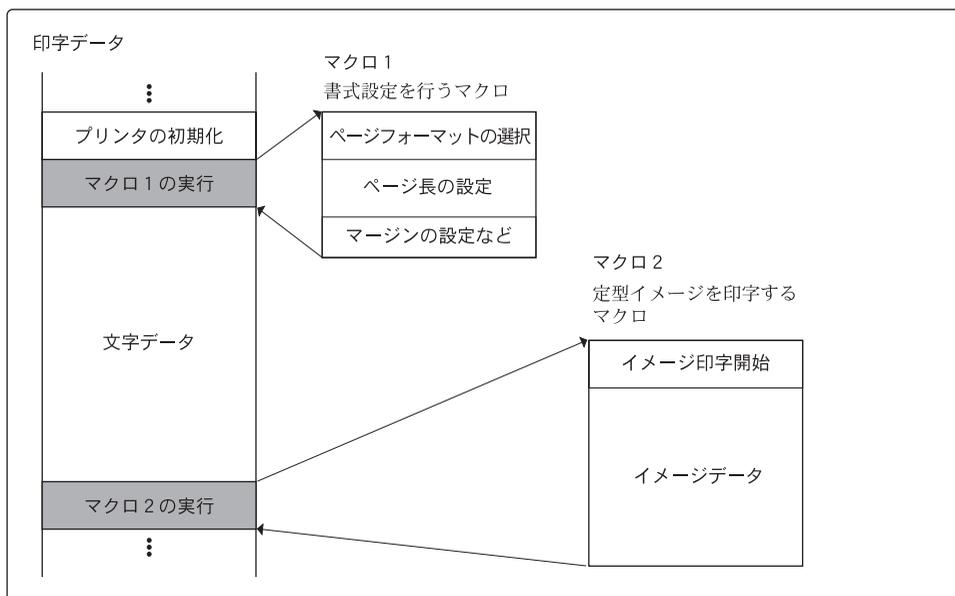
実際に印字する用紙サイズと使用するフォームの用紙サイズ、用紙の向き、解像度が異なると、複写用紙機能は行われません。

また、ページオーバーレイ機能と複写用紙機能を同時に実行することはできません。

## 2.6.3 マクロ機能

定型的な処理を行うための一連の制御命令や、文字・イメージを印字する手順などをあらかじめ登録し、必要なときに呼び出して実行することができます。この定型化された手順をマクロといいます。

たとえば、ページの書式（ページ長やマージンなど）を決める一連の制御命令をマクロに登録しておけば、そのマクロを呼び出すだけで、いつも同じ書式で印字を行うことができます。また、同じイメージを印字する場合などは、その印字データをマクロに登録しておけば、印字のたびにイメージデータを送る必要がなくなります。



このように、マクロを使用すると、データ量を削減することができるので、印字処理を効率よく行うことができます。

## ■マクロの登録

マクロの登録や削除は、LBPシリーズ専用命令によって行うことができます。  
マクロには、マクロ番号（000～255）をつけて登録します。  
なお、いったん登録したマクロに、データを追加させることもできます。

- マクロの登録            **[ESC]** ? = 《☞ P.4-74》
- マクロの削除            **[ESC]** ? ] 《☞ P.4-75》
- マクロの追加登録        **[ESC]** ? & 《☞ P.4-76》

マクロの登録は、次の場合に中止されます。

- 操作パネルでハードリセット処理を行ったとき
- 操作パネルでソフトリセット処理を行ったとき
- インプットプライム信号を受信したとき
- メニューの「ジドウハイシ」で設定した排紙時間になったとき
- 登録するマクロデータがメモリサイズを超えたとき  
（このとき、残りのマクロデータは読み飛ばされます。）

なお、登録したマクロデータは、メニューの「トウロクレベル」の設定によって消去する時期を選択できます。

- 「イチジ」に設定したとき：印字を開始し、1連の印刷処理（ジョブ）すべてのページの印字が終了した時点で登録内容が消去されます。
- 「エイキュウ」に設定したとき：LBPシリーズの電源をオフにするか同等のリセット処理を行うまで登録した内容を保持します。



「3.2.7 その他のグループ (2) 登録データの削除方法を設定する」 《☞ P.3-37》

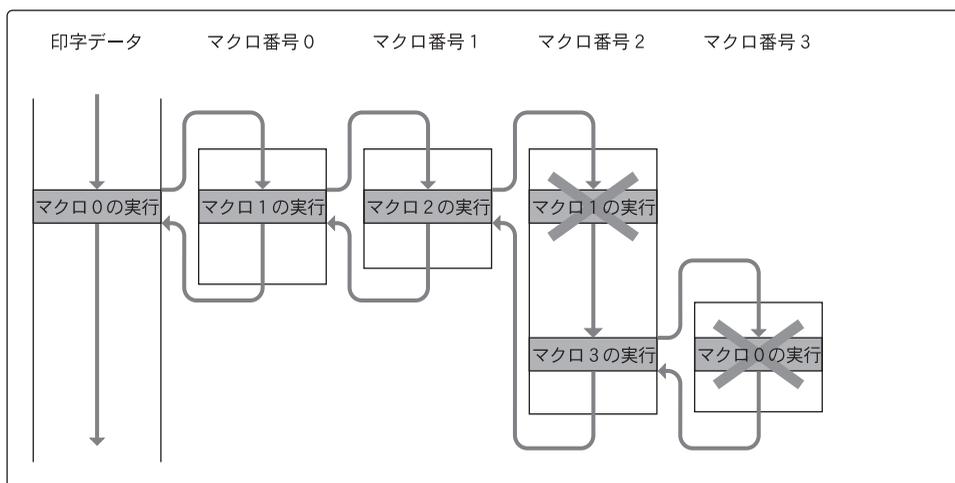
## ■マクロの実行

登録したマクロは、LBPシリーズ専用命令によって実行することができます。

### ■マクロの実行 [ESC]? [《 P.4-75》

マクロを実行するときは、登録時につけたマクロ番号を指定します。

マクロの中でさらに別のマクロを実行することもできますが、このとき、すでに実行中のマクロを実行しようとする、そのマクロ実行命令は無視されます。また、実行中のマクロと同じマクロ番号を指定しても実行されません。



マクロの実行は次の場合に中止されます。

- 操作パネルでハードリセット処理を行ったとき
- 操作パネルでソフトリセット処理を行ったとき
- インプットブライム信号を受信したとき
- メニューの「ジドウハイシ」で設定した排紙時間になったとき



マクロの実行時、次の制御命令は無視されます。

- マクロの登録                    **[ESC]** ? = 《☞ P.4-74》
- マクロの削除                   **[ESC]** ? ] 《☞ P.4-75》
- マクロの追加登録              **[ESC]** ? & 《☞ P.4-76》

また、マクロの実行中、次のLBPシリーズ専用命令は、文字データとして扱われます。

- ヘキサ形式データの設定                    @ @ C ?
- LIPS-ヘキサ形式モードの開始              @ @ L ?

### ■マクロの自動実行

リセット処理を行った場合に、指定のマクロを自動的に実行することができます。このマクロをスタートアップマクロといいます。

スタートアップマクロのマクロ番号は、メニューの「スタートアップマクロ」で指定します。

「3.2.4 印字機能 (3) マクロ機能を設定する」 《☞ P.3-28》

指定したスタートアップマクロは、FMモードの制御命令「プリンタのリセット処理 **[ESC]** c、**[CEX]** ]」を受信すると、リセット処理を行った後、自動的に実行されません。



制御命令以外でリセット処理が行われても、スタートアップマクロは実行されません。

また、メニューの「トウロクレベル」が「イチジ」に設定されているとき、リセット処理の種類によっては登録したマクロ本体が消去され、スタートアップマクロ機能が動作しない場合があります。

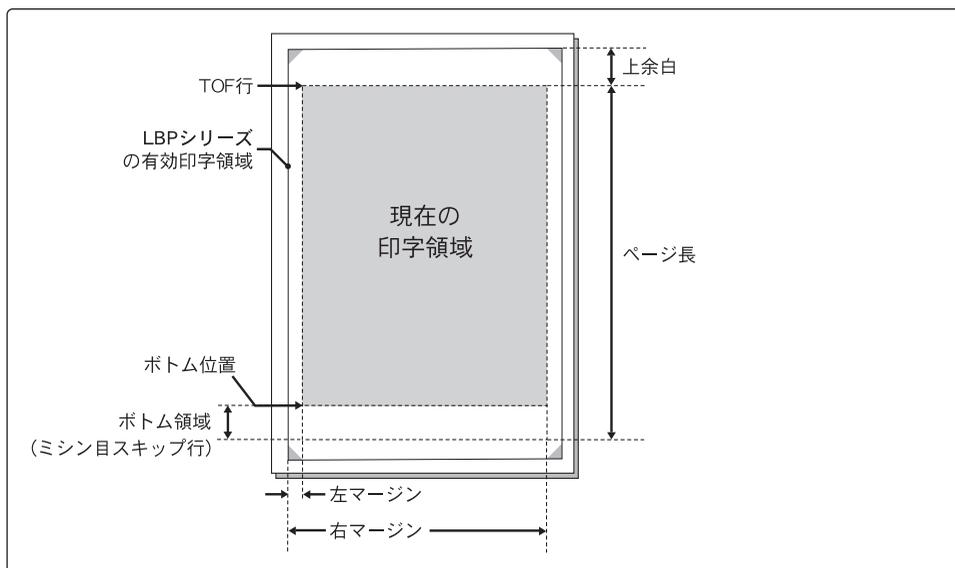
## 2.6.4 行桁固定機能

印字したい行数や文字数を指定するだけで、現在の印字領域にその行数や文字数で印字できるように、改行ピッチおよび文字ピッチを自動的に設定することができます。この機能を行桁固定機能といいます。

行桁固定機能を使用すると、制御命令で現在設定されている改行ピッチや文字ピッチの調整量などが無効になり、行桁固定機能で計算された改行ピッチおよび文字ピッチが有効になります。

ここでの文字ピッチとは、パイカ（10cpi）などの文字固有のピッチではなく、文字と文字の印字間隔を指します。したがって、実際には文字ピッチ調整量が自動的に設定されることとなります。

現在の印字領域とは、メニューや制御命令で設定されているページフォーマット、上余白、ボトム位置（ページ長/ミシン目スキップ）、および左/右マージンで設定されている領域のことです。



アプリケーションソフトウェアを使用する場合は、行桁固定機能を無効にしてください。行桁固定機能を有効にして印字すると、アプリケーションソフトウェア側で設定した改行ピッチや文字ピッチなどがすべて無効になります。

## ■行数／文字数（漢字比率）の設定

文字ピッチや改行ピッチを決定するための文字数や行数を、メニューの「ギョウケタ」の各項目で設定します。

### ■行数

行数は、印字領域のTOF位置からボトム位置までに印字する行数を、メニューの「ギョウスウ」で設定します（10行～400行）。

指定した行数が印字できるように改行ピッチが計算されます。改行ピッチは、1バイトコード文字／2バイトコード文字に関係なく一定です。

ただし、改行ピッチは先頭行（TOF行）からボトム位置までを指定された行数で除算して余りを切り捨てるため、誤差が出る場合があります。

最大誤差＝構成された改行ピッチ－最小垂直位置移動単位  
(FMモード：1／180インチ)  
(F9450モード：1／120インチ)



「3.2.2 行桁固定グループ (3) 1ページの行数を設定する」《P.3-17》

### ■文字数

文字数は、印字領域の右端から左端までに印字する1バイトコード文字（ANK文字）の文字数を、メニューの「ケタスウ」で設定します（10文字～400文字）。

文字ピッチはANK文字が基準となり、指定した文字数が印字できるように文字ピッチが計算されます。漢字の文字ピッチは漢字比率の指定によって決定されます。

文字ピッチ（文字ピッチ調整量）の計算は、左マージン位置から右マージン位置までを指定の文字数で除算して余りを切り捨てるため、改行ピッチ同様に誤差が出る場合があります。

最大誤差＝構成された文字ピッチ－最小水平位置移動単位  
(FMモード：1／180インチ)  
(F9450モード：1／180インチ)



「3.2.2 行桁固定グループ (4) 1行の文字数を設定する」 《☞ P.3-18》

#### ■漢字比率

1バイトコード文字（ANK文字）の文字ピッチに対する2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチの比率を漢字比率といいます。

2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを、1バイトコード文字（ANK文字）の何倍にするかをメニューの「カンジピッチ」で指定できます。倍率は、等倍、2倍、3/2倍、4/3倍、5/4倍の中から選択します。

なお、漢字を横縮小した場合の文字ピッチは、通常のときの1/2倍になります。



「3.2.2 行桁固定グループ「(5) 漢字の文字ピッチを設定する」 《☞ P.3-19》

#### ■行桁固定機能の実行

メニューで設定した行数、文字数、漢字比率をもとに、文字ピッチや改行ピッチを自動設定して印字する場合は、行桁固定機能の切り替えを「有効」にする必要があります。改行ピッチの自動設定と文字ピッチの自動設定はそれぞれ独立して「有効」にすることができます。

#### ■改行ピッチの自動設定（行固定機能）

メニューの「ギョウコテイキノウ」を「ユウコウ」に設定すると、「ギョウスウ」で設定した行数をもとに改行ピッチ調整量が自動設定されます。このとき、印字データがある場合は印字と排紙が行われます。

以後、「ギョウコテイキノウ」が「ムコウ」に設定されるまで、改行ピッチを変更する制御命令はすべて無効になります。

なお、「ギョウコテイキノウ」を「ムコウ」に切り替えるとパラメータリセット処理が行われます。



「3.2.2 行桁固定グループ「(1) 改行ピッチを自動的に設定する」 《☞ P.3-15》

### ■文字ピッチの自動設定（桁固定機能）

メニューの「ケタコテイキノウ」を「ユウコウ」に設定すると、「ケタスウ」で設定した文字数と「カンジピッチ」で設定した漢字比率をもとに、文字ピッチ調整量が自動設定されます。このとき、印字データがある場合は印字と排紙が行われます。

以後、「ケタコテイキノウ」が「ムコウ」に設定されるまで、文字ピッチを変更する制御命令はすべて無効になります。ただし、OCRフォントを使用して印字する場合は、文字ピッチ10cpiで印字されます。

なお、「ケタコテイキノウ」を「ムコウ」に切り替えるとパラメータリセット処理が行われます。



「3.2.2 行桁固定グループ「(2) 文字ピッチを自動的に設定する」《P.3-16》



行固定機能および桁固定機能が有効に設定されているときにメニューまたは制御命令によって次の設定が行われた場合、その設定による新しい印字領域での改行ピッチおよび文字ピッチが計算されます。

- ページフォーマットの設定
- 上余白の設定
- 用紙位置の微調整
- 印字領域の設定（標準／ワイド領域モード）
- 行桁固定機能の行数／文字数／漢字比率の設定
- 右マージン位置の初期値の設定
- 用紙サイズの設定
- ページ長の設定
- ミシン目スキップ行数の設定
- 左／右マージンの設定（制御命令）
- リセット処理によって、上記の設定が変更（初期状態）された場合

## ■無効になる制御命令

行固定機能および桁固定機能が有効に設定されているときは、次のFMPR-359の制御命令が無効になります。

### FMモード

制御命令による設定項目	行固定機能 有効時	桁固定機能 有効時
改行ピッチの設定LP <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">CEX</span> %	無効	有効
改行ピッチの設定LP <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">PU1</span> - ; - <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">SP</span> G	無効	有効
改行ピッチ／ANK文字ピッチの設定SPI <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">CSI</span> - ; - <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">SP</span> G	無効／有効	有効／無効
プロポーショナルピッチの指定／解除SPS／EPS <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">CEX</span> T / <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">CEX</span> G	有効	無効
漢字の文字ピッチの指定CP <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">CEX</span> \$	有効	無効

次のLBPシリーズ専用命令も無効になります。

制御命令による設定項目	行固定機能 有効時	桁固定機能 有効時
ANK文字ピッチの調整 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ESC</span> ? J	有効	無効
漢字文字ピッチの調整 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ESC</span> ? H	有効	無効

## 2.6.5 2ページ印刷機能

2ページ分の印字データを1枚の用紙に見開きで印字することができます。

2ページ印刷機能は、A3サイズまたはB4サイズの用紙がセットされているときに使用でき、A3サイズの用紙にはA4サイズに収まる印字データ、B4サイズにはB5サイズに収まる印字データを2ページ分印字できます。

印字データの用紙サイズ（A4やB5）がポートレイトのときは、左右に2ページ印刷され、ランドスケープのときは、上下に2ページ印刷されます。

左右のページ順は、用紙を袋とじにしたときに左開きになるように印字するか、右開きになるように印字するかを設定できます。

2ページ印刷機能は、メニューの「2ページインサツセッテイ」で「ヒダリ」（左開き）または「ミギ」（右開き）に設定することによって開始します。



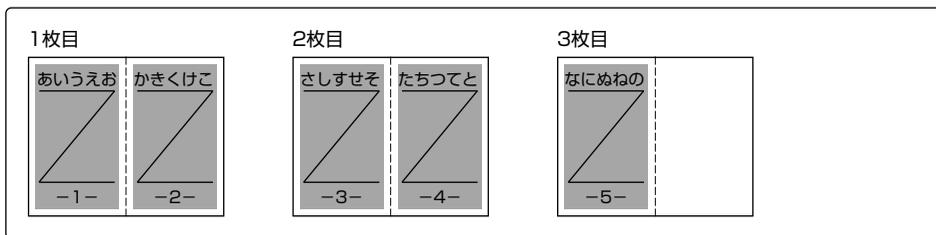
「3.2.1 ページレイアウトグループ「(7) 2ページ分のデータを1ページに印刷する」

《P.3-14》

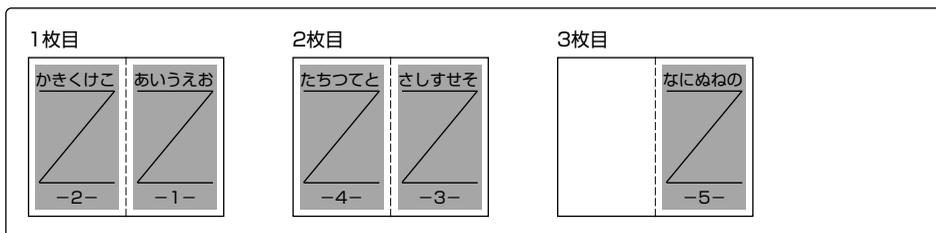
### ■ポートレイトのときの印字

たとえば、5ページ分の印字データは、次のように印字されます。

#### ■左開き



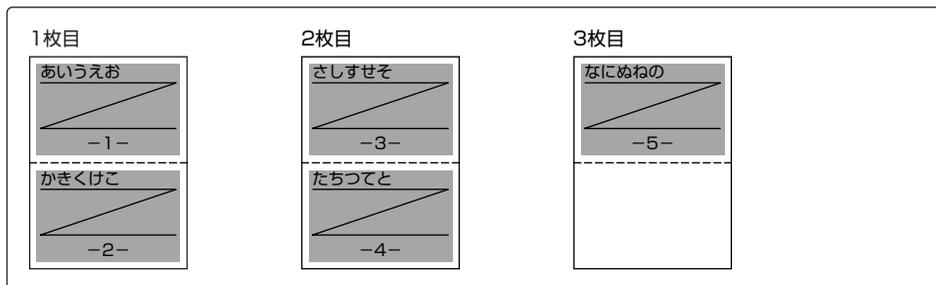
#### ■右開き



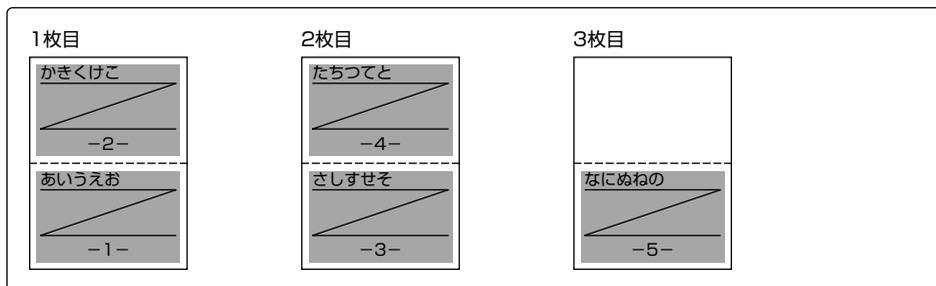
## ■ランドスケープのときの印字

たとえば、5ページ分の印字データは、次のように印字されます。

### ■左開き



### ■右開き



### ■用紙サイズの表示

2ページ印刷機能使用中にパネルに表示される用紙サイズは、印字に使用する用紙のサイズではなく、印字データの用紙サイズ（A4やB5）です。

### ■ページオーバレイ機能と2ページ印刷機能

ページオーバレイ機能を使用した場合、印字データの用紙サイズ（A4やB5）のフォーム（システムページ／ユーザページ）が、見開きページ（左右または上下）両方にオーバレイ印字されます。

### ■複写用紙機能と2ページ印刷機能

2ページ印刷機能を使用しているときは、複写用紙機能は使用できません。

また、複写用紙機能を使用しているときに、2ページ印刷機能を使用する設定（左または右を指定）にすると、複写用紙機能は終了します。

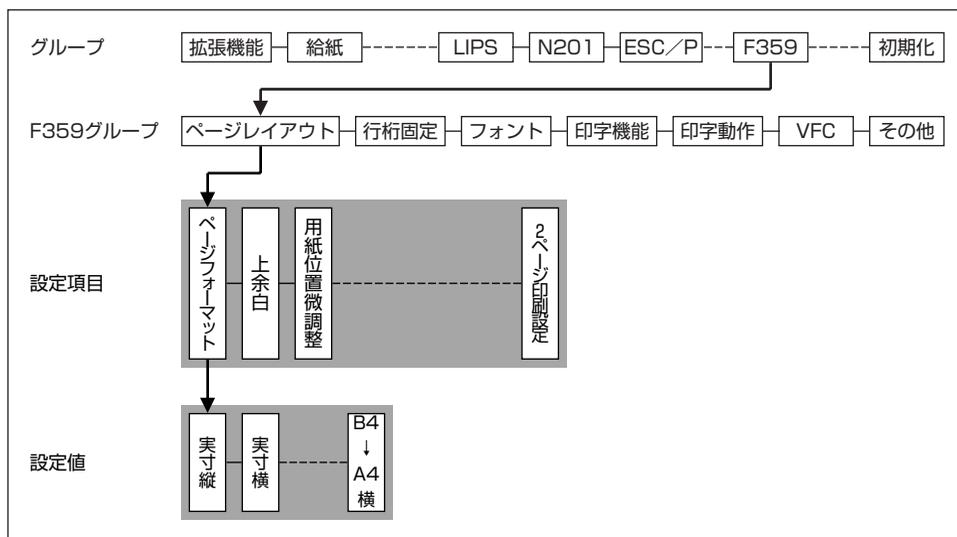
# 3

## F359モードの設定

FMPR-359とLBPシリーズの違いを補うための印字環境（ページフォーマット、印字位置の調整、印字状態など）は、セットアップメニューで設定できます。

オフライン状態のときに操作パネルの[セットアップ]キーを押すと、ディスプレイにセットアップメニューが表示されます。セットアップメニューには、すべての動作モード共通のプリント環境と、エミュレーションなどの動作モードごとに設定できる専用のプリント環境がそれぞれグループ化されて並んでいます。

F359エミュレーションモードの印字環境の設定項目や設定値は、この中のF359グループに含まれています。「F359」というグループ階層を選択すると、F359エミュレーションモード専用の7種類のメニューグループが表示されます。



## 3.1 F359モードの設定項目の種類

F359エミュレーションモードの設定項目は、次の7種類のグループに分かれています。

- ページレイアウトグループ
- 行桁固定グループ
- フォントグループ
- 印字機能グループ
- 印字動作グループ
- VFCグループ
- その他

それぞれのグループに含まれる設定項目は次のとおりです。太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

### ■ページレイアウトグループ

設定項目	設定値
ページフォーマット	<b>ジッスンタテ</b> , ジッスンヨコ, 10"→A4タテ, 15"→A4ヨコ, 15"→B4ヨコ, B4→A4タテ, B4→A4ヨコ
上余白	-127~+000~+127
用紙位置微調整	-127~+000~+127
領域	<b>ヒョウジュン</b> , ワイド
右マージン既定値	<b>136ケタ</b> , ミギハシ
用紙サイズ	<b>カレントヨウシ</b> , A3, B4, A4, B5, A5, ハガキ
2ページ印刷設定	<b>シナイ</b> , ヒダリ, ミギ

## ■行桁固定グループ

設定項目	設定値
行固定機能	ムコウ, ユウコウ
桁固定機能	ムコウ, ユウコウ
行数	10ギョウ~ <b>66ギョウ</b> ~400ギョウ
桁数	10ケタ~ <b>136ケタ</b> ~400ケタ
漢字ピッチ	2/1, 3/2, 4/3, 5/4, 1/1

## ■フォントグループ

設定項目	設定値
漢字書体	ミンチョウ, ゴシック, マルゴシック, ID
フォントID*	001, <b>002</b> ~999
OCR文字	シヨウセズ, OCR-B, OCR-A, OCR-B/OCR-カナ, OCR-A/OCR-カナ
漢字サイズ	<b>システム</b> , 8ポイント, 10ポイント, 12ポイント

\*: 「漢字書体」で「ID」を選択した時のみ設定できます。

## ■印字機能グループ

設定項目	設定値
イメージの補正	シナイ, スル
システムオーバーレイ	オフ, 1, 2, 3, 4, 5
スタートアップマクロ	0~255
ユーザオーバーレイ1	オフ, オン
ユーザオーバーレイ2	オフ, オン

## ■印字動作グループ

設定項目	設定値
自動排紙	オフ, 5ビョウ~300ビョウ
HEXモード後の[LF]	ムシスル, ムシシナイ
右マージン動作	フッキ/カイギョウ, データスキップ

## ■VFCグループ

設定項目	設定値
帳票ページ長	システム, 1ギョウ~199ビョウ
ミシン目スキップ	0ギョウ~31ギョウ

## ■その他グループ

設定項目	設定値
コマンドモード	FM, F94
登録レベル	イチジ, エイキュウ
HEX/LIPS機能	ムコウ, ユウコウ
LIPSフォーム	LIPS2, LIPS4



LBPシリーズには、不揮発性メモリ（設定値を書き込んだり登録したりできるメモリで、電源をオフにしても内容は消えません）が組み込まれており、F359エミュレーションモードの設定値は自動的に登録されます。したがって、いったん値を設定しておけば、他の動作モードに切り替えても、再びF359エミュレーションモードに戻ったときに前回の設定値で印字することができます。

## 3.2 F359モードの設定

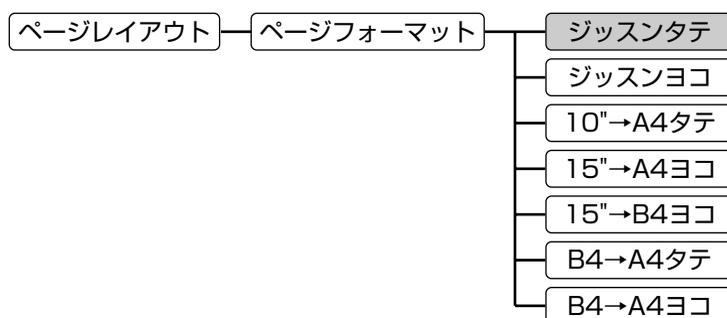
F359エミュレーションモードの設定項目の内容について説明します。

### 3.2.1 ページレイアウトグループ

ページレイアウトグループでは、FMPR-359とLBPシリーズの間での用紙サイズと用紙の向き、印字位置の調整などを行うことができます。

#### (1) ページフォーマットを設定する (ページフォーマット)

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

FMPR-359の印字に対応する本エミュレーションモードのページフォーマットを次の7種類から選択します。

#### ■ジッスンタテ (Fmode 1)

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズの内紙をFMPR-359に縦置きでセットした場合と同じ印字結果になります。

ページレイアウトグループの「ヨウシサイズ」では、FMPR-359と同じ用紙サイズを設定します。

**■ジッスンヨコ (Fmode 2)**

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズ用の紙をFMPR-359に横置きでセットした場合と同じ印字結果になります。

ページレイアウトグループの「ヨウシサイズ」では、FMPR-359と同じ用紙サイズを設定します。

**■10"→A4タテ (Fmode 3)**

FMPR-359で10×11インチの連続用紙に印字するデータ(80文字×66行)をA4サイズに入るように縮小してポートレイトで印字します。ページレイアウトグループの「ヨウシサイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。

**■15"→A4ヨコ (Fmode 4)**

FMPR-359で15×11インチの連続用紙に印字するデータ(136文字×66行)をA4サイズに入るように縮小してランドスケープで印字します。ページレイアウトグループの「ヨウシサイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。

**■15"→B4ヨコ (Fmode 6)**

FMPR-359で15×11インチの連続用紙に印字するデータ(136文字×66行)をB4サイズに入るように縮小してランドスケープで印字します。ページレイアウトグループの「ヨウシサイズ」では、B4サイズ以上の用紙を設定します。

**■B4→A4タテ (Fmode 7)**

FMPR-359でB4サイズのカット紙を縦置きにセットして印字するデータをA4サイズに入るように3/4に縮小してポートレイトで印字します。

ページレイアウトグループの「ヨウシサイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。

**■B4→A4ヨコ (Fmode 8)**

FMPR-359でB4サイズのカット紙を横置きにセットして印字するデータをA4サイズに入るように3/4に縮小してランドスケープで印字します。

ページレイアウトグループの「ヨウシサイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。



「2.2 ページフォーマット」 《 P.2-3》

## (2) 上余白を設定する (ウエヨハク)

階層図



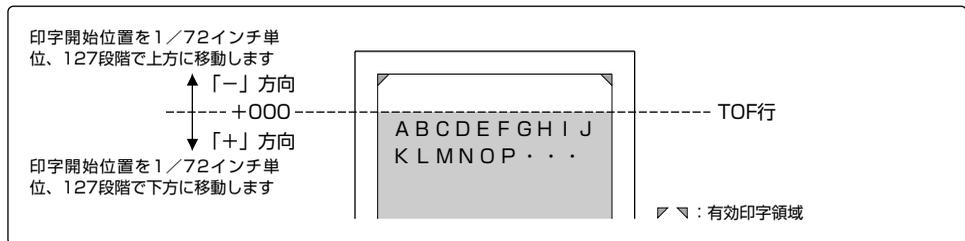
(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

それぞれのページフォーマットで設定されているTOF行の上端を基準として、印字開始位置を上下方向にずらす量を255段階で指定します。

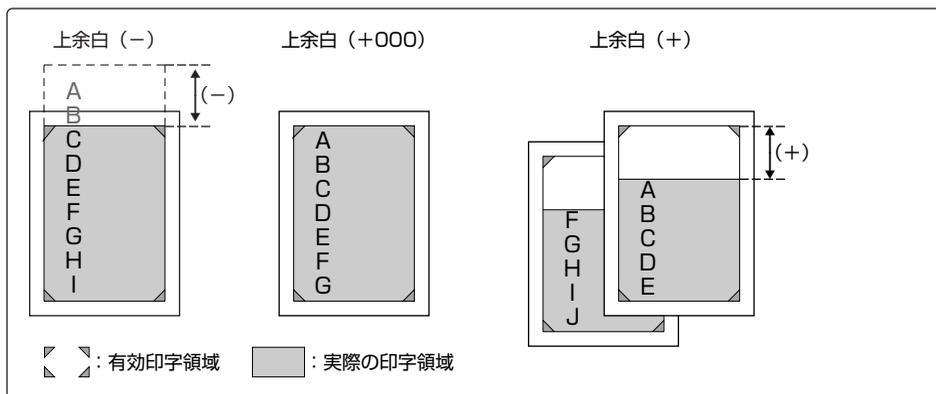
印字開始位置を下方にずらす場合はプラス (+) 方向、上方にずらす場合はマイナス (-) 方向になります。

【単 位】 1/72インチ (約0.35mm)

【範 囲】 -127~+000~+127



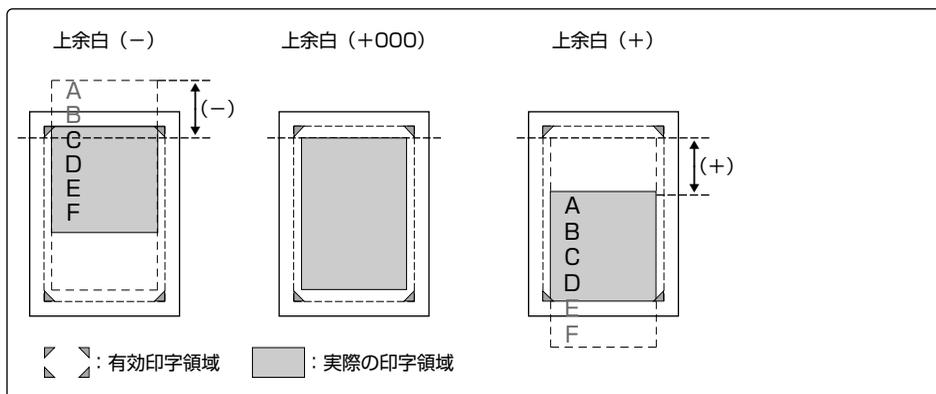
### ■カット紙のページフォーマット (Fmode 1, 2, 7, 8) での印字動作



上余白を増やした場合、有効印字領域の下端を越えた印字データは、次ページのTOF行から印字されます。

上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を越えた部分の印字データは印字されません。

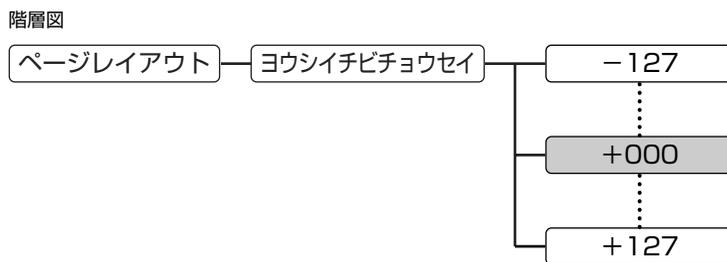
### ■連続用紙のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6) での印字動作



上余白を増やした場合、印字データが有効印字領域の下端を越えると、ボトム位置からページ長（初期状態のTOF行からボトム位置までの範囲）までのデータは印字されません。

上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を越えた部分の印字データは印字されません。

### (3) 用紙位置を左右に微調整する (ヨウシイチビチョウセイ)



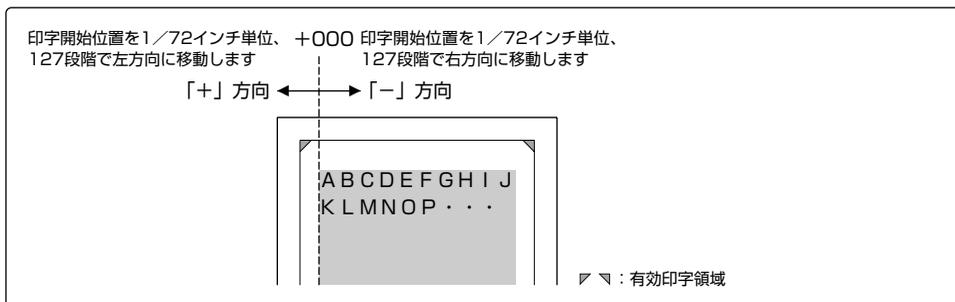
( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

用紙の左端を基準として、印字位置を左右方向にずらす量を255段階で指定します。  
 印字開始位置を左にずらす場合はプラス (+) 方向、右にずらす場合はマイナス (-) 方向になります。

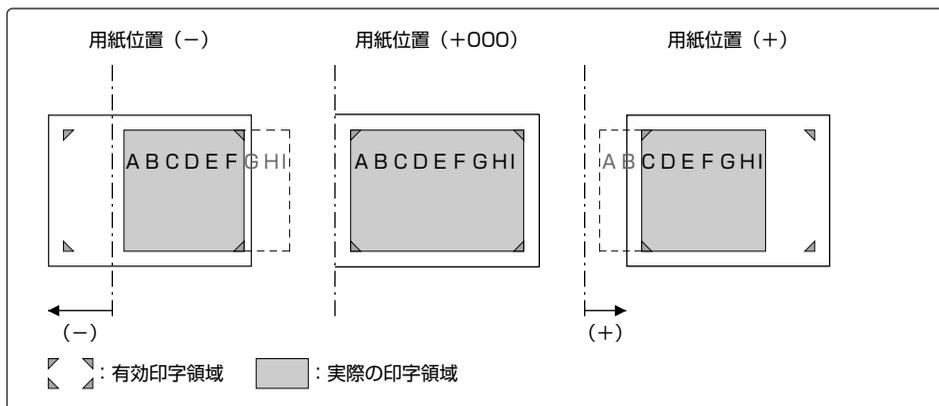
【単 位】 1/72インチ (約0.35mm)

【範 囲】 -127~+000~+127

用紙位置を微調整したときの印字位置は、ページフォーマットおよび印字領域 (標準/ワイド領域モード) の設定によって次のようになります。

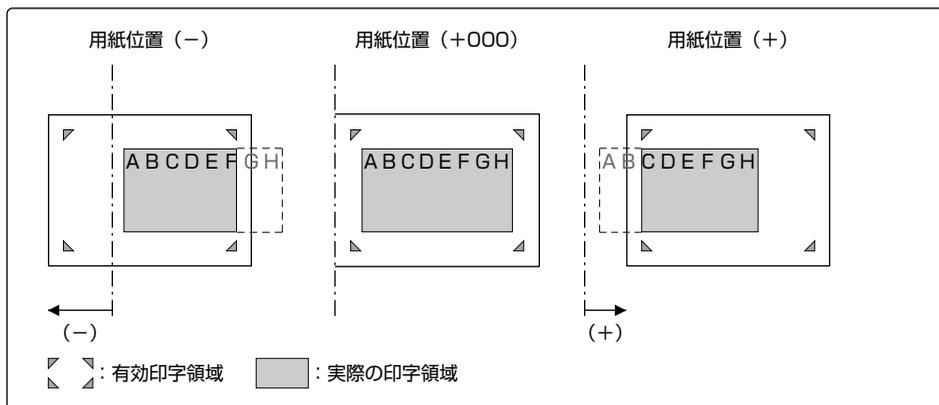


### ■実寸のページフォーマット (Fmode 1, 2) での印字動作

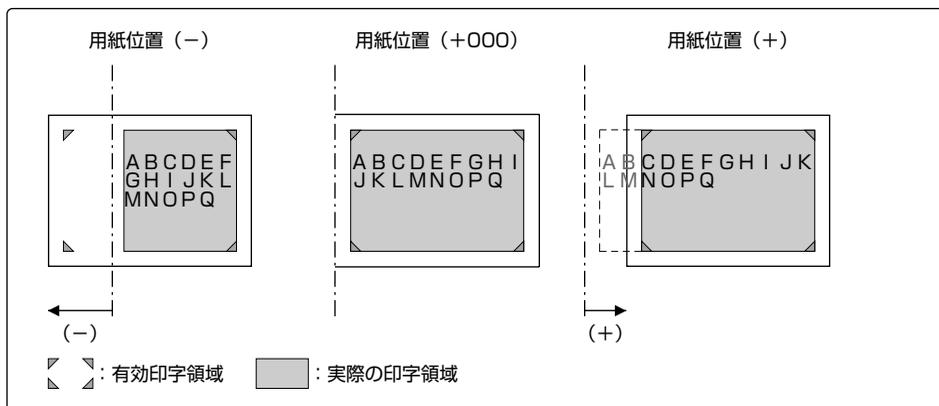


### ■縮小のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6, 7, 8) での印字動作

#### 標準領域モード



#### ワイド領域モード



## (4) 印字領域を設定する (リョウイキ)



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字データを縮小するページフォーマット (Fmode 3, 4, 6, 7, 8) を使用するとき、ページフォーマットに従ったレイアウトで印字するか、有効印字領域ほぼいっぱいに印字するかを設定します。

### ■ヒョウジュン (標準領域モード)

ページフォーマットにしたがった印字領域で印字を行います。したがって、FMPR-359と同じレイアウトで印字できます。

### ■ワイド (ワイド領域モード)

印字データの縮小率のみページフォーマットにしたがって、印字領域をセットされている用紙の有効印字領域とほぼ同じ範囲まで広げます。FMPR-359の印字結果のレイアウトと異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使って印字することができます。



現在のページフォーマットに関係なく設定を行えますが、実際に設定が有効になるのは、印字データを縮小するページフォーマット (Fmode 3, 4, 6, 7, 8) が指定された場合に限られます。

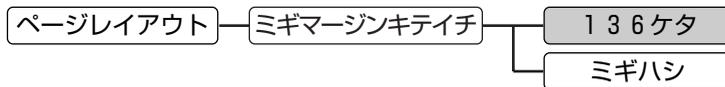


「2.3 ワイド領域に印刷する」 《 P.2-23 》

「2.5 印字領域と印字動作」 《 P.2-33 》

## (5) 右マージンの位置を設定する (ミギマージンキティチ)

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

初期状態の右マージンの位置を指定します。

### ■136ケタ (136桁)

右マージン位置を136桁目 (パイカ) に設定します。

### ■ミギハシ (右端)

右マージン位置を現在の用紙サイズの有効印字領域の右端に設定します。

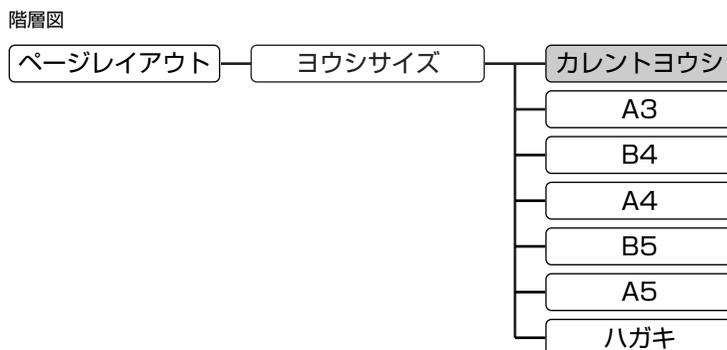


この設定は、実寸で印字するページフォーマット (Fmode 1, 2) が指定された場合に有効になります。



「2.2 ページフォーマット」《  P.2-3 》

## (6) 用紙サイズを設定する（ヨウシサイズ）



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字する用紙のサイズを設定します。

### ■カレントヨウシ（カレント用紙）

現在LBPシリーズにセットされている用紙サイズが設定されます。

給紙元に指定されているカセットの用紙サイズが設定されます。

ただし、給紙選択メニューの給紙元が「トレイ」に設定されている場合は、トレイ用紙サイズで設定されている用紙となります。給紙選択メニューで「ジドウ」を選び、セットアップメニューの給紙グループ（共通メニュー）の「トレイユウセン」を「スル」に設定したときも同様です。

### ■A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ

それぞれの定形サイズの用紙を設定します。



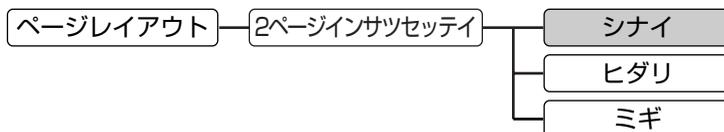
設定した用紙サイズが、現在指定されている給紙元にセットされている用紙サイズと合わない場合は、正しいサイズの用紙をセットするようにメッセージが表示されます。



「2.2 ページフォーマット」 《  P.2-3 》

## (7) 2ページ分のデータを1ページに印刷する (2ページインサツセッテイ)

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

A4サイズまたはB5サイズで作成された印字データを、A3サイズまたはB4サイズの用紙に見開きで2ページ分ずつ並べて印字するかどうかを設定します。

### ■シナイ (2ページ印刷しない)

2ページ印刷を行いません。

### ■ヒダリ (左開き印刷)

2ページ分の印字データを左開きでとじられるようにページの向きを調節して見開きで印字します。ポートレイトの場合は、左側が1ページ目、右側が2ページ目になり、ランドスケープの場合は、上側が1ページ目、下側が2ページ目になります。

### ■ミギ (右開き印刷)

2ページ分の印字データを右開きでとじられるようにページの向きを調節して見開きで印字します。ポートレイトの場合は、右側が1ページ目、左側が2ページ目になり、ランドスケープの場合は、下側が1ページ目、上側が2ページ目になります。



アプリケーションソフトウェアを利用している場合、ソフトウェア側でページごとに用紙サイズを指示していることがあります。このときは、2ページ印刷できないことがあります。



「2.6.5 2ページ印刷機能」 《  P.2-61 》

## 3.2.2 行桁固定グループ

行桁固定グループでは、ページ内に印字する行数または桁数を決めるだけで、改行ピッチや文字間隔を自動的に設定することができます。

### (1) 改行ピッチを自動的に設定する（ギョウコテイキノウ）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

TOF行からページのボトム位置までの領域に印字する行数が決まっている場合、行固定機能を使用すると、その行数を指定するだけで改行ピッチを自動的に計算して設定することができます。ここでは、行固定機能を使用するかどうかを設定します。

#### ■ムコウ（無効）

行固定機能を使用せず、制御命令などで設定されている現在の改行ピッチで印字を行います。

#### ■ユウコウ（有効）

行固定機能を使用し、設定した行数で印字できるように改行ピッチを自動的に設定して印字を行います。したがって、制御命令などで設定されている改行ピッチの設定は無効になります。



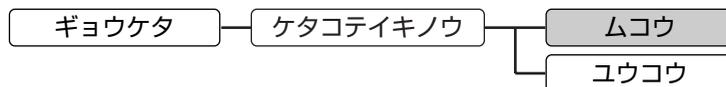
行固定機能を使用しているときに、操作パネルや制御命令によって印字領域に関する設定内容が変更された場合は、新しい印字領域で改行ピッチが設定し直されます。



「2.6.4 行桁固定機能」 《  P.2-56 》

## (2) 文字ピッチを自動的に設定する（ケタコテイキノウ）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

左右マージンの幅に印字する桁数が決まっている場合、桁固定機能を使用すると、その桁数を指定するだけで文字ピッチを自動的に計算して設定することができます。ここでは、桁固定機能を使用するかどうかを設定します。

### ■ムコウ（無効）

桁固定機能を使用せず、制御命令などで設定されている現在の文字ピッチで印字を行います。

### ■ユウコウ（有効）

桁固定機能を使用し、設定した桁数で印字できるように文字ピッチを自動的に設定して印字を行います。したがって、制御命令などで設定されている文字ピッチの設定は無効になります。



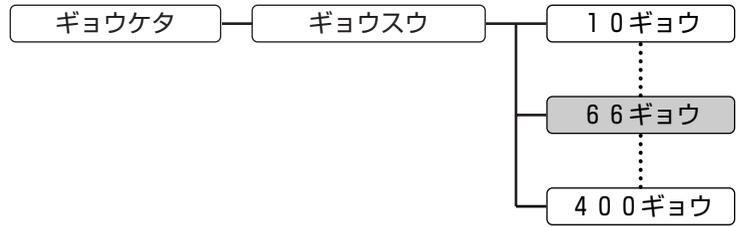
桁固定機能を使用しているときに、操作パネルや制御命令によって印字領域に関する設定内容が変更された場合は、新しい印字領域で文字ピッチ（および漢字ピッチ）が設定しなおされます。



「2.6.4 行桁固定機能」 《 P.2-56 》

### (3) 1ページの行数を設定する（ギョウスウ）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

1ページに印字する行数を設定します。

行固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した行数を印字できるように、改行ピッチが計算されます。

【範囲】 10～400行

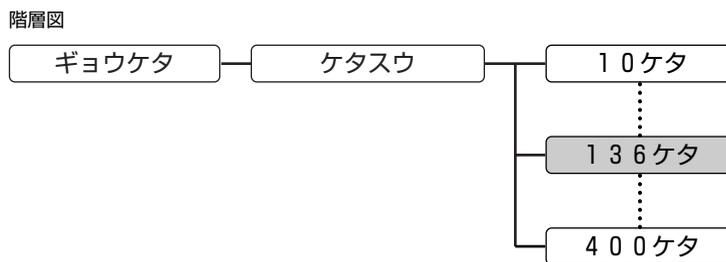


設定した行数は、行固定機能が有効の場合のみ使用されます。



「2.6.4 行桁固定機能」《  P.2-56》

#### (4) 1行の文字数を設定する（ケタスウ）



（で示した設定値は工場出荷時の値です。）

1行に印字する文字数を1バイトコード文字（ANK文字）の桁数で設定します。

桁固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した桁数を印字できるように、文字ピッチが計算されます。

【範囲】10～400桁



設定した桁数は、桁固定機能が有効の場合のみ使用されます。

1行の文字数はANK文字が基準であり、1行に漢字を何文字印字するかは漢字ピッチ（1バイトコード文字の文字ピッチに対する比率）で設定します。

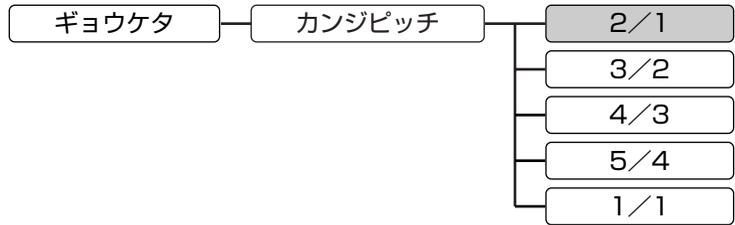


「2.6.4 行桁固定機能」《[P.2-56](#)》

「(5) 漢字の文字ピッチを設定する」《[P.3-19](#)》

## (5) 漢字の文字ピッチを設定する（カンジピッチ）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを1バイトコード文字（ANK文字）の文字ピッチの何倍にするかを設定します。

桁固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した文字ピッチの比率で2バイトコード文字が印字されます。

【範囲】 2/1、3/2、4/3、5/4、1/1（倍）



設定した文字ピッチの比率は、桁固定機能が有効の場合のみ使用されます。

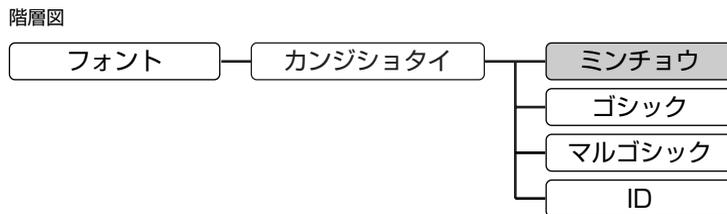


「2.6.4 桁固定機能」《  P.2-56 》

### 3.2.3 フォントグループ

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1バイトコード表などフォントに関する設定を行うことができます。

#### (1) 漢字の書体を設定する（カンジシヨタイ）



2バイトコード文字（漢字）の書体を設定します。

#### ■ミンチョウ（明朝体）

明朝体で印字します。

#### ■ゴシック（ゴシック体）

ゴシック体で印字します。

#### ■マルゴシック（丸ゴシック体）

丸ゴシック体で印字します。

#### ■ID（フォントID）

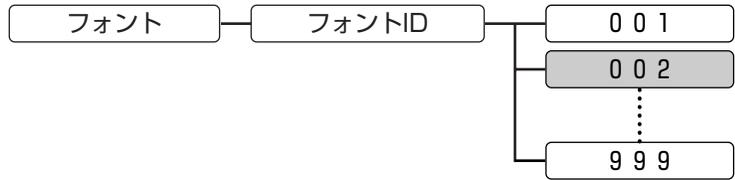
フォントIDで設定したオプションの書体で印字します。



「(2) オプションの漢字書体を設定する」 《 P.3-21》

## (2) オプションの漢字書体を設定する (フォントID)

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

漢字書体で「ID」を設定した場合、印字するオプションの漢字書体の番号を設定します。

【範囲】 001～999



この設定項目は、フォントグループの「カンジシヨタイ」が「ID」に設定されている場合のみ設定することができます。

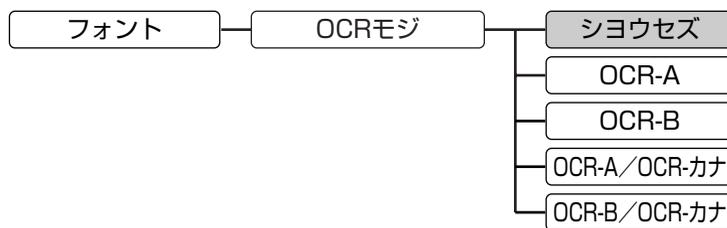
また、F359エミュレーションモードでは使用できない書体を指定した場合は、明朝体になります。



「(1) 漢字の書体を設定する」《 P.3-20》

### (3) OCR文字を設定する（OCRモジ）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字方式がパイカモードのとき、1バイトコード文字（ANK文字）をOCRフォント（F359エミュレーションモードの拡張フォント）を使用して印字するかどうかを設定します。

#### ■ショウセズ（使用せず）

OCR文字を使用しません。従って、英数字、カタカナはパイカフォントで印字されません。

#### ■OCR-B

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Bフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はパイカフォントで印字します。

#### ■OCR-A

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Aフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はパイカフォントで印字します。

#### ■OCR-B/OCR-カナ

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Bフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はOCR-カナフォントで印字します。

#### ■OCR-A/OCR-カナ

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Aフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はOCR-カナフォントで印字します。

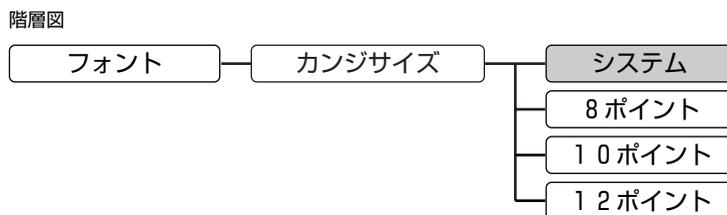


OCRフォントまたはパイカフォント（ANK，カタカナ）を使用する場合でも、現在の文字ピッチで印字されます。ただし、グラフィックフォントは10cpi固定になります。なお、次の制御命令で実寸サイズが設定されている場合は、OCRフォントを使用しない設定になります。

●FMモード

プロポーショナルピッチの指定SPS	<code>[CEX] T</code>
プロポーショナルピッチの解除EPS	<code>[CEX] U</code>
上付き文字の指定SSP	<code>[CEX] N</code>
上付き文字の解除ESP	<code>[CEX] O</code>
下付き文字の指定SSB	<code>[CEX] P</code>
下付き文字の解除ESB	<code>[CEX] Q</code>
1バイトコード半角文字の指定／解除HSS2	<code>[PU1] - [SP]  </code>
ANK文字書体の選択TF	<code>[CEX] ( '</code>

#### (4) 漢字サイズを設定する（カンジサイズ）



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

2バイトコード文字（漢字）の文字サイズを設定します。

##### ■システム

現在のページフォーマットに従った漢字サイズによって印字を行います。

##### ■8ポイント

8ポイントで印字します。

##### ■10ポイント

10ポイントで印字します。

##### ■12ポイント

12ポイントで印字します。



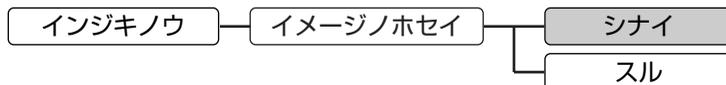
「2.2 ページフォーマット」 《  P.2-3 》

## 3.2.4 印字機能グループ

印字機能グループでは、イメージデータの補正やマクロ、ページオーバーレイなどに関する設定を行うことができます。

### (1) イメージデータの補正を設定する（イメージノホセイ）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

イメージデータを印字するとき、FMPR-359とLBPシリーズとの解像度の違いから、イメージデータを拡大します。このとき、イメージの拡大にともなってイメージを補正するかどうかを設定します。

#### ■シナイ（補正しない）

イメージデータを単純に拡大し、イメージの補正は行いません。

#### ■スル（補正する）

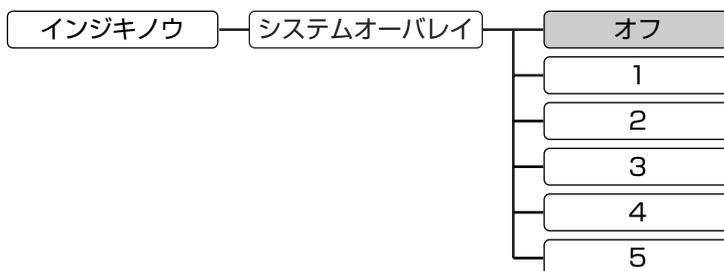
イメージデータを拡大するとき、イメージがきれいに見えるように補正処理を行います。



縦方向と横方向の倍率の異なるページフォーマット（Fmode 4, 6）では、印字したイメージが横長または縦長に見えることがあります。

## (2) システムページのオーバーレイ印字を設定する（システムオーバーレイ）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

オーバーレイ印字は、印刷する各ページに共通なデザイン書式などをフォームとしてあらかじめLBPシリーズのオーバーレイ領域に登録し、印字データと重ねて印刷する機能です。オーバーレイ印字を行うと、各ページに共通の印字データをページごとに送る必要がなくなり効率よく印刷できます。

LBPシリーズには、5種類の定型フォームがあらかじめ登録されています。ここでは、LBPシリーズが保有しているオーバーレイフォームを使用して、オーバーレイ印字を行うかどうかを設定します。

### ■オフ（オーバーレイ印字しない）

システム保有のフォームによるページオーバーレイ印字を行いません。

### ■1～5（ページ1～5）

指定したシステム保有ページの定型フォームをオーバーレイ印字します。

設定値	フォームの内容
ページ1	1/3インチ間隔で横罫線を引いた6lpi用のフォーム。（船種は破線で、1インチごとに実線）
ページ2	1/3インチ幅の網かけを1行おきに入れ、ページ全体を枠取りした6lpi用のフォーム。
ページ3	ページ全体を枠取りした6lpi用のフォーム。
ページ4	ページ1のフォームを1/4インチ間隔に変形させた8lpi用のフォーム。
ページ5	ページ2のフォームを1/4インチ間隔に変形させた8lpi用のフォーム。

\*線の太さは、300dpiで1ドット、600dpiで2ドットになります。

システム保有ページのオーバーレイ印字の開始時または終了時には、パラメータリセット処理が行われます。

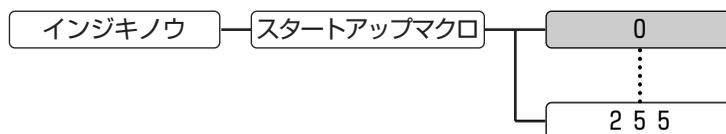


「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-41》

「付録4. 内蔵フォームの印字サンプル」《☞ P.app.17》

### (3) マクロ機能を設定する（スタートアップマクロ）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

マクロ機能は、あらかじめ作成したF359エミュレーションモードの印字制御のプログラムをLBPシリーズのメモリに登録し、制御命令などで実行できるようにする機能です。LBPシリーズには、000～255番までの最大256種類のマクロに登録することができます。マクロの登録は、制御命令によって行います。登録されているマクロの中で、特定のマクロを選び、LBPシリーズのリセット処理が行われた後で自動的に実行させることができます。このマクロをスタートアップマクロといいます。ここでは、次のリセット命令を受信した場合に、自動的に実行されるスタートアップマクロのマクロ番号を指定します。

#### ●FMモード

プリンタのリセット処理  c  ]

【範 囲】 0～255（マクロ番号）



プリンタのリセット処理の制御命令を受信すると、制御命令で設定されたすべての印字パラメータおよび操作パネルで設定されたメニュー項目の一部が初期化された後、スタートアップマクロに指定したマクロが自動的に実行されます。



スタートアップマクロは、制御命令によってリセット処理が行われた場合のみ実行されます。また、その他グループのメニューの「トウロクレベル」が「イチジ」に設定されているとき、リセット処理の種類によっては登録したマクロ本体が消去され、スタートアップマクロ機能が動作しない場合があります。

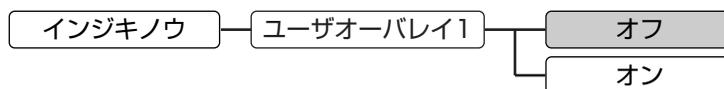


「2.6.3 マクロ機能」《 P.2-52》

「付録2. 初期状態」《 P.app.6》

#### (4) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する（ユーザオーバーレイ1）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

オーバーレイ印字は、印刷する各ページに共通な罫線書式などをフォームとしてあらかじめLBPシリーズに登録しておき、印字データと重ねて印刷する機能です。オーバーレイ印字するフォームは、LBPシリーズに内蔵されているシステム保有ページのものを利用できるほか、ユーザ独自に作成したフォームを2ページ分登録して使用できます。ここでは、ユーザ独自のフォームの登録されたユーザページ1のオーバーレイ印字の開始と終了を設定します。

##### ■オフ

ユーザページ1のオーバーレイ印字を終了します。

##### ■オン

ユーザページ1のフォームのオーバーレイ印字を開始します。



ユーザページへのフォームの登録は、LBPシリーズフォーム作成ツール「FormCraft」などのアプリケーションソフトウェアをご利用ください。

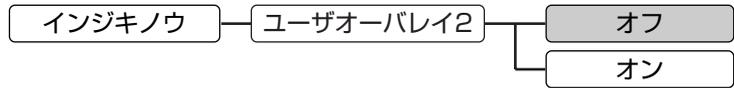
なお、ユーザページ1にフォームが登録されていない場合は、オーバーレイ印字をオンにしてもオーバーレイは行われません。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《 P.2-41 》

## (5) ユーザページ2のオーバーレイ印字を設定する（ユーザオーバーレイ2）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ユーザ独自のフォームが登録されたユーザページ2のオーバーレイ印字の開始と終了を設定します。

### ■オフ

ユーザページ2のオーバーレイ印字を終了します。

### ■オン

ユーザページ2のフォームのオーバーレイ印字を開始します。



ユーザページ1とユーザページ2のフォームを重ねてオーバーレイ印字することもできます。それぞれのユーザページにフォームデータを登録し、両方のオーバーレイ印字の設定をオンにしてください。

なお、ユーザページにフォームが登録されていない場合は、オーバーレイ印字をオンにしてもオーバーレイは行われません。



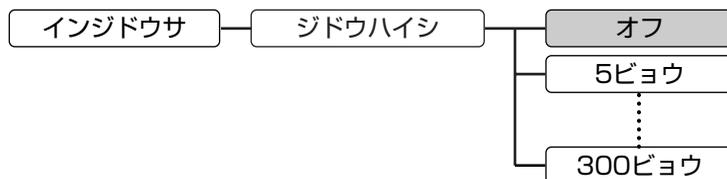
「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《  P.2-41 》

## 3.2.5 印字動作グループ

印字動作グループでは、自動排紙や改行動作などに関する設定を行うことができます。

### (1) 自動排紙の時間を設定する (ジドウハイシ)

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字データを受信した後、一定時間経過しても次のデータが送られてこない場合、現在のページを排出するかどうかを設定します。

#### ■オフ

一定時間が経過しても、排紙を行いません。

#### ■5ビョウ～300ビョウ (5秒～300秒)

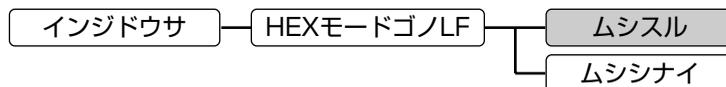
指定した時間が経過してもデータが送られてこない場合は自動的に未排出のページを印字 (排紙) します。



この機能を使用する場合は、「タイムアウト」を「シナイ」に設定してください。また、自動ジョブ終了の時間を設定する場合は、自動排紙の設定を「オフ」にしてください。両方の設定を「オン」にすると、本メニューの自動排紙の設定が有効になります。

## (2) ヘキサ形式モード後の改行を設定する (HEXモードゴノLF)

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ヘキサ形式モードからバイナリ形式モードに戻ったとき、ホストコンピュータから送られてくる **[LF]** コード (改行) を無視するかどうかを設定します。

### ■ムシスル (無視する)

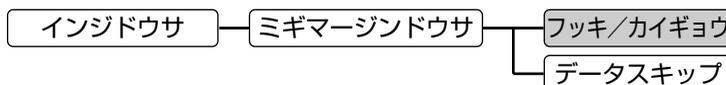
**[LF]** コード (改行) を1回無視します。

### ■ムシシナイ (無視しない)

**[LF]** コード (改行) によって改行動作を行います。

## (3) 印字データが右マージン位置を越えた場合の動作を設定する (ミギマージンドウサ)

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

右マージン位置を越えた印字データを次の行に改行して印字するか、無視するかを設定します。

### ■フッキ/カイギョウ (復帰/改行)

印字データが右マージン位置を越えた場合、そのデータを次の行へ改行して印字しません。

### ■データスキップ

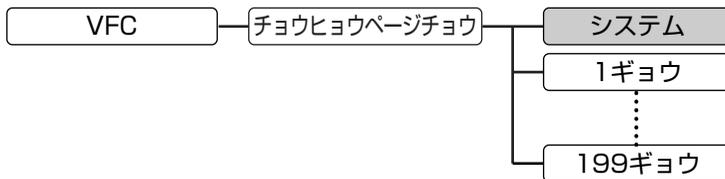
右マージン位置を越えた印字データは無視されます。

## 3.2.6 VFCグループ

VFCグループでは、連続用紙やカット紙のページ長に関する設定を行うことができます。

### (1) ページ長を設定する (チョウヒョウページチョウ)

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

連続用紙のページ長を設定します。

#### ■システム

メニューで設定したページフォーマット、領域 (ワイド/標準) モードおよび用紙サイズに従った行数になります。

#### ■1~199ギョウ (行)

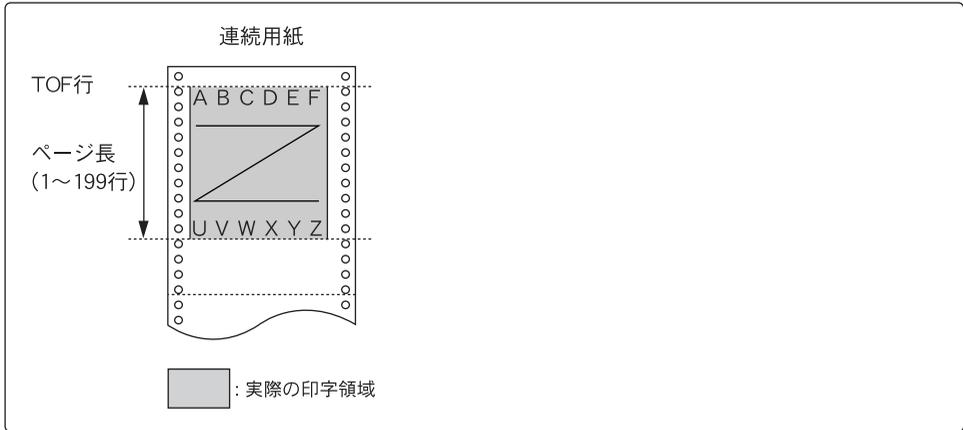
6lpi単位で任意の行数を指定します。

【単位】 1/6インチ (約4.2mm)

【範囲】 1~199行



行間は1インチあたり6行 (6lpi) になります。



それぞれのページフォーマットで決められている印字可能行数を越えるページ長を設定した場合は、この設定に関わらず、印字可能行数で改ページが行われます。なお、VFCグループの「ミシンメスキップ」でミシン目スキップ行数が設定されている場合は、実際の改ページ位置が変わります。

本設定項目のほかにも、次の制御命令によってページ長を設定できます。

●FMモード

ページ長の設定  -  A、 -  B

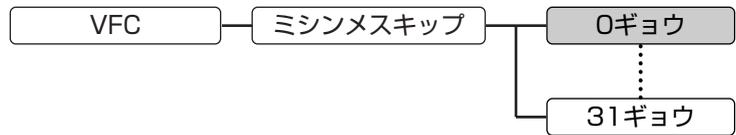


「2.2 ページフォーマット」《☞ P.2-3》

「(2) ミシン目スキップ行数を設定する」《☞ P.3-35》

## (2) ミシン目スキップ行数を設定する（ミシンメスキップ）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ページ長の最終行から何行分かを印字しない行として設定します。

ミシン目スキップ行数の設定は、本来は連続用紙のミシン目に印字がかからないようにするための機能ですが、本エミュレーションモードではカット紙および連続用紙に関係なく、すべてのページフォーマットで有効です。

【単位】 1/6インチ（約4.2mm）

【範囲】 0～31行（6lpi）



行間は1インチあたり6行（6lpi）になります。

本設定項目のほかにも、次の制御命令によってページ長を設定できます。

### ●FMモード

ミシン目スキップ行数の設定  -  K



「2.2 ページフォーマット」《  P.2-3》

「(1) ページ長を設定する」《  P.3-33》

## 3.2.7 その他のグループ

その他のグループでは、本エミュレーションのFMモードとF9450モードの切り替え、登録文字の登録方法、ヘキサ形式モードに関する設定などを行うことができます。

### (1) FM/F9450モードを切り替える（コマンドモード）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

CR-359では、FMPR-359プリンタの持つFMモードとF9450モードの印字動作をエミュレーションします。ここでは、どちらのエミュレーションモードで印字を行うかを選択します。

#### ■FMモード

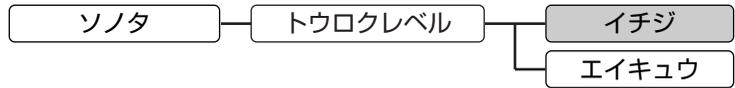
ホストコンピュータ側のMS-DOSに対応するモードをエミュレーションします。FMRシリーズのMS-DOS上で作成されたデータを印字することができます。

#### ■F9450モード

ホストコンピュータ側のAPCSに対応するモードをエミュレーションします。FMRシリーズのAPCS上で作成されたデータを印字することができます。

## (2) 登録データの削除方法を設定する（トウロクレベル）

階層図



(  で示した設定値は工場出荷時の値です。)

制御命令で登録した文字（1バイトコードおよび2バイトコードの登録文字）、オーバーレイ印字のためのユーザページまたは複写用紙機能のフォームデータ、マクロデータなどの登録の方法を設定します。

### ■イチジ（一時）

登録文字、フォームデータ、マクロデータをジョブの間だけ登録しておきます。ジョブが終了すると登録内容は削除されます。

### ■エイキュウ（永久）

登録文字、フォームデータ、マクロデータをLBPシリーズの電源をオフにするまで（または同等のリセット処理が行われるまで）残しておきます。



印字を開始してから、すべてのページの印字が終了するまでの一連の処理をジョブといいます。

### (3) ヘキサ形式モードを設定する (HEX/LIPSキノウ)

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

LBPシリーズにヘキサ形式で印字データを送るかどうかを選択します。  
この設定により、次の機能を無効にするか、有効にするかが決まります。

- LIPSモードによるヘキサ形式モード
- 本エミュレーションモードのヘキサ形式モード
- LIPSの制御命令によるユーザページのフォーム登録

#### ■ムコウ (無効)

ヘキサ形式モードを無効にします。  
したがって、上記の機能は使用できません。

#### ■ユウコウ (有効)

ヘキサ形式モードを有効にします。  
したがって、LIPSモードによるヘキサ形式モード、本エミュレーションモードのヘキサ形式モード、およびLIPSの制御命令によるユーザページのフォーム登録を行うことができます。



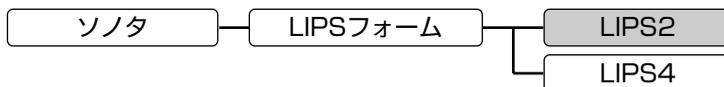
ヘキサ形式とは、1バイト (8ビット) のデータを示すコード (16進数のバイナリ形式データ) を、上位と下位に分けて2バイト分の文字形式 (アスキーコードの0~9およびA~F) で表します。

たとえば、FMモードの制御命令を使用して、プロポーショナルピッチで「AB」と印字して復帰改行する場合、次のようなヘキサ形式のデータとなります。



#### (4) フォーム登録時のLIPSモードを設定する (LIPSフォーム)

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

LIPSモードの制御命令によってユーザページにフォームデータを登録する場合、使用しているコントロールコマンドをLIPS II+またはLIPSIVから選択します。

##### ■LIPS2

LIPS II+の制御命令によるフォームデータとして処理します。

##### ■LIPS4

LIPSIVの制御命令によるフォームデータとして処理します。



LIPSは上位互換であり、LIPS II+とLIPSIVでは基本的な機能は共通しますが、LIPS II+でしか使用できない機能 (たとえばシリアルプリンタでの動作をエミュレートしたイメージ描画など) を使用するときLIPSのモードを切り替えてください。

この設定項目は、その他のグループの「HEX/LIPSキノウ」が「ユウコウ」に設定されている場合のみメニューに追加表示されます。

# 4

## 制御命令

F359エミュレーションモードのFMモードで使用できる制御コードについて説明します。独自の制御プログラムを作成するときなどに、必要に応じてお読みください。

文字やイメージをLBPシリーズで印字する際は、制御命令によって印字の細かい指示が行われています。この制御命令は文字コードの組み合わせで構成され、ホストコンピュータから送られたときに、文字として印字されずに印字動作や書式などの制御が行われます。アプリケーションソフトウェアを使用して印字するときは、アプリケーションソフトウェア側で自動的にこの制御命令を送り出しています。独自に作成したプログラムで印字する場合は、本章の説明をご覧ください。

## 4.1 制御命令の種類

F359エミュレーションモード（FMモード）の制御命令は、次の3種類に分けられます。

基本制御命令	改行や改ページなど、1バイトでプリンタの基本的な制御を行うことのできる制御命令です。 例：[FF] 改ページ
拡張制御命令	文字の修飾や書式指定など、[ESC]や[CEX]に続くコードと併せて、2バイト以上でプリンタの制御を行うことのできる制御命令です。 例：[ESC] E 復帰改行 [CEX] % 改行ピッチの指定
LBPシリーズ専用命令	FMPR-359にはなく、本エミュレーションで追加されたLBPシリーズ独自の機能を使用するための制御命令です。 例：[ESC] ? h ユーザページの登録

それぞれの制御命令は、文字（JIS）による書式と、16進数による書式を掲載します。

パラメータをとまなう制御命令では、パラメータの指定のしかたを次の2種類のカッコで区別しています。

< >: 数値を指定するパラメータ

[ ]: 番号などを選択するパラメータ

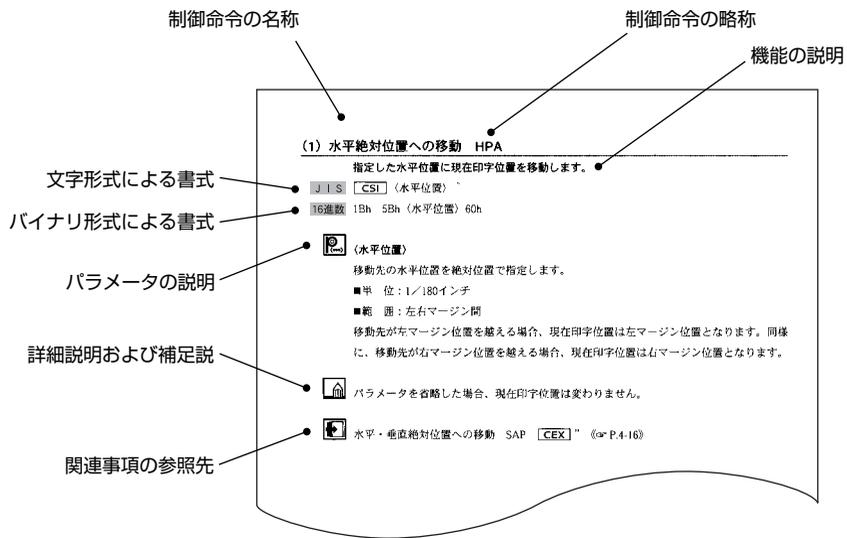


### 16進数の表記について

16進数は数字の後ろに「h」をつけて「48h」のように表します。

たとえば、48hは10進数で表すと72です。

# 制御命令の説明の読み方



## (1) FMモードの基本制御命令

機能	書式		参照
後退	[BS]	08h	4-9
水平タブ位置への移動	[HT]	09h	4-9
改行	[LF]	0Ah	4-10
垂直タブ位置への移動	[VT]	0Bh	4-10
改ページ	[FF]	0Ch	4-10
復帰	[CR]	0Dh	4-11
データ削除	[CAN]	18h	4-11
1文字削除	[DEL]	7Fh	4-11
拡張制御命令 ([ESC]シーケンス)	[ESC]	1Bh	4-12
拡張制御命令 ([CEX]シーケンス)	[CEX]	1Ch	4-15

## (2) FMモードの拡張制御命令

機能	書式		参照
拡張制御命令 ([ESC]シーケンス)			
漢字モードの指定 (JIS78)	SCS	[ESC] \$ @	1Bh 24h 40h 4-12
漢字モードの指定 (JIS83)	SCS	[ESC] \$ B	1Bh 24h 42h 4-12
ANK文字モードの指定	SCS	[ESC] ( H	1Bh 28h 48h 4-12
復帰改行	NEL	[ESC] E	1Bh 45h 4-13
水平タブ位置の設定	HTS	[ESC] H	1Bh 48h 4-13
垂直タブ位置の設定	VTS	[ESC] J	1Bh 4Ah 4-14
プリンタのリセット処理	RIS	[ESC] c	1Bh 63h 4-14
拡張制御命令 ([CEX]シーケンス)			
水平相対位置への移動	PS	[CEX] !	1Ch 21h 4-16
水平・垂直相対位置への移動	SAP	[CEX] "	1Ch 22h 4-16
水平タブ位置の設定	STF	[CEX] #	1Ch 23h 4-17
漢字の文字ピッチの指定	CP	[CEX] \$	1Ch 24h 4-18
改行ピッチの設定	LP	[CEX] %	1Ch 25h 4-18
漢字の拡大指定	KGM	[CEX] '	1Ch 27h 4-19
ANK文字の書体指定	TF	[CEX] (`	1Ch 28h 60h 4-20
左右マージン位置の設定	LC	[CEX] )	1Ch 29h 4-20
漢字のアンダーラインの指定	HL	[CEX] *	1Ch 2Ah 4-22
漢字縦倍指定時の印字位置の指定 (中央合わせ)	KSM	[CEX] - t	1Ch 2Dh 74h 4-22
漢字縦倍指定時の印字位置の指定 (下端合わせ)	KRM	[CEX] . t	1Ch 2Eh 74h 4-23

機能		書式	参照	
文字の登録 (24×24ドット構成)	CPT	[CEX] 2 0	1Ch 32h 30h	4-23
復帰改行	NEL	[CEX] @	1Ch 40h	4-24
復帰改行 (左マージン1)	KNL1	[CEX] A	1Ch 41h	4-25
復帰改行 (左マージン2)	KNL2	[CEX] B	1Ch 42h	4-25
復帰改行 (段落)	NPH	[CEX] C	1Ch 43h	4-26
逆方向水平タブ位置への移動	CHBT	[CEX] D	1Ch 44h	4-26
逆方向垂直タブ位置への移動	LBT	[CEX] E	1Ch 45h	4-27
水平タブ位置の設定	SCT	[CEX] F	1Ch 46h	4-28
水平タブ位置の解除	RCT	[CEX] G	1Ch 47h	4-29
垂直タブ位置の設定	SLT	[CEX] H	1Ch 48h	4-29
垂直タブ位置の解除	RLT	[CEX] I	1Ch 49h	4-29
漢字縦書きモードの指定	VWF	[CEX] J	1Ch 4Ah	4-30
漢字横書きモードの指定	HWF	[CEX] K	1Ch 4Bh	4-30
上付き文字の指定	SSP	[CEX] N	1Ch 4Eh	4-31
上付き文字の解除	ESP	[CEX] O	1Ch 4Fh	4-32
下付き文字の指定	SSB	[CEX] P	1Ch 50h	4-32
下付き文字の解除	ESB	[CEX] Q	1Ch 51h	4-33
プロポーショナルピッチの指定	SPS	[CEX] T	1Ch 54h	4-34
プロポーショナルピッチの解除	EPS	[CEX] U	1Ch 55h	4-34
プリンタのリセット処理	RBS	[CEX] j	1Ch 5Dh	4-35
拡張制御命令 ([CSI] シーケンス)				
水平絶対位置への移動	HPA	[CSI] -- `	1Bh 5Bh -- 60h	4-37
水平相対位置への移動 (右方向)	HPR	[CSI] -- a	1Bh 5Bh -- 61h	4-37
垂直絶対位置への移動	VPA	[CSI] -- d	1Bh 5Bh -- 64h	4-38
垂直相対位置への移動 (下方向)	VPR	[CSI] -- e	1Bh 5Bh -- 65h	4-39
水平・垂直絶対位置への移動	HVP	[CSI] -- ; -- f	1Bh 5Bh -- 3Bh -- 66h	4-40
水平/垂直タブ位置の解除	TBC	[CSI] -- g	1Bh 5Bh -- 67h	4-41
水平相対位置への移動 (左方向)	HPB	[CSI] -- j	1Bh 5Bh -- 6Ah	4-41
垂直相対位置への移動 (上方向)	VPB	[CSI] -- k	1Bh 5Bh -- 6Bh	4-42
ANK文字のアンダーラインの指定	SGR	[CSI] -- m	1Bh 5Bh -- 6Dh	4-42
ANK文字の横幅拡大指定	GSM	[CSI] -- ; -- [SP] B	1Bh 5Bh -- 3Bh -- 20h 42h	4-43
プロポーショナルピッチの スペース幅の設定	TSS	[CSI] -- [SP] E	1Bh 5Bh -- 20h 45h	4-44
改行ピッチ/ANK文字ピッチの設定	SPI	[CSI] -- ; -- [SP] G	1Bh 5Bh -- 3Bh -- 20h 47h	4-44

機能		書式		参照
水平タブ位置の設定	HTSA	[CSI] -- ; -- [SP] N	1Bh 5Bh -- 3Bh -- 20h 4Eh	4-45
拡張制御命令 ([PUT] シーケンス)				
垂直タブ位置の設定	VTSA	[PUT] -- ; -- [SP] @	1Bh 51h -- 3Bh -- 20h 40h	4-47
ページ長の設定 (行単位)	PGL1	[PUT] -- [SP] A	1Bh 51h -- 20h 41h	4-47
ページ長の設定 (インチ単位)	PGL2	[PUT] -- [SP] B	1Bh 51h -- 20h 42h	4-48
改行ピッチの設定	LP2	[PUT] -- ; -- [SP] G	1Bh 51h -- 3Bh -- 20h 47h	4-49
ミシン目スキップ行数の設定	SPF	[PUT] -- [SP] K	1Bh 51h -- 20h 4Bh	4-49
水平絶対位置への移動	HPA2	[PUT] -- [SP] P	1Bh 51h -- 20h 50h	4-50
左マージン位置の設定	LMRG	[PUT] -- ; -- [SP] Q	1Bh 51h -- 3Bh -- 20h 51h	4-50
単密度倍幅ドット列イメージの印字	SIMG	[PUT] -- [SP] V	1Bh 51h -- 20h 56h	4-51
ドット列イメージの印字	MIMG	[PUT] -- [SP] W	1Bh 51h -- 20h 57h	4-53
倍幅ドット列イメージの印字	DIMG	[PUT] -- [SP] X	1Bh 51h -- 20h 58h	4-54
カットシートフィーダの制御	CSF	[PUT] -- [SP] [	1Bh 51h -- 20h 5Bh	4-55
漢字縦倍指定時の印字位置の指定	KUPF	[PUT] -- [SP] d	1Bh 51h -- 20h 64h	4-56
漢字縦書き時の半角文字の印字	HVWF	[PUT] -- [SP] p	1Bh 51h -- 20h 70h	4-57
漢字縦書き時の印字方式の指定	VWF2	[PUT] -- [SP] q	1Bh 51h -- 20h 71h	4-58
罫線接続の指定	KC	[PUT] -- [SP] t	1Bh 51h -- 20h 74h	4-58
漢字未定義コード印字の指定	KUDC	[PUT] -- [SP] x	1Bh 51h -- 20h 78h	4-59
1バイト半角文字の印字	HSS2	[PUT] -- [SP]	1Bh 51h -- 20h 7Ch	4-59

### (3) LBPシリーズ専用命令

機能	書式	参照
ユーザページの登録開始	[ESC] ? h	1Bh 3Fh 68h 4-61
ユーザページの登録終了	[ESC] ? e	1Bh 3Fh 65h 4-62
LIPSの制御命令によるユーザページの登録	[ESC] ? '	1Bh 3Fh 27h 4-62
LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了	[ESC] ? .	1Bh 3Fh 2Eh 4-65
複写ページの登録	[ESC] ? ? h	1Bh 3Fh 3Fh 68h 4-65
複写ページの消去	[ESC] ? ? r	1Bh 3Fh 3Fh 72h 4-66
複写用紙のオーバーレイ印字開始	[ESC] ? ? p	1Bh 3Fh 3Fh 70h 4-66
複写用紙のオーバーレイ印字終了	[ESC] ? ? z	1Bh 3Fh 3Fh 7Ah 4-67
漢字の文字ピッチの指定	[ESC] ? H	1Bh 3Fh 48h 4-68
漢字の拡大／縮小指定	[ESC] ? E	1Bh 3Fh 45h 4-69
ANK文字サイズの指定	[ESC] ? J	1Bh 3Fh 4Ah 4-70
ANK文字の拡大／縮小指定	[ESC] ? F	1Bh 3Fh 46h 4-71
強調印字の指定／解除	[ESC] ? B	1Bh 3Fh 42h 4-72
上付き／下付き文字の指定	[ESC] ? D	1Bh 3Fh 44h 4-73
全文字印字	[ESC] ? ? a	1Bh 3Fh 3Fh 61h 4-73
マクロの登録	[ESC] ? =	1Bh 3Fh 3Dh 4-74
マクロの実行	[ESC] ? [	1Bh 3Fh 5Bh 4-75
マクロの削除	[ESC] ? ]	1Bh 3Fh 5Dh 4-75
マクロの追加登録	[ESC] ? &	1Bh 3Fh 26h 4-76
LIPS-ヘキサ形式モードの開始	@@ L?	40h 40h 4Ch 3Fh 4-77
右マージンの設定	[ESC] ? M	1Bh 3Fh 4Dh 4-79
ヘキサ形式データの設定	@@ C?	40h 40h 43h 3Fh 4-80

FMモードの次の制御命令は無視されます。

機能		書式	
カラー／漢字アンダーライン指定 (ただし、カラー指定のみ無効)	HL	<code>[CEX] *</code>	1Ch 2Ah
カラー／ANKアンダーライン指定 (ただし、カラー指定のみ無効)	SGR	<code>[CSI] -- m</code>	1Bh 5Bh -- 6Dh
印字方向指定	PDIR	<code>[PU1] -- [SP]</code>	1Bh 51h -- 20h 60h
高速印字指定	HSPR	<code>[PU1] -- [SP]</code>	1Bh 51h -- 20h 7Eh

# 4

## 制御命令

## 4.2 F359モードの制御命令

### 4.2.1 基本制御命令

基本制御命令は、次の8種類です。

#### (1) 後退

印字後、次の文字の印字位置を1文字分左に移動します。

JIS **[BS]**

16進数 08h



移動量は、現在のANK文字ピッチにしたがいます。

文字の横2倍拡大が指定されている場合、後退量はANK文字1文字分になります。

なお、次の印字位置が左マージン位置を越える指定を行うこともできますが、印字領域の第1桁目より左へ移動することはできません。印字位置は第1桁目にとどまります。

#### (2) 水平タブ位置への移動

印字位置を同一行内で最も近い右側の水平タブ位置に移動します。

JIS **[HT]**

16進数 09h



現在印字位置より右側に水平タブが設定されていない場合や、次の水平タブ位置が右マージン位置を越えている場合、本制御命令は無視されます。



水平タブ位置の設定HTS **[ESC]** H 《[P.4-13](#)》

水平タブ位置の設定STF **[STX]** # 《[P.4-17](#)》

水平タブ位置の設定SCT **[CEX]** F 《[P.4-28](#)》

水平タブ位置の設定HTSA **[CSI]** -- ; -- **[SP]** N 《[P.4-45](#)》

### (3) 改行

---

行バッファのデータを印字し、復帰改行します。

J I S `[LF]`

16進数 0Ah



現在印字位置を次行の左マージン位置へ移動します。移動量は現在の改行ピッチ（LP、LP2、SP1、行固定機能の設定）にしたがいます。



左マージン位置の設定LMRG `[PUT] --;-- [SP] Q` 《[P.4-50](#)》

### (4) 垂直タブ位置への移動

---

現在印字位置を次の垂直タブのある行の左マージン位置に移動します。

J I S `[VT]`

16進数 0Bh



現在印字位置から下マージン位置またはTOF行（次ページの先頭行）までの間に垂直タブ位置が設定されていない場合は現在の改行ピッチで1行改行します。



垂直タブ位置の設定VTS `[ESC] J` 《[P.4-14](#)》

垂直タブ位置の設定SLT `[CEX] H` 《[P.4-29](#)》

垂直タブ位置の設定VTSA `[PUT] --;-- [SP] @` 《[P.4-47](#)》

### (5) 改ページ

---

行バッファのデータを印字し、印字位置を次ページの1行目の左マージン位置に移動します。

J I S `[FF]`

16進数 0Ch



カット紙のページフォーマット（Fmode 1, 2, 7, 8）では、用紙を排出してページフォーマットにしたがった先頭行に移動します。ただし、上余白および用紙吸入量が設定されている場合はその位置になります。

連続用紙のページフォーマット（Fmode 3, 4, 6）では、現在のページ長にしたがった

次のTOF行に移動します。移動した位置が物理的に用紙の下端を越えた場合は用紙を排出します。

なお、ページフォーマット (Fmode 7, 8) のワイド領域モード時は、連続用紙のときと同様にページ長にしたがって、次のTOF行に移動します。



左マージン位置の設定LMRG [PUT] --;-- [SP] Q 《☞ P.4-50》

## (6) 復 帰

---

行バッファのデータを印字し、印字位置を同一行の左マージン位置に移動します。

J I S [CR]

16進数 0Dh



左マージン位置の設定LMRG [PUT] --;-- [SP] Q 《☞ P.4-50》

## (7) データ削除

---

行バッファに残っている1行分のデータを消去し、印字位置を左マージン位置に移動します。

J I S [CAN]

16進数 18h



FMPR-359とLBPシリーズのラインバッファサイズの違いによって、消去される印字データが異なる場合があります。

## (8) 1文字削除

---

最後に入力された文字データを削除し、印字位置を1文字分左に戻します。

J I S [DEL]

16進数 7Fh



現在印字位置は削除した文字の位置まで後退しますが、左端を越えることはありません。なお、削除は、ANK (英数字・カタカナ) 文字に対してのみ行えます。

## 4.2.2 ESC シーケンス

ESC シーケンスの拡張制御命令は、次の7種類です。

### (1) 漢字モードの指定 (JIS78) SCS

---

旧JIS (JISC6226-1978) の漢字モードを設定します。

J I S ESC \$@

16進数 1Bh 24h 40h



旧JIS (JISC6226-1978) → 「付録5. コード表」 《P.app.22》

### (2) 漢字モードの指定 (JIS83) SCS

---

新JIS (JISX0208-1983) の漢字モードを設定します。

J I S ESC \$B

16進数 1Bh 24h 42h



新JIS (JISX0208-1983) → 「付録5. コード表」 《P.app.22》

### (3) ANK文字モードの指定 SCS

---

ANK文字モードを設定します。

J I S ESC ( H

16進数 1Bh 28h 48h



ANK文字モードとは、1バイトコード（英数字・カタカナ）を印字するモードです。いったんANK文字モードを設定すると、ほかの印字モード（漢字モードなど）が設定されるまで有効になります。

#### (4) 復帰改行 NEL

---

行バッファの印字データを印字して、復帰改行します。

J I S `[ESC]` E

16進数 1Bh 45h



現在印字位置は、次行の左マージン位置になります。

下方への移動量は、現在の改行ピッチ（LP、LP2、SP1、行固定機能の設定）にしたがいます。

#### (5) 水平タブ位置の設定 HTS

---

現在印字位置に水平タブを設定します。

J I S `[ESC]` H

16進数 1Bh 48h



水平タブ位置は、最大32カ所まで設定できます。



水平タブ位置への移動HT	<code>[HT]</code>	《 <a href="#">P.4-9</a> 》
水平タブ位置の設定STF	<code>[CEX]</code> #	《 <a href="#">P.4-17</a> 》
水平タブ位置の設定SCT	<code>[CEX]</code> F	《 <a href="#">P.4-28</a> 》
水平タブ位置の設定HTSA	<code>[CSI]</code> -- ; -- <code>[SP]</code> N	《 <a href="#">P.4-45</a> 》
水平タブ位置の解除RCT	<code>[CEX]</code> G	《 <a href="#">P.4-29</a> 》

## (6) 垂直タブ位置の設定 VTS

---

現在行に垂直タブを設定します。

J I S `[ESC]` J

16進数 1Bh 4Ah



垂直タブ位置は、最大32カ所まで設定できます。



垂直タブ位置への移動VT `[VT]` [《 P.4-10》](#)

垂直タブ位置の設定SLT `[CEX] H` [《 P.4-29》](#)

垂直タブ位置の解除RLT `[CEX] I` [《 P.4-29》](#)

垂直タブ位置の設定VTSA `[PUT] --;-- [SP] @` [《 P.4-47》](#)

## (7) プリンタのリセット処理 RIS

---

プリンタを初期状態にします。

J I S `[ESC]` c

16進数 1Bh 63h



FMモードの制御命令で設定されたすべての印字パラメータを初期化します。

同時に操作パネルで設定したメニュー設定項目の一部を初期化します。

なお、FMPPR-359では現在行に印字データがある場合は、そのデータが消去されますが、本エミュレーションモードでは印字して排紙後にリセット処理を行います。



初期状態 → 「付録2. 初期状態」 [《 P.app.6》](#)

プリンタのリセット処理RBS `[CEX] ]` [《 P.4-35》](#)

### 4.2.3 [CEX] シーケンス

[ESC]シーケンスでは、パラメータに指定する値（10進数）は、パラメータ1バイトで値の各位（一の位、十の位…）を表します。したがって、3ケタの10進数を指定する場合、パラメータは3バイト必要になります。

また、指定値は16進数表記で意味を持ち、下位バイトで実際の数値の各位を示し、上位バイトでパラメータの各バイトの種類を示します。

パラメータの各バイトの種類は、次の3種類です。

- 上位バイト=2（20h～29h）：パラメータ終端までの中間バイトであることを示します。
- 上位バイト=6（60h～69h）：複数のパラメータを指定する場合に、各パラメータの区切りを示します。
- 上位バイト=7（70h～79h）：パラメータの終端を示します。

[Ex]

平タブ位置の設定 [CEX] # <タブ位置1…n>

2ケタ、12ケタ、120ケタ目に水平タブを設定するとき…

文字表記 → [CEX] # b ! b ! " p (文字自体は意味を持ちません)

16進表記 → 1Ah 23h 62h 21h 62h 21h 22h 70h

2 12 120  
区切り 中間 区切り 中間 中間 終端 ← コード種別

[CEX]シーケンスの拡張制御命令は、次の31種類です。

## (1) 水平相対位置への移動 PS

現在印字位置を指定した量だけ水平方向に移動します。

JIS [CEX] ! <移動量>

16進数 1Ch 21h <移動量>



<移動量>

現在印字位置から移動するドット数を指定します。

■単位：1/180インチ

指定が右端を越えた場合は、行バッファ内のデータを印字した後、現在印字位置次行の左マージン位置に移動します。



左右マージン位置の設定LC [ESC] ) 《 P.4-20》

左マージン位置の設定LMRG [PU1] --;-- [SP] Q 《 P.4-50》

## (2) 水平・垂直絶対位置への移動 SAP

行バッファの印字データを印字して、指定した水平位置および垂直位置に現在印字位置を移動します。

JIS [CEX] " <水平位置> <垂直位置>

16進数 1Ch 22h <水平位置> <垂直位置>



<水平位置>

移動先の水平位置を絶対位置で指定します。

■単位：1/180インチ

■範囲：左右マージン間

移動先が左マージン位置を越える場合、現在印字位置は左マージン位置となります。同様に、移動先が右マージン位置を越える場合、現在印字位置は右マージン位置となります。

### 〈垂直位置〉

移動先の垂直位置を絶対位置で指定します。

■単 位：1／180インチ

■範 囲：1からページ長の間

■省略時：1（1／180インチ）

移動先がページ長を越える場合、現在印字位置は次ページのTOF行になります。



左右マージン位置の設定LC CEX ) 《 P.4-20》

左マージン位置の設定LMRG PUT -- ; -- SP Q 《 P.4-50》

ページ長の設定（行単位）PGL1 PUT -- SP A 《 P.4-47》

ページ長の設定（インチ単位）PGL2 PUT -- SP B 《 P.4-48》

水平・垂直絶対位置への移動HVP CSI -- ; -- f 《 P.4-40》

## (3) 水平タブ位置の設定 STF

指定した位置に水平タブを設定します。

**JIS** CEX # 〈タブ位置1〉 … 〈タブ位置n〉

**16進数** 1Ch 23h 〈タブ位置1〉 … 〈タブ位置n〉



### 〈タブ位置〉

水平タブの位置を設定します。

■単 位：1／180インチ

■範 囲：1～2448

最大32カ所まで設定できます。0が指定された場合、1と解釈されます。



複数の水平タブ位置を指定する場合は、行の左方向から右方向に順に指定する必要があります。

水平タブ位置の設定は、現在設定されている印字方式の文字ピッチで設定されます。本制御命令を受信すると、以前に設定した水平タブ位置はすべて解除されます。



- 水平タブ位置への移動 HT 《[P.4-9](#)》
- 水平タブ位置の設定HTS ESC H 《[P.4-13](#)》
- 水平タブ位置の設定SCT CEX F 《[P.4-28](#)》
- 水平タブ位置の設定HTSA CSI -- ; -- SP N 《[P.4-45](#)》
- 水平タブ位置の解除RCT CEX G 《[P.4-29](#)》

#### (4) 漢字の文字ピッチの指定 CP

---

漢字の文字ピッチを指定します。

**JIS** CEX \$ <文字ピッチ>

**16進数** 1Ch 24h <文字ピッチ>



<文字ピッチ>

漢字を印字するときの印字間隔を指定します。

- 単 位：1/180インチ
- 範 囲：24~60
- 初期値：27/180インチ



本制御命令は、漢字サイズには関係なく、文字の印字間隔を指定します。  
半角漢字は全角漢字の半分の文字ピッチになります。左スペース量は0となります。

#### (5) 改行ピッチの設定 LP

---

改行ピッチを1/180インチ単位で指定します。

**JIS** CEX % <改行ピッチ>

**16進数** 1Ch 25h <改行ピッチ>



<改行ピッチ>

改行ピッチを指定します。

- 単 位：1/180インチ
- 範 囲：1~60



- 改行ピッチの設定LP2 PU1 -- ; -- SP G 《[P.4-49](#)》
- 改行ピッチ/ANK文字ピッチの設定SPI CSI -- ; -- SP G 《[P.4-44](#)》

## (6) 漢字の拡大指定 KGM

漢字を縦方向および横方向に拡大して印字します。

**JIS** [CEX] [縦拡大率] [横拡大率]

**16進数** 1Ch 27h [縦拡大率] [横拡大率]



[縦拡大率]

漢字の縦方向の拡大率を指定します。

■単位：パーセント (%)

値	設定内容
100	等倍で印字します
200	2倍に拡大して印字します

[横拡大率]

漢字の横方向の拡大率を設定します。

■単位：パーセント (%)

■省略時：縦方向の倍率と同じになります。

値	設定内容
100	等倍で印字します
200	2倍に拡大して印字します



漢字を縦方向に拡大した場合、通常の文字の上端、中央、下端に合わせて印字することができます。



漢字縦倍指定時の印字位置の指定 KUPF [PUT] -- [SP] d 《☞ P.4-56》

漢字縦倍指定時の印字位置の指定（下端合わせ） KRM [CEX] .t 《☞ P.4-23》

漢字縦倍指定時の印字位置の指定（中央合わせ） KSM [CEX] - t 《☞ P.4-22》

## (7) ANK文字の書体指定 TF

ANK文字の書体を指定します。

**JIS** **[CEX]** ( ` [書体]

**16進数** 1Ch 28h 60h [書体]



[書体]

ドラフト書体またはレギュラ書体を指定します。

値	設定内容
0	ドラフト書体で印字します
1	レギュラ書体で印字します



本制御命令によって、プロポーショナルピッチの指定、1バイト半角文字、OCR文字、上付き／下付き文字の指定は解除されます。

## (8) 左右マージン位置の設定 LC

2種類の左マージン（左マージン1、2）と右マージン位置を設定します。

**JIS** **[CEX]** ) <文字ピッチ> <右マージン位置> <左マージン位置1> <左マージン位置2>

**16進数** 1Ch 29h <文字ピッチ> <右マージン位置> <左マージン位置1> <左マージン位置2>



<文字ピッチ>

左右マージン位置を決めるときの基準となる文字の印字間隔を指定します。

■単 位：1／180インチ

文字ピッチの指定は省略できません。

<右マージン位置>

右マージン位置を印字領域の左端からの文字数で指定します。

■範 囲：右マージン位置までの文字数は、<文字サイズ> × <右マージン位置> の値が2448以下になるように指定します。

右マージン位置の指定は省略できません。

### 〈左マージン位置1〉

左マージン位置1を印字領域の左端からの文字数で指定します。

■**範囲**：左マージン位置1までの文字数は、〈文字サイズ〉×〈左マージン位置1〉の値が右マージン位置未満になるように指定します。

■**省略時**：左マージン位置の設定（LMGR）で設定された位置になります。

### 〈左マージン位置2〉

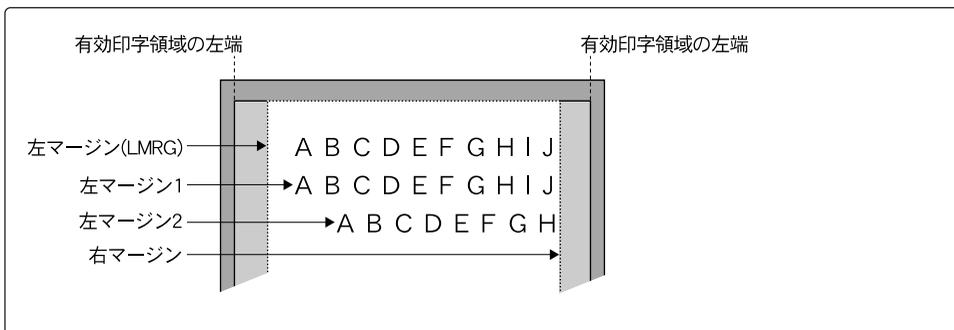
左マージン位置2を印字領域の左端からの文字数で指定します。

■**範囲**：左マージン位置2までの文字数は、〈文字サイズ〉×〈左マージン位置2〉の値が右マージン位置未満になるように指定します。

■**省略時**：左マージン位置の設定（LMGR）で設定された位置になります。



本制御命令による左マージン位置1、2および右マージン位置と、印字領域、「左マージン位置の設定 LMRG [PUT] --;-- [SP] Q」の関係は次のとおりです。



左マージン位置の設定 LMRG [PUT] --;-- [SP] Q 《[P.4-50](#)》

## (9) 漢字のアンダーラインの指定 HL

漢字に対してアンダーラインを引く指定をします。

JIS [CEX] \* [ラインモード]

16進数 1Ch 2Ah [ラインモード]



[ラインモード]

アンダーラインを引くかどうかを指定します。

値	設定内容
0	アンダーラインを解除します (初期状態)
4	アンダーラインを指定します



本制御命令は、ANK文字のアンダーラインには影響しません。

また、FMPR-359のFMモードでは、本制御命令によってカラー印字を設定できますが、本エミュレーションモードではカラー指定を無視します。

## (10) 漢字縦倍指定時の印字位置の指定 (中央合わせ) KSM

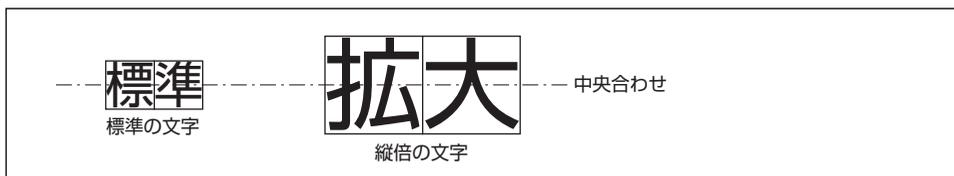
漢字を縦倍指定した場合、印字位置を標準サイズの文字の中央にそろえて印字します (中央合わせ)。

JIS [CEX] - t

16進数 1Ch 2Dh 74h



中央合わせモードでは、縦倍文字と標準文字の印字結果が次のようになります。



漢字縦倍指定時の印字位置の指定 (下端合わせ) KRM [CEX] .t < P.4-23>

漢字縦倍指定時の印字位置の指定 KUPF [PUT] -- [SP] d < P.4-56>

## (11) 漢字縦倍指定時の印字位置の指定（下端合わせ） KRM

漢字を縦倍指定した場合、印字位置を標準サイズの文字の下端にそろえて印字します（下端合わせ）。

JIS [CEX] .t

16進数 1Ch 2Eh 74h



下端合わせモードでは、縦倍文字と標準文字の印字結果が次のようになります。



漢字縦倍指定時の印字位置の指定（中央合わせ）KSM [CEX] - t 《☞ P.4-22》

漢字縦倍指定時の印字位置の指定KUPF [PUT] -- [SP] d 《☞ P.4-56》

## (12) 文字の登録（24×24ドット構成） CPT

2バイトコード文字を登録します。

JIS [CEX] 20 <登録文字コード（2バイト）>（文字パターンデータ）

16進数 1Ch 32h 30h <登録文字コード（2バイト）>（文字パターンデータ）



<登録文字コード（2バイト）>

文字を登録するコードをバイナリデータで指定します。

文字の種類	登録文字コード	
	1バイト目*	2バイト目
新JISモード（83）	28xx 29xx	21 ~ 7E
旧JISモード（78）	29xx 2Axx	21 ~ 7E

\*:28xxなどは、28番台のコードを表します。

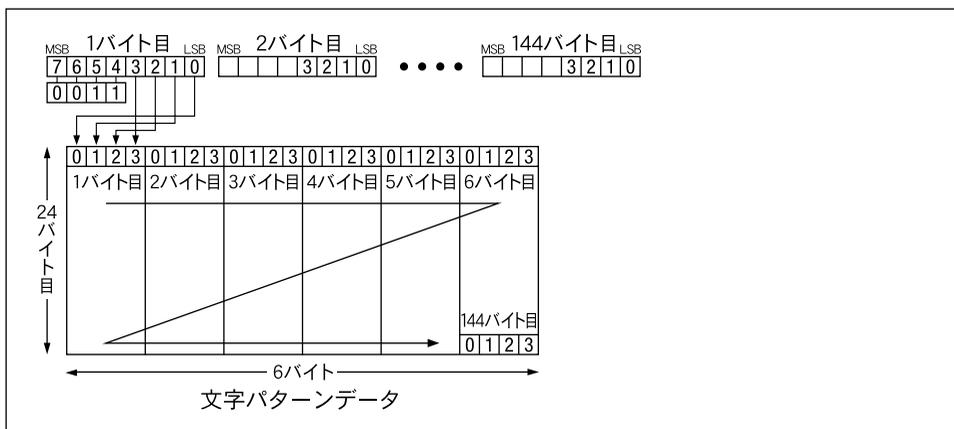
上記以外のコードを指定した場合は、文字パターンデータが無視されます。ただし、旧JISモード時に2A番台を指定すると28番台に登録され、新JISモード時に28番台を指定すると2A番台に登録されます。

(文字パターンデータ)

30h~3Fhで指定し、1バイトの下位4ビットが文字パターンを表します。したがって、文字パターンデータは144バイトとなります。



登録した文字の印字結果は次のようになります。



# 4

制御命令

## (13) 復帰改行 NEL

行バッファの印字データを印字して、現在印字位置を次行の左マージン位置に移動します。

JIS [CEX] @

16進数 1Ch 40h



改行量は現在の改行ピッチ (LP、LP2、SP1、行固定機能の設定) にしがいます。



左マージン位置の設定LMRG [PUT] -- ; -- [SP] Q 《P.4-50》

#### (14) 復帰改行（左マージン位置1） KNL1

---

行バッファの印字データを印字して、現在印字位置を次行の左マージン位置1に移動します。

JIS [CEX] A

16進数 1Ch 41h



左右マージン位置の設定LC [CEX] ) 《 P.4-20》

#### (15) 復帰改行（左マージン位置2） KNL2

---

行バッファの印字データを印字して、現在印字位置を次行の左マージン位置2に移動します。

JIS [CEX] B

16進数 1Ch 42h



左右マージン位置の設定LC [CEX] ) 《 P.4-20》

## (16) 復帰改行（段落） NPH

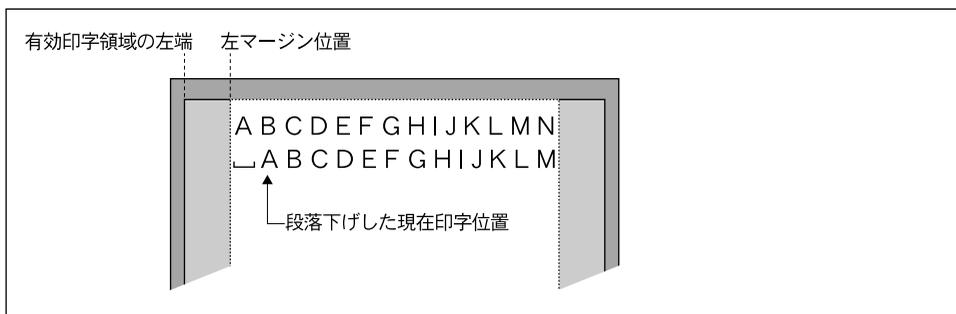
行バッファの印字データを印字して、現在印字位置を次行の左マージン位置から漢字1文字分右に移動します。

JIS [CEX] C

16進数 1Ch 43h



本制御命令は、段落の先頭を1文字下げる場合に使用できます。



左マージン位置の設定LMRG [PU1] --;-- [SP] Q 《☞ P.4-50》

## (17) 逆方向水平タブ位置への移動 CHBT

行バッファの印字データを印字して、現在印字位置を1つ前（左方向）の水平タブ位置に戻します。

JIS [CEX] D

16進数 1Ch 44h



現在印字位置より手前に水平タブが設定されていない場合、本制御命令は無視されます。



水平タブ位置の設定HTS [ESC] H 《☞ P.4-13》

水平タブ位置の設定STF [CEX] # 《☞ P.4-17》

水平タブ位置の設定SCT [CEX] F 《☞ P.4-28》

水平タブ位置の設定HTSA [CSI] --;-- [SP] N 《☞ P.4-45》

## (18) 逆方向垂直タブ位置への移動 LBT

行バッファの印字データを印字して、現在行を1つ前（上方向）の垂直タブ位置の左マージン位置に戻します。

JIS CEX E

16進数 1Ch 45h

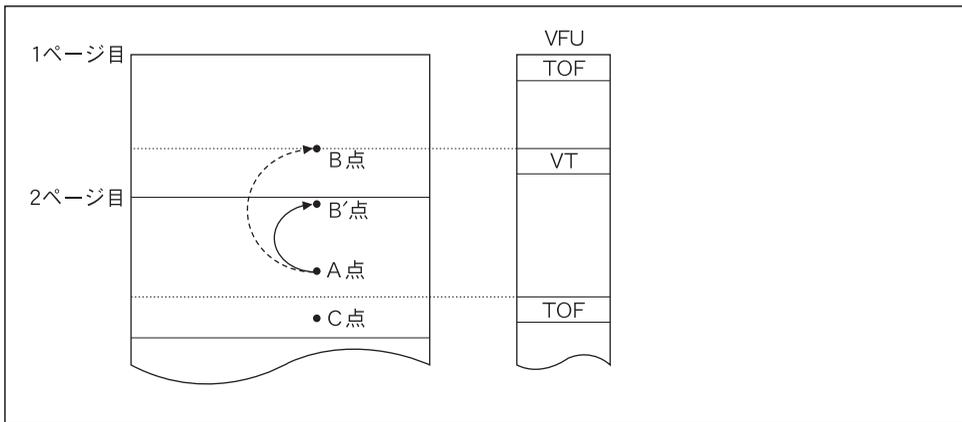


現在行より上方に垂直タブが設定されていない場合、本制御命令は無視されます。本エミュレーションモードでは、ページの上端およびTOF行を超えての逆方向改行はできません。ページ上端を超える場合と、TOF行を超える場合の動作は次のようになります。

### ●ページの上端を超える場合

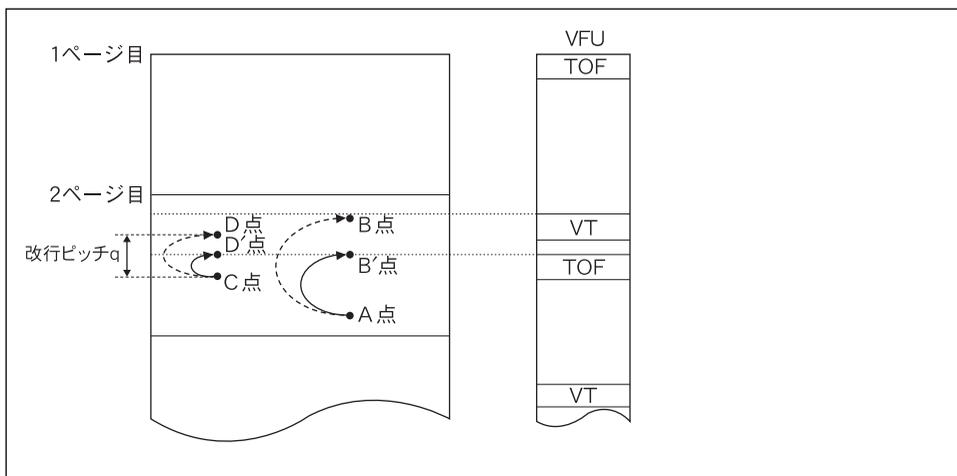
逆方向改行モード時、図のように現在印字位置がA点にあるとき、垂直タブの実行VTを行っても前ページのB点には戻れず、B'点に移動します。

また、C点で改ページFFを実行すると、現在印字位置は次ページのTOF行に移動します。したがって、逆方向の改ページFF指定は、順方向と同じ動作になります。



●TOF行を超える場合

逆方向改行モード時、図のように現在印字位置がA点にあるとき、垂直タブの実行VTを行ってもTOF行を超えたB点には戻れず、B'点に移動します。また、現在印字位置がC点にあり、改行ピッチがqのときに改行を実行すると、D点ではなくD'点（TOF行）に移動します。



垂直タブ位置の設定VTS `[ESC] J` [《 ➤ P.4-14》](#)

垂直タブ位置の設定SLT `[CEX] H` [《 ➤ P.4-29》](#)

垂直タブ位置の設定VTSA `[PU1] -- ; -- [SP] @` [《 ➤ P.4-47》](#)

## (19) 水平タブ位置の設定 SCT

現在印字位置に水平タブを設定します。

JIS `[CEX] F`

16進数 1Ch 46h



水平タブは最大32カ所に設定できます。



水平タブ位置の設定HTS `[ESC] H` [《 ➤ P.4-13》](#)

水平タブ位置の設定STF `[CEX] #` [《 ➤ P.4-17》](#)

水平タブ位置の設定HTSA `[CSI] -- ; -- [SP] N` [《 ➤ P.4-45》](#)

## (20) 水平タブ位置の解除 RCT

---

現在印字位置に設定されている水平タブを解除します。

JIS [CEX] G

16進数 1Ch 47h



水平／垂直タブ位置の解除TBC [CSI] -- g 《☞ P.4-41》

## (21) 垂直タブ位置の設定 SLT

---

現在行に垂直タブを設定します。

JIS [CEX] H

16進数 1Ch 48h



垂直タブは最大32カ所に設定できます。



垂直タブ位置の設定VTS [ESC] J 《☞ P.4-14》

垂直タブ位置の設定VTSA [PU1] -- ; -- [SP] @ 《☞ P.4-47》

## (22) 垂直タブ位置の解除 RLT

---

現在行に設定されている垂直タブを解除します。

JIS [CEX] I

16進数 1Ch 49h



水平／垂直タブ位置の解除TBC [CSI] -- g 《☞ P.4-41》

## (23) 漢字縦書きモードの指定 VWF

漢字の縦書きモードを設定します。

J I S [CEX] J

16進数 1Ch 4Ah

漢字  
縦書き



半角漢字の印字は、左右2文字構成で縦書きして、半角漢字1文字の場合は半角スペースを割り当てて2文字とする方法と、1文字ずつ中心に印字する方法が選択できます。

また、縦書き時の文字の回転方法は、文字パターンを物理的に90°回転させる方法と、句読点などが正しく印字されるように最適変換を行う方法が選択できます。

本制御命令は、ANK文字、イメージデータに対しては無効です。



漢字縦書き時の半角文字の印字HVWF [PUT] -- [SP] p 《☞ P.4-57》

漢字縦書き時の印字方法の指定VWF2 [PUT] -- [SP] q 《☞ P.4-58》

## (24) 漢字横書きモードの指定 HWF

漢字の横書きモードを設定します。

J I S [CEX] K

16進数 1Ch 4Bh

漢字  
横書き



初期状態では、漢字横書きモードになります。

本制御命令は、ANK文字、イメージデータに対しては無効です。

## (25) 上付き文字の指定 SSP

ANK文字を縮小して上付き（スーパースクリプト文字）で印字します。

JIS  CEX N

16進数 1Ch 4Eh



上付き文字は、ANK文字を縦方向、横方向ともに1/2倍に縮小し、標準の文字の上端にそろえて印字されます。



上付き文字は、文字コード80h~9Fh、E0h~FFh以外の文字に対して有効です。上付き文字の文字ピッチは、ANK文字ピッチの1/2になります。

本制御命令によって、プロポーショナルピッチの指定、1バイト半角文字、OCR文字は解除され、ドラフト文字が設定されます。

上付き文字の指定は、次の制御命令などで解除されます。

- 上付き文字の解除ESP  CEX O
- 下付き文字の指定SSB  CEX P
- 下付き文字の解除ESB  CEX Q
- プロポーショナルピッチの指定SPS  CEX T
- プロポーショナルピッチの解除EPS  CEX U
- 1バイト半角文字の印字HSS2  PUT --  SP |
- ANK文字の書体指定TF  CEX ( `
- パラメータリセット処理



FMPR-359では印字開始命令となる制御命令の直後に、右マージン位置で上付き/下付き文字が自動改行される場合、1文字分早く改行されることがありますが、本エミュレーションモードでは通常位置で改行されます。



上付き文字の解除ESP  CEX O 《 P.4-32》

## (26) 上付き文字の解除 ESP

ANK文字の上付き（スーパースクリプト文字）指定を解除します。

J I S [CEX] O

16進数 1Ch 4Fh



本制御命令によって、プロポーショナルピッチの指定、1バイト半角文字、OCR文字は解除され、ドラフト文字が設定されます。



上付き文字の指定SSP [CEX] N 《P.4-31》

## (27) 下付き文字の指定 SSB

ANK文字を縮小して下付き（サブスクリプト文字）で印字します。

J I S [CEX] P

16進数 1Ch 50h



下付き文字は、ANK文字を縦方向、横方向ともに1/2倍に縮小し、標準の文字の下端にそろえて印字されます。



下付き文字は、文字コード80h~9Fh、E0h~FFh以外の文字に対して有効です。下付き文字の文字ピッチは、ANK文字ピッチの1/2になります。

本制御命令によって、プロポーショナルピッチの指定、1バイト半角文字、OCR文字は解除され、ドラフト文字が設定されます。

本制御命令による下付き文字の指定は、次の制御命令などで解除されます。

- 下付き文字の解除ESB `[CEX] Q`
- 上付き文字の指定SSP `[CEX] N`
- 上付き文字の解除ESP `[CEX] O`
- プロポーショナルピッチの指定SPS `[CEX] T`
- プロポーショナルピッチの解除EPS `[CEX] U`
- 1バイト半角文字の印字HSS2 `[PUT] -- [SP] |`
- ANK文字の書体指定TF `[CEX] ( ``
- パラメータリセット処理



FMPR-359では印字開始命令となる制御命令の直後に、右マージン位置で上付き／下付き文字が自動改行される場合、1文字分早く改行されることがありますが、本エミュレーションモードでは通常位置で改行されます。



下付き文字の解除ESB `[CEX] Q` 《[P.4-33](#)》

## (28) 下付き文字の解除 ESB

ANK文字の下付き（サブスクリプト文字）指定を解除します。

**JIS** `[CEX] Q`

**16進数** 1Ch 51h



プロポーショナル、1バイト半角、OCR文字は解除され、ドラフト文字に設定されます。



下付き文字の指定SSB `[CEX] P` 《[P.4-32](#)》

## (29) プロポーショナルピッチの指定 SPS

ANK文字をプロポーショナルピッチで印字します。

J I S  C E X  T

16進数 1Ch 54h



プロポーショナル文字は、文字の形（文字パターンの幅）に合わせて文字ピッチが設定されており、印字した場合に文字の並びが自然に見えます。

プロポーショナル文字は、文字コード80h~FFh以外の文字に対して有効です。本制御命令によって、上付き／下付き文字は解除され、ドラフト文字が設定されます。

本制御命令によるプロポーショナルピッチの指定は、次の制御命令などで解除されます。

- 上付き文字の指定SSP  C E X  N
- 上付き文字の解除ESP  C E X  O
- 下付き文字の指定SSB  C E X  P
- 下付き文字の解除ESB  C E X  Q
- プロポーショナルピッチの解除EPS  C E X  U
- 1バイト半角文字の印字HSS2  P U  --  S P  |
- ANK文字の書体指定TF  C E X  ( `
- パラメータリセット処理



プロポーショナルピッチの解除EPS  C E X  U 《[P.4-34](#)》

## (30) プロポーショナルピッチの解除 EPS

ANK文字のプロポーショナルピッチによる印字を解除します。

J I S  C E X  U

16進数 1Ch 55h



解除後は、プロポーショナルピッチが指定される直前のANK文字ピッチになります。1バイト半角、OCR文字、スクリプト指定は解除され、ドット文字に設定されます。



プロポーショナルピッチの指定SPS  C E X  T 《[P.4-34](#)》

## (31) プリンタのリセット処理 RBS

---

プリンタを初期状態にします。

**JIS** **[CEX]** ]

**16進数** 1Ch 5Dh



FMモードの制御命令で設定されたすべての印字パラメータを初期化します。

同時に操作パネルで設定したメニュー設定項目の一部を初期化します。

なお、FMPPR-359では現在行に印字データがある場合は、そのデータが消去されますが、本エミュレーションモードでは印字して排紙後にリセット処理を行います。



初期状態 → 「付録2. 初期状態」 《☞ P.app.6》

プリンタのリセット処理RIS **[CEX]** c 《☞ P.4-14》

## 4.2.4 CSI シーケンス

CSI シーケンスでは、パラメータに指定する値（10進数）は、パラメータ1バイトで値の各位（一の位、十の位…）を表します。したがって、3ケタの10進数を指定する場合、パラメータは3バイト必要になります。

また、指定値は16進数表記で意味を持ち、下位バイトで実際の数値の各位を示し、上位バイトでパラメータの各バイトの種類を示します。

パラメータの各バイトの種類は、次の2種類です。

- 上位バイト=3：パラメータ終端までの中間バイトであることを示します。  
(30h~39h)
- 3Bh：複数のパラメータを指定する場合に、各パラメータの区切りを示します。

Ex

水平・垂直絶対位置への移動 CSI <垂直位置>;<水平位置> f  
垂直位置5行目、水平位置20文字目を設定するとき…

文字表記	→	CSI	5	;	2	0	f	
16進表記	→	1Bh	5Bh	35h	3Bh	32h	30h	66h
			5	;	2	0	f	
			中間	区切り	中間	中間	終端	← コード種別

CSI ( ESC [ ) シーケンスの拡張制御命令は、次の13種類です。

## (1) 水平絶対位置への移動 HPA

指定した水平位置に現在印字位置を移動します。

JIS [CSI] <水平位置>

16進数 1Bh 5Bh <水平位置> 60h



<水平位置>

移動先の水平位置を絶対位置で指定します。

■単位：1/180インチ

■範囲：左右マージン間

移動先が左マージン位置を越える場合、現在印字位置は左マージン位置となります。同様に、移動先が右マージン位置を越える場合、現在印字位置は右マージン位置となります。



パラメータを省略した場合、現在印字位置は変わりません。



水平・垂直絶対位置への移動SAP [CEX] ” 《☞ P.4-16》

## (2) 水平相対位置への移動（右方向） HPR

現在印字位置を指定した量だけ水平方向（右方向）に移動します。

JIS [CSI] <移動量> a

16進数 1Bh 5Bh <移動量> 61h



<移動量>

現在印字位置から移動するドット数を指定します。

■単位：1/180インチ

指定が右マージン位置を越えた場合は、行バッファ内のデータを印字した後、現在印字位置次行の左マージン位置に移動します。



左右マージン位置の設定LC [CEX] ) 《☞ P.4-20》

左マージン位置の設定LMRG [PU1] --;-- [SP] Q 《☞ P.4-50》

### (3) 垂直絶対位置への移動 VPA

行バッファの印字データを印字して、現在印字位置を指定した水平位置の左マージン位置に移動します。

J I S  <垂直位置> d

16進数 1Bh 5Bh <垂直位置> 64h



<垂直位置>

移動先の垂直位置を絶対位置で指定します。

■単 位：1／180インチ

■範 囲：1からページ長の間

移動先がページ長を越える場合、現在印字位置は次ページのTOF行になります。



パラメータを省略した場合、現在印字位置は変わりません。



左右マージン位置の設定LC  ) [《 P.4-20》](#)

左マージン位置の設定LMRG  -- ; --  Q [《 P.4-50》](#)

ページ長の設定（行単位）PGL1  --  A [《 P.4-47》](#)

ページ長の設定（インチ単位）PGL2  --  B [《 P.4-48》](#)

## (4) 垂直相対位置への移動（下方向） VPR

行バッファの印字データを印字して、指定した量だけ垂直方向（下方向）に移動し、現在印字位置を左マージン位置にします。

**J I S** `[CSI]` <移動量> e

**16進数** 1Bh 5Bh <移動量> 65h



<移動量>

現在行から移動する行数を指定します。

■単 位：1／180インチ

■範 囲：0～ページ長

移動先がページ長を越える場合、現在印字位置は次ページのTOF行になります。



パラメータを省略した場合、現在印字位置は変わりません。



左右マージン位置の設定LC `[CEX]` ) [《 P.4-20》](#)

左マージン位置の設定LMRG `[PUT] -- ; -- [SP] Q` [《 P.4-50》](#)

ページ長の設定（行単位）PGL1 `[PUT] -- [SP] A` [《 P.4-47》](#)

ページ長の設定（インチ単位）PGL2 `[PUT] -- [SP] B` [《 P.4-48》](#)

## (5) 水平・垂直絶対位置への移動 HVP

行バッファの印字データを印字して、指定した水平位置および垂直位置に現在印字位置を移動します。

**JIS** `[CSI]` <水平位置>;<垂直位置> f

**16進数** 1Bh 5Bh <水平位置> 3Bh <垂直位置> 66h



### <水平位置>

移動先の水平位置を絶対位置で指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：左右マージン間

移動先が左マージン位置を越える場合、現在印字位置は左マージン位置となります。同様に、移動先が右マージン位置を越える場合、現在印字位置は右マージン位置となります。パラメータを省略した場合、現在印字位置は変わりません。

### <垂直位置>

移動先の垂直位置を絶対位置で指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：1からページ長の間

■省略時：1 (1/180インチ)

移動先がページ長を越える場合、現在印字位置は次ページのTOF行になります。



左右マージン位置の設定LC `[CEX]` ) [《 指 P.4-20》](#)

左マージン位置の設定LMRG `[PUT]` -- ; -- `[SP]` Q [《 指 P.4-50》](#)

ページ長の設定 (行単位) PGL1 `[PUT]` -- `[SP]` A [《 指 P.4-47》](#)

ページ長の設定 (インチ単位) PGL2 `[PU1]` -- `[SP]` B [《 指 P.4-48》](#)

水平・垂直絶対位置への移動SAP `[CEX]` " [《 指 P.4-16》](#)

## (6) 水平／垂直タブ位置の解除 TBC

指定した水平タブまたは垂直タブの設定を解除します。

JIS  CSI [解除対象タブ] g

16進数 1Bh 5Bh [解除対象タブ] 67h



[解除対象タブ]

解除するタブを指定します。

値	設定内容
0	現在印字位置の水平タブを解除します (RCTと同等)
1	現在行の垂直タブを解除します (RLTと同等)
2	設定されているすべての水平タブを解除します
3	設定されているすべての垂直タブを解除します



水平タブ位置の解除RCT  CEX G [《P.4-29》](#)

垂直タブ位置の解除RLT  CEX I [《P.4-29》](#)

## (7) 水平相対位置への移動 (左方向) HPB

現在印字位置を指定した量だけ水平方向 (左方向) に移動します。

JIS  CSI j

16進数 1Bh 5Bh <移動量> 6Ah



<移動量>

現在印字位置から移動するドット数を指定します。

■単位: 1/180インチ

指定が左マージン位置を越えた場合は、左マージン位置に移動します。



パラメータを省略した場合、現在印字位置は変わりません。



左右マージン位置の設定LC  CEX ) [《P.4-20》](#)

左マージン位置の設定LMRG  PUT -- : --  SP Q [《P.4-50》](#)

## (8) 垂直相対位置への移動（上方向） VPB

行バッファの印字データを印字して、指定した量だけ垂直方向（上方向）に移動し、現在印字位置を左マージン位置にします。

J I S  〈移動量〉 k

16進数 1Bh 5Bh 〈移動量〉 6Bh



〈移動量〉

現在行から移動する行数を指定します。

■単 位：1／180インチ

■範 囲：0～ページ長

移動先がTOF行を越える場合、現在印字位置はTOF行になります。



パラメータを省略した場合、現在印字位置は変わりません。



左右マージン位置の設定LC  ) 《 P.4-20》

左マージン位置の設定LMRG  -- ; --  Q 《 P.4-50》

ページ長の設定（行単位）PGL1  --  A 《 P.4-47》

ページ長の設定（インチ単位）PGL2  --  B 《 P.4-48》

## (9) ANK文字のアンダーラインの指定 SGR

ANK文字に対するアンダーラインを指定／解除します。

J I S  [ラインモード] m

16進数 1Bh 5Bh [ラインモード] 6Dh



[ラインモード]

アンダーラインの印字を指定します。

値	設定内容
0	アンダーラインの印字を解除します。(省略時も同様)
4	アンダーラインの印字を行います。



FMPR-359では本制御命令によってカラー印字の指定（パラメータ30～36）が行えますが、本エミュレーションモードではカラー印字の指定は無視されます。本制御命令によるアンダーラインの指定は、漢字には影響しません。

## (10) ANK文字の横幅拡大指定 GSM

ANK文字を横方向に拡大して印字します。

**JIS**  **CSI** [縦拡大率] ; [横拡大率]  **SP** B

**16進数** 1Bh 5Bh [縦拡大率] 3Bh [横拡大率] 20h 42h



**[縦拡大率]**

ANK文字の縦方向の拡大率を指定します。

■単 位：パーセント (%)

縦方向は「100」のみ指定でき、省略できます。

**[横拡大率]**

ANK文字の横方向の拡大率を設定します。

■単 位：パーセント (%)

■省略時：100

値	設定内容
100	等倍で印字します。
200	2倍に拡大して印字します。

## (11) プロポーショナルピッチのスペース幅の設定 TSS

---

プロポーショナルピッチで印字するスペース（空白）の幅を設定します。

J I S  〈スペース幅〉  E

16進数 1Bh 5Bh 〈スペース幅〉 20h 45h



〈スペース幅〉

スペースの幅を指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：5~60

■省略値：18（18/180インチ）



プロポーショナルピッチの指定SPS  T 《 P.4-34》

## (12) 改行ピッチ／ANK文字ピッチの設定 SPI

---

改行ピッチとANK文字ピッチを設定します。

J I S  〈改行ピッチ〉；〈ANK文字ピッチ〉  G

16進数 1Bh 5Bh 〈改行ピッチ〉 3Bh 〈ANK文字ピッチ〉 20h 47h



〈改行ピッチ〉

改行ピッチを1/180インチ単位で指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：1~60

■省略値：30（30/180インチ）

〈ANK文字ピッチ〉

ANK文字ピッチを1/180インチ単位で指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：10~60

■省略値：18（18/180インチ）

文字ピッチの指定によって、対応する文字フォントが選択されます。

値	設定内容
10~14	縮小文字
15~17	エリート
18~60	パイカ



改行ピッチの設定LP **[CEX]** % 《☞ P.4-18》

改行ピッチの設定LP2 **[PUT]** -- ; -- **[SP]** G 《☞ P.4-49》

### (13) 水平タブ位置の設定 HTSA

指定した位置に水平タブを設定します。

**JIS** **[CSI]** <タブ位置1> ; <タブ位置2> … <タブ位置n> **[SP]** N

**16進** 1Bh 5Bh <タブ位置1> 3Bh <タブ位置2> … <タブ位置n> 20h 4Eh



<タブ位置>

水平タブの位置を設定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：1~2448

最大32カ所まで設定できます。



複数の水平タブ位置を指定する場合は、行の左方向から右方向に順に指定する必要があります。

水平タブ位置の設定は、現在設定されている印字方式の文字ピッチで設定されます。本制御命令を受信すると、以前に設定した水平タブ位置はすべて解除されます。



水平タブ位置への移動 **[HT]** 《☞ P.4-9》

水平タブ位置の設定HTS **[ESC]** H 《☞ P.4-13》

水平タブ位置の設定SCT **[CEX]** F 《☞ P.4-28》

水平タブ位置の設定STF **[CEX]** # 《☞ P.4-17》

水平タブ位置の解除RCT **[CEX]** G 《☞ P.4-29》

## 4.2.5 [PU1] シーケンス

[PU1]シーケンスでは、パラメータに指定する値（10進数）は、パラメータ1バイトで値の各位（一の位、十の位…）を表します。したがって、3ケタの10進数を指定する場合、パラメータは3バイト必要になります。

また、指定値は16進数表記で意味を持ち、下位バイトで実際の数値の各位を示し、上位バイトでパラメータの各バイトの種類を示します。

パラメータの各バイトの種類は、次の2種類です。

- 上位バイト=3：パラメータ終端までの中間バイトであることを示します。  
(30h~39h)
- 3Bh：複数のパラメータを指定する場合に、各パラメータの区切りを示します。

**Ex**

左マージン位置の設定 [PU1] <文字サイズ>;<文字数> [SP] Q  
文字サイズを18/180、左マージンを5文字目を設定するとき…

文字表記	→	[PU1]	1	8	;	5	[SP]	Q
16進表記	→	1Bh	51h	<u>31h</u>	<u>38h</u>	<u>3Bh</u>	<u>35h</u>	20h 51h
				18	:	5		
			中間	中間	区切り	中間		終端 ← コード種別

[PU1] ([ESC] Q) シーケンスの拡張制御命令は、次の17種類です。

## (1) 垂直タブ位置の設定 VTSA

指定した位置に垂直タブを設定します。

**JIS** [PU1] <タブ位置1>;<タブ位置2>…<タブ位置n> [SP] @

**16進数** 1Bh 51h <タブ位置1> 3Bh <タブ位置2>…<タブ位置n> 20h 40h



<タブ位置>

垂直タブの位置を設定します。

■単位：1/180インチ

■範囲：1からページ長の間

最大32カ所まで設定できます。



複数の垂直タブ位置を指定する場合は、先頭行から下方向に順に指定する必要があります。  
本制御命令を受信すると、以前に設定した垂直タブ位置はすべて解除されます。



垂直タブ位置への移動

[VT]

<☞ P.4-10>

垂直タブ位置の設定VTS

[ESC] J

<☞ P.4-14>

垂直タブ位置の設定SLT

[CEX] H

<☞ P.4-29>

水平/垂直タブ位置の解除TBC

[CSI] -- g

<☞ P.4-41>

## (2) ページ長の設定（行単位） PGL1

ページ長を行単位で設定します。

**JIS** [PU1] <ページ長> [SP] A

**16進数** 1Bh 51h <ページ長> 20h 41h



<ページ長>

行数でページ長を設定します。

■単位：現在の改行ピッチ

■範囲：1~255

■省略値：66行



印字データがある場合は印字後排紙し、現在印字位置が次ページの先頭行（TOF行）に移動します。カット紙に対応したモード（Fmode 1, 2, 7, 8）では、本命令は無視されます。



ページ長の設定（インチ単位） PGL2 **[PU1]** -- **[SP]** B 《☞ P.4-48》  
 改行ピッチの設定LP **[CEX]** % 《☞ P.4-18》  
 改行ピッチの設定LP2 **[PU1]** -- ; -- **[SP]** G 《☞ P.4-49》  
 改行ピッチ／ANK文字ピッチの設定SPI **[CSI]** -- ; -- **[SP]** G 《☞ P.4-44》

### (3) ページ長の設定（インチ単位） PGL2

ページ長をインチ単位で設定します。

**JIS** **[PU1]** <ページ長> **[SP]** B

**16進数** 1Bh 51h <ページ長> 20h 42h



<ページ長>

ページ長を設定します。

- 単 位：インチ
- 範 囲：1～22
- 省略値：11インチ



印字データがある場合は印字後排紙し、現在印字位置が次ページの先頭行（TOF行）に移動します。

設定したページ長を越えた位置に設定された垂直タブはクリアされます。



ページ長の設定（行単位） PGL1 **[PU1]** -- **[SP]** A 《☞ P.4-47》  
 改行ピッチの設定LP **[CEX]** % 《☞ P.4-18》  
 改行ピッチの設定LP2 **[PU1]** -- ; -- **[SP]** G 《☞ P.4-49》  
 改行ピッチ／ANK文字ピッチの設定SPI **[CSI]** -- ; -- **[SP]** G 《☞ P.4-44》

## (4) 改行ピッチの設定 LP2

改行ピッチを設定します。

**JIS** [PU1] <改行ピッチの分子> ; <改行ピッチの分母> [SP] G

**16進数** 1Bh 51h <改行ピッチの分子> 3Bh <改行ピッチの分母> 20h 47h



<改行ピッチの分子> <改行ピッチの分母>

改行ピッチを（改行ピッチの分子／改行ピッチの分母）の値で指定します。

■単 位：インチ

■範 囲：指定した改行ピッチが1／180～60／180インチの間



パラメータを省略した場合、改行ピッチは変化しません。

指定したパラメータの除算で余りが出た場合は、パラメータエラーになります。



改行ピッチの設定LP

[CEX] %

《☞ P.4-18》

改行ピッチ／ANK文字ピッチの設定SPI

[CSI] -- ; --

[SP] G

《☞ P.4-44》

## (5) ミシン目スキップ行数の設定 SPF

ミシン目スキップ行数（スキップパーフォレーション行数）を指定します。

**JIS** [PU1] <行数> [SP] K

**16進数** 1Bh 51h <行数> 20h 4Bh



<行 数>

最終行からの行数でミシン目スキップ量を指定します。

■単 位：現在の改行ピッチ

■範 囲：0～ページ長

■省略値：0行



設定されているページ長から本制御命令で指定した行数に達すると、改ページが行われ  
ず。



ページ長の設定（行単位）PGL1

[PU1] --

[SP] A

《☞ P.4-47》

ページ長の設定（インチ単位）PGL2

[PU1] --

[SP] B

《☞ P.4-48》

## (6) 水平絶対位置への移動 HPA2

---

指定した水平位置に現在印字位置を移動します。

J I S [PU1] <水平位置> [SP] P

16進数 1Bh 51h <水平位置> 20h 50h



<水平位置>

移動先の水平位置を絶対位置で指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：左右マージン間

移動先が左マージン位置を越える場合、現在印字位置は左マージン位置となります。同様に、移動先が右マージン位置を越える場合、現在印字位置は右マージン位置となります。



本制御命令は、「水平絶対位置への移動HPA [CSI] - - `」と違い、現在印字位置より左方向を指定しても、印字開始命令になりません。なお、左マージン方向へ移動した場合、以降の印字データはすでにある印字データと重ね合わせて印字されます。

パラメータを省略した場合、現在印字位置は変わりません。



水平絶対位置への移動HPA [CSI] - - ` 《☞ P.4-37》

## (7) 左マージン位置の設定 LMRG

---

左マージン位置を設定します。

J I S [PU1] <文字ピッチ>; <左マージン位置> [SP] Q

16進数 1Bh 51h <文字ピッチ> 3Bh <左マージン位置> 20h 51h



<文字ピッチ>

左マージン位置を決めるときの基準となる文字の印字間隔を指定します。

■単 位：1/180インチ

文字ピッチの指定は省略できません。

### 〈左マージン位置〉

左マージン位置を印字領域の左端からの文字数で指定します。

■範 囲：左マージン位置1までの文字数は、〈文字サイズ〉×〈左マージン位置〉の値が右マージン位置未満になるように指定します。

■省略時：0（印字領域の左端位置）



本制御命令を実行すると、行バッファの印字データを印字して、以前の左マージン位置を解除します。



左右マージン位置の設定LC [CEX] ) 《 P.4-20》

## (8) 単密度倍幅ドット列イメージの印字 SIMG

単密度倍幅イメージデータを印字します。

JIS [PU1] 〈ドット列数〉 [SP] V (イメージデータ)

16進数 1Bh 51h 〈ドット列数〉 20h 56h (イメージデータ)



〈ドット列数〉

ドット列イメージの横方向のドット列数を指定します。

ただし、ドット列数は倍幅となるため、印字したときのイメージ幅は指定した「ドット列数×2」になります。

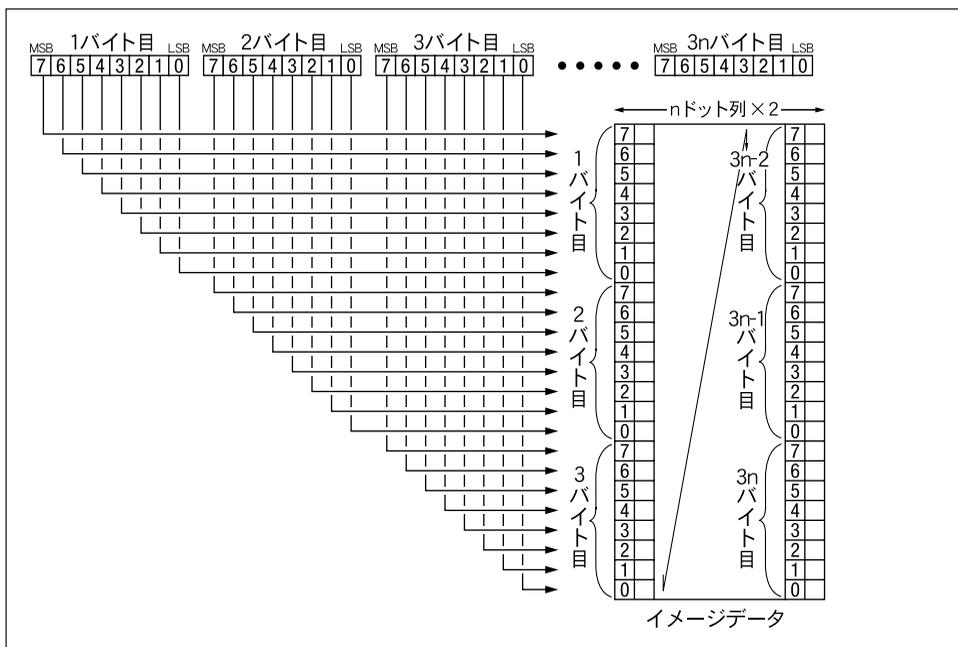
(イメージデータ)

ドット列イメージデータを指定します。

データ量は、「ドット列数×3」バイトになります。



単密度倍幅ドット列イメージの印字結果はFMPR-359では次のようになります。



# 4

## 制御命令

本エミュレーションモードでは、FMPR-359との解像度の違いおよびイメージの展開方法の関係で、「倍幅ドット列イメージの印字DIMG [PU1] -- [SP] X」と同じになります。したがって、横方向の印字は、奇数ドット列にイメージデータが対応し、次の偶数ドット列に複写して印字します。



倍幅ドット列イメージの印字DIMG [PU1] -- [SP] X ( P.4-54)

## (9) ドット列イメージの印字 NIMG

イメージデータを印字します。

**JIS** **[PU]** <ドット列数> **[SP]** W (イメージデータ)

**16進数** 1Bh 51h <ドット列数> 20h 57h (イメージデータ)



<ドット列数>

ドット列イメージの横方向のドット列数を指定します。

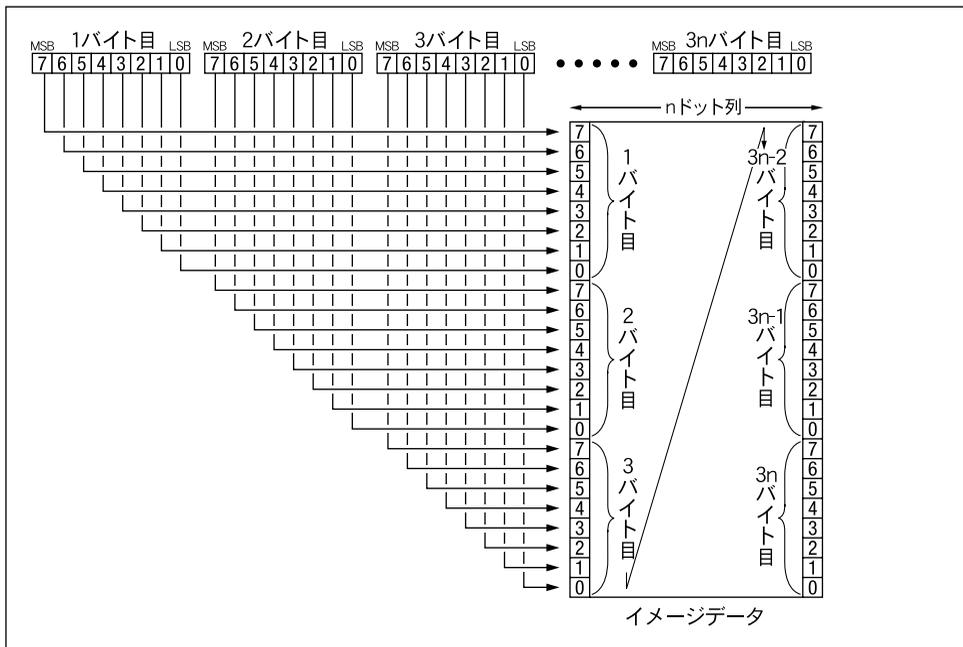
(イメージデータ)

ドット列イメージデータを指定します。

データ量は、「ドット列数×3」バイトになります。



ドット列イメージの印字結果は次のようになります。



イメージが右マージン位置を越えた場合は、次行の左マージン位置に折り返して印字します。

## (10) 倍幅ドット列イメージの印字 DIMG

倍幅イメージデータを印字します。

**JIS** [PU] <ドット列数> [SP] X (イメージデータ)

**16進数** 1Bh 51h <ドット列数> 20h 58h (イメージデータ)



<ドット列数>

ドット列イメージの横方向のドット列数を指定します。

ただし、ドット列数は倍幅となるため、印字したときのイメージ幅は指定した「ドット列数×2」になります。

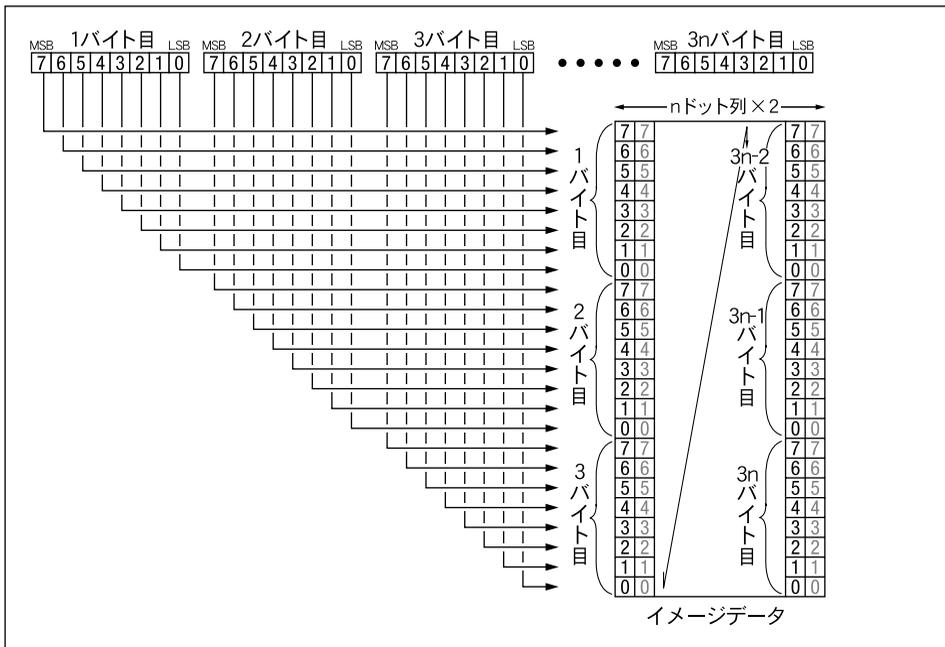
(イメージデータ)

ドット列イメージデータを指定します。

データ量は、「ドット列数×3」バイトになります。



倍幅ドット列イメージの印字結果は次のようになります。



横方向の印字は、奇数ドット列にイメージデータが対応し、次の偶数ドット列に複写して印字します。

本エミュレーションモードでは、「単密度倍幅ドット列イメージの印字SIMG [PUT] - - [SP] V」は本制御命令と同じ印字結果になります。

なお、イメージが右マージン位置を越えた場合は、次行の左マージン位置に折り返して印字します。



単密度倍幅ドット列イメージの印字SIMG [PUT] - - [SP] V 《 P.4-51》

## (11) カットシートフィーダの制御 CSF

カットシートフィーダ使用時の用紙吸入、排出、および用紙に応じた吸入量（上余白に加算されます）を指定します。

JIS [PUT] [動作] [SP] P [

16進数 1Bh 51h [動作] 20h 5Bh



[動作]

カットシートフィーダの制御内容を指定します。

値	設定内容
0	用紙を吸入します
1	用紙を排出します
10	カット紙の用紙吸入量（120／180インチ）を指定します
11	はがき縦置き時の用紙吸入量（60／180インチ）を指定します
12	はがき横置き時の用紙吸入量（42／180インチ）を指定します
20	用紙を吸入します（FMPR-359では第1ピンから給紙）
21	用紙を吸入します（FMPR-359では第2ピンから給紙）
22	用紙を吸入します（FMPR-359では第3ピンから給紙）



用紙吸入量のカット紙およびはがきは、本エミュレーションモードの用紙サイズとは関係ありません。それぞれを指定すると、用紙吸入量だけが有効になり、本エミュレーションモードの上余白と合計され、先頭行の位置が決まります。

本制御命令は、カット紙のページフォーマットFmode 1, 2, 7, 8で有効です。

## (12) 漢字縦倍指定時の印字位置の指定 KUPF

漢字を縦倍指定した場合、標準サイズの文字のどこにそろえて印字するかを指定します。

J I S [PU1] [印字位置] [SP] d

16進数 1Bh 51h [印字位置] 20h 64h



[印字位置]

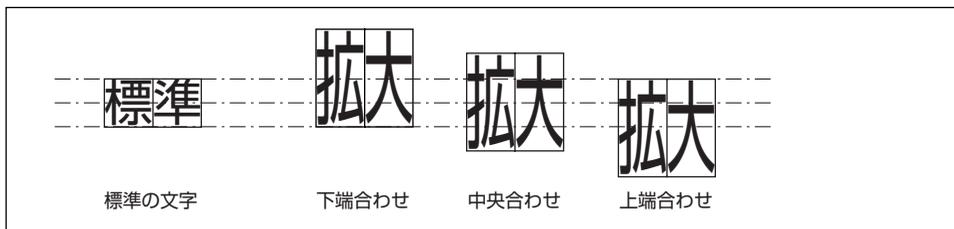
印字位置を指定します。

値	設定内容	
0	上端合わせ	標準サイズの文字の上端に合わせます (初期状態)
1	下端合わせ	標準サイズの文字の下端に合わせます
2	中央合わせ	標準サイズの文字の中心に合わせます

パラメータを省略すると、「0」の上端合わせになります。



それぞれのモードでは、縦倍文字と標準文字の印字結果が次のようになります。



漢字縦倍指定時の印字位置の指定 (中央合わせ) KSM [CEX] - t 《 P.4-22》

漢字縦倍指定時の印字位置の指定 (下端合わせ) KRM [CEX] .t 《 P.4-23》

### (13) 漢字縦書き時の半角文字の印字 HVWF

漢字縦書き時の半角文字の印字方法を指定します。

JIS [PU1] [印字方式] [SP] p

16進数 1Bh 51h [印字方式] 20h 70h



[印字方式]

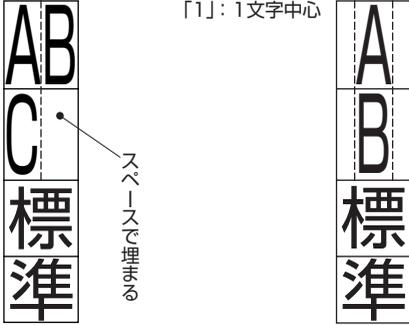
半角文字の印字方法を指定します。

値	設定内容
0	半角文字を2文字ずつ横に並べて印字します（初期状態） 半角文字が1文字しかない場合は、半角スペースと組み合わせて2文字として扱います
1	1文字ずつ全角文字の中心に合わせて印字します

パラメータを省略すると、「0」の2文字構成になります。



それぞれのモードでは、半角文字と標準文字の印字結果が次のようになります。

「0」: 2文字構成		「1」: 1文字中心
------------	------------------------------------------------------------------------------------	------------



漢字縦書きモードの指定VWF [CEX] J 《 P.4-30》

## (14) 漢字縦書き時の印字方式の指定 VWF2

漢字縦書き時の文字の回転方法を指定します。

J I S [PU1] [印字方式] [SP] q

16進数 1Bh 51h [印字方式] 20h 71h



[印字方式]

文字の回転方法を指定します。

値	設定内容
0	文字を物理的に左90°回転させます（初期状態）
1	パターンによる最適変換を行います 文字を縦書きにする際に、句読点や音引き、カッコ記号、かなの小文字（やゆよなど）などが正しく見えるように変換して印字します

パラメータを省略すると、「0」の物理的に90°回転する方法になります。



漢字縦書きモードの指定VWF [CEX] J 《 P.4-30》

## (15) 罫線接続の指定 KC

文字罫線（漢字）の接続を行うかどうかを指定します。

J I S [PU1] [接続方式] [SP] t

16進数 1Bh 51h [接続方式] 20h 74h



[接続方式]

罫線の接続方法を指定します。

値	設定内容
0	罫線を接続しません（初期状態）
1	罫線を自動的に接続します

パラメータを省略すると、「0」の罫線接続なしになります。

## (16) 漢字未定義コード印字の指定 KUDC

漢字未定義コードを受信した場合の処理を指定します。

**JIS** [PUT] [印字方式] [SP] x

**16進数** 1Bh 51h [印字方式] 20h 78h



[印字方式]

漢字未定義コードの処理を指定します。

値	設定内容
0	「■」を印字しません（初期状態）
1	漢字のスペースを印字します

パラメータを省略すると、「0」の■の印字になります。

## (17) 1バイト半角文字の印字 HSS2

1バイト半角文字を指定します。

**JIS** [PUT] [印字モード] [SP] |

**16進数** 1Bh 51h [印字モード] 20h 7Ch



[印字モード]

1バイト半角文字を印字するかどうかを指定します。

値	設定内容
0	標準文字で印字します（初期状態）
1	1バイト半角文字で印字します

パラメータを省略すると、「0」の標準文字になります。



「0」を指定した場合は、プロポーショナルピッチ、1バイト半角文字、OCR文字の設定は解除されます。

## 4.3 LBPシリーズ専用命令

F359エミュレーションモードには、次の22種類のLBPシリーズ専用の制御命令が用意されています。

本エミュレーションモード専用命令のパラメータは、文字（JIS）形式で指定します。

**Ex**

上付き／下付き文字の指定を行う制御命令 **ESC** ? D [上付き／下付き (1バイト)] のパラメータは、次のように指定します。  
「1」の下付き文字を設定する場合

```
ESC ? D 1
      1Bh  3Fh44h 31h
           /  \
        制御コード 「1」の16進数コード
```

## 4.3.1 フォーム作成の制御命令

フォーム作成に関する制御命令には、次の8種類のESCシーケンスが用意されています。

### (1) ユーザページの登録

オーバーレイ印字するユーザ独自のフォームデータを指定のユーザページに登録します。

**J I S** [PUT] ? h [ユーザページ番号 (1バイト)]

**16進数** 1Bh 3Fh 68h [ユーザページ番号 (1バイト)]



[ユーザページ番号 (1バイト)]

フォームデータを登録するユーザページを指定します。

値	設定内容
0	ユーザページ1にフォームを登録します。
1	ユーザページ2にフォームを登録します。



登録したフォームデータをジョブ（一連の印刷処理）が終わった時点で削除するか、LBPシリーズの電源をオフにするまで削除しないかは、メニューの「トウロクレベル」で選択できます。

ユーザページの登録を開始すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期化されます。



すでにフォームを登録したユーザページに、新たにフォームを登録した場合、以前のフォームデータは消去されます。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-41》

「3.2.7 その他のグループ (2) 登録データの削除方法を設定する」《☞ P.3-37》

## (2) ユーザページの登録終了

ユーザページまたは複写ページへのフォームデータの登録を終了します。

J I S [ESC] ? e

16進数 1Bh 3Fh 65h



ユーザページおよび複写ページの登録を終了すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期化されます。

また、本制御命令を受信したとき以外にも、ユーザページの登録が終了する場合があります。



「2.6.1 ページオーバレイ機能」《P.2-41》

## (3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録

FMPR-359のドット列イメージの印字命令によって、LIPSの制御命令で作成されたフォームデータを送り、ユーザページの登録を行います。

J I S [ESC] ? ' [ユーザページ番号 (1バイト)]

16進数 1Bh 3Fh 27h [ユーザページ番号 (1バイト)]



[ユーザページ番号 (1バイト)]

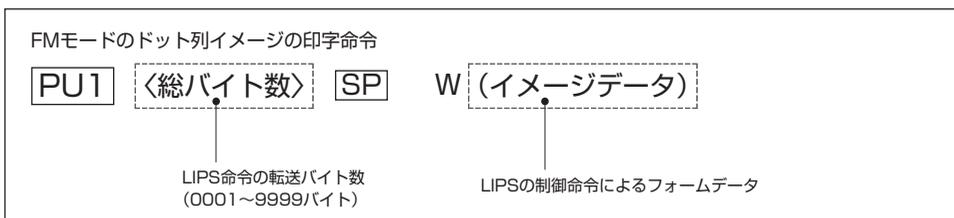
フォームデータを登録するユーザページを指定します。

値	設定内容
0	ユーザページ1にフォームを登録します。
1	ユーザページ2にフォームを登録します。



本制御命令を受信すると、ユーザページの登録が開始され、送られてくるドット列イメージの印字命令のイメージデータ部分をLIPSの制御命令または文字データとして解釈し、フォームを登録します。

メニュー設定値「HEX/LIPS機能」が「無効」の場合には、本命令は無視されます。



LIPSの制御命令でフォームデータを登録している間は、LIPS以外の制御命令は無効になります。

また、指定したバイト数分のLIPSの制御命令が送られていなくても、ユーザページの登録が終了する条件が満たされれば、自動的に登録を終了します。

本制御命令を受信するとパラメタリセット処理が行われ、印字データがある場合はそのページを印字して排紙したあと、ページ登録を開始します。

ユーザページの印字方向（ポートレイト／ランドスケープ）および用紙サイズは、本エミュレーションモードの設定（ページフォーマットおよび用紙サイズの設定）にしたがいません。

なお、LIPSの制御命令は、メニューの「LIPSフォーム」で「LIPS2」または「LIPS4」から選択できます。



LIPSの制御命令によるページ登録中は、VDMモード以外で制御命令として[ESC]：が送られると、指定バイト数のLIPSの制御命令が送られていなくてもフォーム登録を終了します。VDMモードのハードリセット命令やソフトリセット命令でもフォーム登録は終了します。

また、登録中はLIPSの自動改ページモードはOFFになり、垂直方向の移動命令による自動改ページは行われません。

なお、次の制御命令およびデータは無視または無効になります。

■改ページ命令 [FF]

■ハード・リセット命令 [ESC] c

■エミュレーション・モード開始命令 [ESC] % 1

■コメント表示命令 1/2/3

[ESC] P y [ESC] \、 [ESC] P O y [ESC] \、 [ESC] [ & y

- 給紙モード設定命令 **[ESC]** [ q
- オーバーレイ印字開始／終了命令 **[ESC]** [ & w
- 文字セット削除命令 **[ESC]** [ & p
- 1文字登録命令バイナリ／ヘキサ **[ESC]** [ . q、 **[ESC]** [ / q
- 文字セット登録命令バイナリ／ヘキサ **[ESC]** [ . p、 **[ESC]** [ / p

また、メニューのその他のグループの「LIPSフォーム」の設定が「LIPS2」の場合、次のLIPSの制御命令はイメージ印字命令以降は無効になります。また、「LIPSフォーム」の設定が「LIPS4」の場合、次の制御命令はイメージ印字命令以降に「オーバーレイ・ページ登録開始 **[ESC]** [ 1 & s」を受信すると無効になります。

- ソフト・リセット命令 **[ESC]** <
- オーバーレイ・ページ登録開始 **[ESC]** [ & 1 s
- ページ・フォーマット選択命令 **[ESC]** [ p
- ジョブ開始終了命令 **[ESC]** P J

なお、「LIPSフォーム」の設定が「LIPS4」の場合は、イメージ印字命令以降で「オーバーレイ・ページ登録開始 **[ESC]** [ & 1 s」を送らないと登録が開始されません。

また、「LIPSフォーム」の設定に関係なく、「オーバーレイ・ページ登録終了 **[ESC]** [ & 0 s」を受信するとLIPSのページ登録を終了します。

「LIPS4」のオーバーレイ・ページ登録開始 **[ESC]** [ & 1 sで登録するページ番号は、本命令で登録するページ番号が同じでなければなりません。

メニューのその他のグループの「登録レベル」の設定が「永久」の場合、ジョブが終了しても登録ページは保持されますが、LIPSページ登録による登録ページは他のエミュレーションなどのジョブ中に削除される可能性があります。

メニューのその他のグループの「LIPSフォーム」の設定値が「LIPS2」の場合と「LIPS4」の場合の登録ページは、別のページとして登録されます。



ドット列イメージの印字 **[PU1]** -- **[SP]** W 《☞ P.4-53》

「2.6.1 ページオーバーレイ機能」 《☞ P.2-41》

「3.2.7 その他のグループ (4) フォーム登録時のLIPSモードを設定する」 《☞ P.3-40》

## (4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了

本制御命令を受信すると、LIPSの制御命令によるユーザページの登録を終了します。

**J I S** [ESC] ? .

**16進数** 1Bh 3Fh 2Eh



ユーザページの登録を終了すると、ジョブ終了と同様なりセットが行われますがメニューの設定値は保持されます。



「2.6.1 ページオーバレイ機能」《☞ P.2-41》

LIPSの制御命令によるユーザページの登録 [ESC] ? ' 《☞ P.4-62》

## (5) 複写ページの登録

複写用紙機能でオーバーレイ印字するユーザ独自のフォームデータを指定の共通ページまたは複写ページに登録します。

**J I S** [ESC] ?? h [共通/複写ページ (1バイト)]

**16進数** 1Bh 3Fh 3Fh 68h [共通/複写ページ (1バイト)]



[共通/複写ページ (1バイト)]

フォームデータを登録するページを指定します。

値	設定内容
K	共通ページ (複写用紙の全ページに印字)
1~5	複写ページ1~5 (複写用紙に順番に印字)



登録したフォームデータをジョブ (一連の印刷処理) が終わった時点で削除するか、LBPシリーズの電源をオフにするまで削除しないかは、メニューの「トウロクレベル」で選択できます。

共通/複写ページの登録を開始すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期化されます。

共通/複写ページの登録は、「ユーザページの登録終了 [ESC] ? e」によって終了します。メモリサイズを越えるページ登録を行うと「メモリアーバー」とエラー表示され、この時点でページ登録は終了し、以降のデータは捨てられます。

## (6) 複写ページの消去

複写用紙機能の共通ページまたは複写ページ1～5に登録されているフォームデータを消去します。

**J I S** [ESC] ?? r [共通/複写ページ (1バイト)]

**16進数** 1Bh 3Fh 3Fh 72h [共通/複写ページ (1バイト)]



[共通/複写ページ (1バイト)]

フォームデータを消去するページを指定します。

値	設定内容
K	共通ページ
1～5	複写ページ1～5のいずれかのページ
A	共通ページと複写ページの全ページ

## (7) 複写用紙のオーバーレイ印字開始

複写用紙機能を使用したオーバーレイ印字を開始します。

**J I S** [ESC] ?? p [共通ページ番号 (1バイト)], <複写枚数 (1バイト)>

**16進数** 1Bh 3Fh 3Fh 70h [共通ページ番号 (1バイト)] 2Ch <複写枚数 (1バイト)>



[共通ページ番号 (1バイト)]

オーバーレイ印字するフォームのページを指定します。

値	設定内容
K	共通ページの複写用紙のフォーム
0	ユーザページ1のオーバーレイのフォーム
1	ユーザページ2のオーバーレイのフォーム

全ページにオーバーレイ印字するフォームとして、複写用紙機能の共通ページに登録したフォームのほか、ページオーバーレイ機能のユーザページ1・2のフォームが使用できます。ただし、「1」を選択した場合、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ(1～5)が設定されている場合は、そのページもオーバーレイ印字されます。

### 〈複写枚数（1バイト）〉

各ページを複写する枚数を指定します。

■範囲：1～5



共通ページのフォームは全ページに、複写ページのフォームはそれぞれのページにオーバーレイ印字されます。なお、本制御命令で複写用紙機能を開始しても、その時点では印字は行われず、通常のページを排紙するときにオーバーレイ印字が行われます。ただし、現在のページに印字データがあるときに本制御命令を受け取った場合は、複写用紙機能は次ページから有効になります。



「2.6.2 複写用紙機能」《☞ P.2-47》

## (8) 複写用紙のオーバーレイ印字終了

---

複写用紙機能を使用したオーバーレイ印字を終了します。

JIS `[ESC] ?? z`

16進数 1Bh 3Fh 3Fh 7Ah



「2.6.2 複写用紙機能」《☞ P.2-47》

## 4.3.2 文字修飾の制御命令

文字の印字に関する制御命令には、次の7種類の **[ESC]** シーケンスがあります。

### (1) 漢字の文字ピッチの指定

2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを指定します。

**J I S** **[ESC]** ? H <文字ピッチ (2バイト)>

**16進数** 1Bh 3Fh 48h <文字ピッチ (2バイト)>



<文字ピッチ (2バイト)>

漢字の文字ピッチを指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：01~60



FMモードの制御命令「漢字の文字ピッチの指定CP **[CEX]** \$」と本制御命令を共に設定した場合は、後で設定した方が優先されます。



漢字の文字ピッチの指定CP **[CEX]** \$ 《[P.4-18](#)》

## (2) 漢字の拡大／縮小指定

2バイトコード文字（漢字）の拡大または縮小を指定します。

**JIS** **[ESC]** ? E [倍率（3バイト）]

**16進数** 1Bh 3Fh 45h [倍率（3バイト）]



[倍率（3バイト）]

文字の縦方向および横方向の倍率を指定します。

値	設定内容	
000	横1倍×縦1倍	漢
001	横2倍×縦1倍	漢
010	横1倍×縦2倍	漢
011	横2倍×縦2倍	漢
101	横1/2倍×縦1倍	漢
110	横1倍×縦1/2倍	漢
111	横1/2倍×縦1/2倍	漢



FMモードの制御命令「漢字の拡大指定KGM **[CEX]** ’」と本制御命令をともに指定した場合は、後で指定した制御命令が優先されます。

なお、文字ピッチは文字の拡大または縮小によって変化します。



漢字の拡大指定KGM **[CEX]** ’ 《[P.4-19](#)》

### (3) ANK文字の文字ピッチの指定

---

1バイトコード文字（ANK文字）の文字ピッチを指定します。

J I S `[ESC]` ? J <文字ピッチ (2バイト)>

16進数 1Bh 3Fh 4Ah <文字ピッチ (2バイト)>



<文字ピッチ (2バイト)>

ANK文字の文字ピッチを指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：1~60



FMモードの制御命令「改行ピッチ/ANK文字ピッチの設定SPI `[CSI]` -- `[SP]` G」と本制御命令を共に設定した場合は、後で設定した方が優先されます。

ただし、本制御命令によって使用する文字フォントは切り替わりません。



改行ピッチ/ANK文字ピッチの設定SPI `[CSI]` -- `[SP]` G 《[P.4-44](#)》

#### (4) ANK文字の拡大／縮小指定

1バイトコード文字（ANK文字）の拡大または縮小を指定します。

**JIS** **[ESC]** ? F [倍率 (3バイト)]

**16進数** 1Bh 3Fh 46h [倍率 (3バイト)]



[倍率 (3バイト)]

文字の縦方向および横方向の倍率を指定します。

値	設定内容	
000	横1倍×縦1倍	A
001	横2倍×縦1倍	△
010	横1倍×縦2倍	△
011	横2倍×縦2倍	△
101	横1/2倍×縦1倍	A
110	横1倍×縦1/2倍	△
111	横1/2倍×縦1/2倍	A



FMモードの制御命令「ANK文字の横幅拡大指定GSM **[CSI]** - - ; - - **[SP]** B」と本制御命令をともに指定した場合は、後で指定した制御命令が優先されます。

なお、文字ピッチは文字の拡大または縮小によって変化します。

また、縦倍文字の印字位置は(上端合わせ・中央合わせ・下端合わせ)は2バイトコード(漢字)文字に従います。ただし「上付き／下付き文字に対する1/2縮小の指定は無効です。



ANK文字の横幅拡大指定GSM **[CSI]** - - ; - - **[SP]** B 《 P.4-43》

## (5) 強調印字の指定／解除

強調印字の指定または解除を行います。

**JIS** **[ESC]** ? B [指定／解除 (1バイト)]

**16進数** 1Bh 3Fh 42h [指定／解除 (1バイト)]



[指定／解除 (1バイト)]

強調印字の指定または解除を指定します。

値	設定内容
0	強調印字を解除します。
1	強調印字を解除します。



文字のドットを横方向にずらして太く強調させて印字します。ドットのずらし量は次のようになります。

展開時の解像度	8ポイントの文字 Fmode 4, 7, 8のときのイメージ	10ポイント以上の文字 Fmode 1, 2, 3, 6のときのイメージ
	300dpi	1ドット
600dpi	3ドット	4ドット

本制御命令は、即時有効となります。

## (6) 上付き／下付き文字の指定

1バイトコード文字（ANK文字）および2バイトコード文字（漢字）が縦方向に縮小されている場合、上付きで印字するか、下付きで印字するかを指定します。

**JIS** **[ESC]** ? D [上付き／下付き (1バイト)]

**16進数** 1Bh 3Fh 44h [上付き／下付き (1バイト)]



[上付き／下付き (1バイト)]

上付き／下付きを指定します。

値	設定内容
0	上付きで印字します。
1	下付きで印字します。



本制御命令は、縦方向に縮小されていない文字に対しては無効になります。

## (7) 全文字印字

すべての1バイトコードの範囲から、指定されたコードの文字パターンを印字します。したがって、制御命令の部分も、制御命令としてではなく、すべて文字として印字します。

**JIS** **[ESC]** ?? a <総バイト数 (4バイト)> (文字コード)

**16進数** 1Bh 3Fh 3Fh 61h <総バイト数 (4バイト)> (文字コード)



<総バイト数 (4バイト)>

印字する文字コードの総バイト数を指定します。

■範囲：0000～9999

(文字コード)

印字する文字コードを指定します。



指定されたコード範囲に文字パターンがない場合は、スペース（20h）が印字されます。なお、本制御命令は、漢字縦印字／横印字モードのときは無効になります。

## 4.3.3 マクロ機能の制御命令

マクロ機能に関する制御命令には、次の4種類のESCシーケンスがあります。

### (1) マクロの登録

指定したマクロ番号にマクロデータを登録します。

**JIS** [ESC] ? = <マクロ番号 (3バイト)>, <バイト数 (5バイト)> (マクロデータ)

**16進数** 1Bh 3Fh 3Dh <マクロ番号 (3バイト)> 2Ch <バイト数 (5バイト)> (マクロデータ)



<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範囲 罫：000～255

<バイト数 (5バイト)>

登録するマクロデータのバイト数を指定します。

■範囲 罫：00000～65535

(マクロデータ)

指定したバイト数のマクロデータを送ります。



登録したマクロデータをジョブが終わったときに削除するか、LBPシリーズの電源をオフにするまで登録しておくかを、メニューの「トウロクレベル」で選択できます。

FMモードの制御命令「プリンタのリセット処理 [CEX] 」を受信した場合に、特定のマクロを自動実行させるスタートアップマクロを使用することもできます。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-52》

「3.2.4 印字機能グループ (3) マクロ機能を設定する」《☞ P.3-28》

## (2) マクロの実行

---

指定したマクロ番号に登録されているマクロを実行します。

**J I S** [ESC] ? [マクロ番号 (3バイト)]

**16進数** 1Bh 3Fh 5Bh <マクロ番号 (3バイト)>



<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範 囲 : 000~255



指定したマクロ番号にマクロデータが登録されていない場合、本制御命令は無視されます。



「2.6.3 マクロ機能」 《 P.2-52 》

## (3) マクロの削除

---

指定したマクロ番号に登録されているマクロデータを削除します。

**J I S** [ESC] ? ] <マクロ番号 (3バイト)>

**16進数** 1Bh 3Fh 5Dh <マクロ番号 (3バイト)>



<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範 囲 : 000~255



指定したマクロ番号にマクロデータが登録されていない場合、本制御命令は無視されます。



「2.6.3 マクロ機能」 《 P.2-52 》

## (4) マクロの追加登録

---

すでに登録されているマクロ番号のマクロデータに新しいマクロデータを追加して登録します。

**JIS** **[ESC]** ? & <マクロ番号 (3バイト)>, <バイト数 (5バイト)> (マクロデータ)

**16進数** 1Bh 3Fh 26h <マクロ番号 (3バイト)> 2Ch <バイト数 (5バイト)> (マクロデータ)



<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範囲 罫：000～255

<バイト数 (5バイト)>

新たに登録するマクロデータのバイト数を指定します。

■範囲 罫：00000～65535

(マクロデータ)

指定したバイト数のマクロデータを送ります。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-52》

マクロの登録 **[ESC]** ? = 《☞ P.4-74》

## 4.3.4 LIPSモードの制御命令

LIPSモードに関する制御命令には、次のシーケンスがあります。

### (1) LIPS-ヘキサ形式モードの開始

本制御命令を受信した後、以降のデータをヘキサ形式のデータとして処理し、LIPSの制御命令を使用できるようにします（このモードをLIPS-ヘキサ形式モードと呼びます）。

**JIS** @ @ L ?

**16進数** 40h 40h 4Ch 3Fh



ヘキサ形式とは、1バイト（8ビット）のデータを示すコード（16進数）を、上位と下位に分けて2バイトの文字形式（アスキーコード）で表します。

LIPS-ヘキサ形式モードでは、LIPSの制御命令、文字コード、および本制御命令を送ったときのエミュレーションモードの制御命令によるANK／漢字の印字モードの変更（プリンタリセット処理による変更も含む）のみ有効になります。したがって、そのほかの本エミュレーションモードの制御命令およびLIPSのバイナリ形式の制御命令は無効になります。

本制御命令を受信すると、印字データがある場合は印字して排紙後、ソフトリセット処理が行われます。さらに、LIPS-ヘキサ形式モードに移行後、パラメータリセット処理が行われます。



ヘキサ形式でデータを送る場合は、メニューのその他グループの「HEX／LIPSキノウ」で「ユウコウ」を設定してください。「ムコウ」の場合はヘキサ形式として扱われません。LIPS-ヘキサ形式モード時、次のLIPSの制御命令は無視されます。

#### ■コメント表示命令1／2

**[ESC]** P y **[ESC]** \、 **[ESC]** P O y **[ESC]** \

また、LIPS-ヘキサ中は、テキストモードではハード・リセット命令が無視され、VDMモードではソフト・リセット命令とハード・リセット命令がLIPS-ヘキサ形式モードの終了命令となります。

■ハード・リセット命令 **ESC** c

■ソフト・リセット命令 **ESC** <

LIPS-ヘキサ形式モードは、LIPSのジョブ終了命令が送られた時点で終了します。その後送られる命令などがある場合、文字コードとして印字されます。



ヘキサ形式データの設定 @ @ C ? 《☞ P.4-80》

「3.2.7 その他のグループ (3) ヘキサ形式モードを設定する」 《☞ P.3-38》

# 4

## 制御命令

## 4.3.5 そのほかの制御命令

そのほか、次の2種類の[ESC]シーケンスの制御命令があります。

### (1) 右マージンの設定

右マージンの位置を設定します。

**JIS** [ESC] ? M <文字数 (4バイト)>

**16進数** 1Bh 3Fh 4Dh <文字数 (4バイト)>



<文字数 (4バイト)>

右マージンの位置を指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：0001~3874



本制御命令で設定した右マージンの位置は、ページフォーマット (Fmode)、印字領域モード (標準/ワイド)、右マージン既定値の設定などによって変わることはありません。右マージン位置を左マージン位置または、それより左に設定すると本制御命令は無視されます。

## (2) ヘキサ形式データの設定

本制御命令以降に送られる指定バイト数のデータを、ヘキサ形式のデータとして取り扱います。

**JIS** @ @ C ? <バイト数 (4バイト)> (ヘキサデータ)

**16進数** 40h 40h 43h 3Fh <バイト数 (4バイト)> (ヘキサデータ)



### <バイト数 (4バイト)>

ヘキサ形式データの総バイト数を指定します。

■ 範囲 : 0001~9999

ただし、バイト数は、ヘキサ形式のデータに変換する前のバイナリ形式のデータで計算します (ヘキサ形式のデータはこの値の2倍になります)。



ヘキサ形式データの中に、正しい数値にならない値がある場合、その1バイトは無視されます。

また、本制御命令の制御コードの間に、ほかの制御命令と認識できるコードがあっても、本制御命令の記述内容が正しければ、その制御命令を無視してヘキサ形式モードが設定されます。ただし、本制御命令の記述が間違っている場合は、その制御命令が有効になり、制御命令以外のコードは印字データとして扱われます。

ヘキサ形式データの中に「CR (0Dh)」等他の制御命令と認識できるコードが存在した場合に、そのコード以前のヘキサ形式データを確定したものととして処理します。

また、「@」コード以降512バイト受信しても本制御命令が確定されていない場合は、次の1バイト (513バイト目) を受信した時点で、1バイト目が確定したものととして処理します。



ヘキサ形式でデータを送る場合は、メニューのその他グループの「HEX/LIPSキノウ」で「ユウコウ」を設定してください。「ムコウ」の場合はヘキサ形式として扱われません。



ヘキサ形式 → 「3.2.7 その他のグループ (3) ヘキサ形式モードを設定する」

《 P.3-38》

# 付 録

F359エミュレーションモードの注意事項、初期の設定状態、文字セット、サンプルプリントなどを掲載します。必要に応じてご覧ください。

## 付録1. F359モードの注意と制限

F359エミュレーションモードでは、エミュレートするFMPR-359と次のような違いがあります。ご使用にあたり、それぞれの注意と制限事項をよくお読みください。

### (1) 解像度の違いについて

#### ドットイメージの印字

イメージデータの印字は、LBPシリーズとFMPR-359との解像度の違いによって、データを拡大して印字します。これによって、FMPR-359の1ドット（180dpi）がLBPシリーズの解像度600dpiの複数のドットに拡大されるため、印字結果が若干異なることがあります。

特に、水平方向と垂直方向の縮小率が異なるページフォーマットでは、横長のイメージになります。

#### 垂直方向の移動とイメージデータ

FMPR-359のF9450モードでは、イメージの展開の縦方向の解像度が180dpi（1インチあたり180ドット）であるのに対して、改行ピッチは1/120インチ単位になります。このため、ページフォーマットによっては拡大率の関係からドット幅のずれが生じることがあります。

#### 文字の印字

文字はフォントデザインの違いにより、印字結果がFMPR-359とは異なります。

## 水平方向・垂直方向の印字間隔

ページフォーマットFmode 3の水平・垂直方向およびFmode 6の垂直方向は半端な拡大率であるため、場所によって間隔が1ドットずれることがあります。

## 水平方向・垂直方向の縮小率

ページフォーマットFmode 6では、水平方向と垂直方向の縮小率が異なります。このため、イメージデータで描いた円などは横長になります。

## 右マージン

本エミュレーションモードでは、印字データが1ドット未満でも右マージン位置を越えた場合、次の行に印字します。

## (2) 文字セット・フォントパターンについて

### 2バイトコードの未定義領域

2バイトコード（漢字コード）の中で、FMPR-359では未定義の領域にLBPシリーズ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字させると、FMPR-359ではスペースになりますが、本エミュレーションモードでは特定の文字パターンが印字されます。

### 漢字サイズ

標準サイズ以外の漢字を指定した場合、TOF行での印字結果は保証されません。また、現在印字位置は、現在の文字ピッチを基準として移動するため、標準サイズより大きい文字を指定すると文字が重なる場合があります。なお、アンダーラインは、移動量に対して引かれるため、文字幅より短くなる場合があります。

### 文字罫線の接続

上方向の垂直移動、およびカットシートフィーダ制御による改ページ（吸入／排紙を含む）では、罫線の垂直補間は行われません。

また、垂直方向の補間量は、つねに垂直方向の移動量分が補間されます。ただし、垂直移動によって排紙される場合は、ボトム位置までが補間されます。

垂直方向の補間は、標準で204力所までの罫線コードに対して行われ、縦倍指定時は、それを超えて補間が行われます。

罫線コードの範囲は、次のとおりです。

- 1バイト半角8F～93, 95, 96, 98～9B
- 2バイト半角2F2F～2F33, 2F35, 2F36, 2F38～2F3B
- 2バイト全角222F～2239
- 2バイト全角2821～2840（JIS83指定時のみ）

### (3) そのほかの制限

#### 領域モード

領域モードが無効なページフォーマット（Fmode 1, 2, 7, 8）のときでも領域モードの設定を変更できます。この場合、ページフォーマットがFmode 3, 4, 6に切り替わったときに設定が有効になります。ただし、どのページフォーマットのときでも、領域モードの設定を変更した時点で印字パラメータのリセット処理が行われます。

#### 用紙の向き

A4サイズおよびB5サイズの用紙は、共通のメニューで設定した用紙の向きによって用紙の送り方向が決まりますが、2ページ印刷およびページ登録中は用紙の送り方向は次のようになります。

- ・2ページ印刷ではA4、B5サイズのデータがA3、B4サイズに印刷されるため、つねに横方向送りでページが作成されます。
- ・ページ登録中は、2ページ印刷に関わらず用紙の向きの設定にしたがって登録ページを作成します。ただし、LIPSの制御命令によるページ登録時は、2ページ印刷が指定されていると用紙の向きの設定に関わらず横方向送りで登録ページが作成されるため、縦方向送りで登録する場合はLIPS側で2ページ印刷の設定を解除する必要があります。

#### 複数のエミュレーション利用時のLIPSの制御命令によるページ登録

登録ページは各エミュレーションモードで共通なため、同一ページ番号に別々の登録を行うことができません。したがって、メニューの「トウロクレベル」を「エイキュウ」に設定してページ登録を行っても、他のモードに切り替えて同一のページに登録を行って、再度F359エミュレーションモードに戻った場合は元の登録内容が失われています。その場合の登録ページの内容は、移行したモードの登録レベルが「エイキュウ」の場合はそのモードの登録内容がそのまま残り、「イチジ」の場合は消去されています。

## カラープリンタでのLIPSの制御命令によるページ登録

カラー機能を持つプリンタでLIPSの制御命令によるページ登録を行う場合、共通メニューの「セットアップ」の「インジチョウセイ」にある「カラーモード」の設定によって次のようになります。

### ■「モノクロ」

モノクロで登録したフォームをエミュレーションモードのモノクロオーバーレイフォームとして使用できます。

### ■「カラー」

メニューの「LIPSフォーム」で「LIPS4」を設定し、カラーで登録したフォームをエミュレーションモードのカラーオーバーレイフォームとして使用できます。

### ■「ジドウ」

モノクロで登録したフォームをエミュレーションモードのモノクロオーバーレイフォームとして使用できます。

## メモリアーバー

文字の登録、マクロの登録、オーバーレイ印字のユーザページ、システムページ、複写用紙機能の共通ページ／複写ページの登録を行っているときにメモリが不足すると、『23ダウンロードメモリアル』と表示されます。

この場合、エラースキップの操作を行うと、次のような動作を行います。

### ■ユーザページ・共通ページ・複写ページ登録時

メモリアルになるまでのデータは登録され、以降の登録終了までのデータを読み飛ばします。

### ■システムページのページ番号指定時

システムページを展開するメモリが不足です。この場合、メモリアルになるまでのデータが展開され、以降のデータを読み飛ばします。

### ■文字の登録・マクロ登録時

登録を終了し、以降の登録終了までのデータを読み飛ばします。  
登録中の文字データまたはマクロデータは削除されます。

## 白紙ページの排紙

本エミュレーションモードでは、ページ内に次の印字データがないと排紙を行いません。

- イメージデータ
- アンダーライン
- ユーザが登録した文字のコードをプリンタに送り、印字開始命令を送らずに操作パネルで排紙操作を行った場合

ただし、次の場合は白紙を排紙します。

- 「ヨウシイチビチョウセイ」、「ウエヨハク」の設定によって、上記を含む印字データが印字範囲を越えた場合
- 共通プリント環境の「タテホセイ」・「ヨコホセイ」の設定によって、上記を含む印字データが印字範囲を越えた場合

## 付録2. 初期状態

F359エミュレーションモードでは、8種類のリセット処理があります。

リセット処理が行われると、印字環境などの各種の設定は、メニューの設定に初期化されます。

### ■電源オン

LBPシリーズの電源をオンにしたときに行われるリセット処理です。

すべての印字パラメータおよび登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）が初期化されます。

### ■ハードリセット処理

操作パネルのキー操作でハードリセット処理を行います。

このリセット処理では、電源オンのときと同等の処理が行います。

すべての印字パラメータおよび登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）が初期化されます。

### ■ソフトリセット処理

操作パネルのキー操作でソフトリセット処理を行います。すべての印字パラメータが初期化されます。

登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「トウロクレベル」が「イチジ」に設定されている場合のみ初期化されます。

## ■インプットプライム信号受信によるリセット処理（1）

セットアップメニューの共通プリント環境にある「インプットプライム」が「リセット」\*に設定されている場合に、インプットプライム信号を受信し、リセット処理が行われます。

現在作成中のページおよび受信データを破棄し、すべての印字パラメータが初期化されます。登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「トウロクレベル」が「イチジ」に設定されている場合のみ初期化されます。

\*：セットアップメニューの「カクチョウキノウ」→「インタフェース」→「セントロニクスセッテイ」→「インプットプライム」で設定できます。

## ■ジョブ終了時のソフトリセット処理

一連の印刷処理（ジョブ）が終了した時点でリセット処理が行われます。

次のようなとき、ジョブが終了したとみなされます。

- 排紙操作を行ったとき
- ジョブタイムアウトになったとき\*
- LIPSモードに切り替わる制御命令を受信したとき

現在作成中のページを排紙し、一部の印字パラメータが初期化されます。登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「トウロクレベル」が「イチジ」に設定されている場合のみ初期化されます。なお、LIPSの制御命令によるユーザページの登録に切り替わる場合は、「トウロクレベル」の設定に関わらずユーザページのフォーム登録文字は保持されます。

\*：「タイムアウト」の設定で自動ジョブ終了時間を設定している場合、ジョブ終了命令を受信しなくても一定時間が過ぎるとジョブが終了します。

## ■インプットプライム信号受信によるリセット処理 (2)

セットアップメニューの共通プリント環境にある「インプットプライム」が「トランスレータイズン」\*に設定されている場合に、インプットプライム信号を受信し、リセット処理が行われます。

現在作成中のページを排紙し、一部の印字パラメータが初期化されます。

\* : セットアップメニューの「カクチョウキノウ」→「インタフェース」→「セントロニクスセッテイ」→「インプットプライム」で設定できます。

## ■FMPR-359のリセット命令によるソフトリセット処理

FMPR-359の制御命令「プリンタのリセット処理 [CEX] 」を受信し、リセット処理が行われます。

一部の印字パラメータが初期化されます。

## ■LBPシリーズ専用命令によるパラメータリセット処理

LBPシリーズ専用命令を実行すると、リセット処理が行われます。

一部の印字パラメータが初期化されます。

## ■リセット処理とメニューの設定値

設定項目		電源オン ハードリセット ソフトリセット インプット プライム1	ジョブ終了	インプット プライム2	F359 制御命令	LBPシリーズ 専用命令
ページレイアウト	ページフォーマット	メニューの設定値 *1			保	持
	上余白					
	用紙位置微調整					
	領域					
	右マージン既定値					
	用紙サイズ					
	2ページ印刷設定					
行桁固定	行固定機能					
	桁固定機能					
	行数					
	桁数					
	漢字ピッチ					
フォント	漢字書体					
	フォントID					
	OCR文字					
	漢字サイズ					
印字機能	イメージの補正					
	システムオーバーレイ					
	スタートアップマクロ					
	ユーザオーバーレイ1					
	ユーザオーバーレイ2					
印字動作	自動排紙					
	HEXモード後の[LF]					
	右マージン動作					

設定項目		電源オン ハードリセット ソフトリセット インププライム1	ジョブ終了	インプット プライム2	F359 制御命令	LBPシリーズ 専用命令		
VFC	帳票ページ長	メニューの設定値		保持		保持		
	ミシン目スキップ			保持				
その他	コマンドモード		*1	メニューの設定値			保持	
	登録レベル							
	HEX/LIPS機能		保持					
	LIPSフォーム							

\*1：排紙操作によりジョブが終了した後、メニュー項目の変更操作を行わずにジョブを開始した場合は、ジョブ終了時の状態が保持されます。また、メニュー項目の変更操作を行わないジョブを開始した場合は、コマンドモードはメニューの設定値になり、ANK-漢字指定はANKとなります。

## ■FMモードの制御命令による設定内容のリセット処理

設定項目	電源オン ハードリセット ソフトリセット インプット プライム1	ジョブ終了	インプット プライム2	F359 制御命令	LBPシリーズ 専用命令	
FM モード	ページ長	設定・用紙などに依存 *1				
	水平タブ位置	解除				
	垂直タブ位置	解除				
	左マージン位置 (左端1、左端2を含む)	1ドット目				
	右マージン位置	設定・用紙などに依存 *2				
	ミシン目スキップ行	ページフォーマットと領域に依存 *3				
	改行ピッチ	1/6インチ				
	ANK文字ピッチ	1/10インチ				
	ANK文字の拡大指定	標準				
	ANK文字のアンダーライン	解除				
	ANK文字の書体	ドラフト				
	上付き/下付き文字	解除				
	1バイト半角指定	解除				
	縦書き半角文字の指定	2文字構成				
	プロポーションアルモード	解除				
	プロポーションアルスペース	1/10インチ				
	ANK/漢字モード	ANK *6				保持
	漢字の文字ピッチ	27/180インチ				
	漢字縦書き/横書きモード	横書き				
	漢字縦書き時の印字方式	物理的に90度回転				
	漢字のアンダーライン	解除				
	漢字の拡大指定	標準				
	漢字縦倍時の印字位置	上端合わせ				
	漢字未定義コードの印字	■印字				
	罫線接続の指定	接続しない				
	用紙吸入量	カット紙吸入				
セレクト/ディセレクト	備考 *4	ディセレクト	セレクト	備考 *5	備考 *5	

\*1:「ページ長の初期状態」を参照。《 P.app.15》

\*2:「右マージンの初期状態」を参照。《 P.app.15》

\*3: Fmode 3, 4, 6 (標準/ワイド)、および Fmode 7, 8 (ワイド) 時のみメニューの設定に従います。

\*4: 操作パネルでのリセット処理はディセレクト状態で実行されます。電源オン時は自動的にセレクト状態へ移行します。

\*5: ディセレクト状態では受信しません。

\*6: app.10の\*1を参照

## ■リセット処理とLBPシリーズ専用命令の設定値

設定項目	電源オン ハードリセット ソフトリセット インプット タイムアウト	ジョブ終了	インプット ブライム2	F359 制御命令	LBPシリーズ 専用命令
LBP 専用 命令 シ リ ー ズ	漢字の文字ピッチ	3/20インチ			
	ANK文字サイズ	ページフォーマットに依存			
	右マージン位置	ページフォーマット、印字領域モード、用紙サイズに依存*1			
	ヘキサ形式モード	解除		保持	解除

\*1：詳細は「右マージンの初期状態」を参照。《 P.app.15》

## ■リセット処理と受信データ・登録データ

設定項目	電源オン	ハードセット	インプットタイム リフリセット	ジョブ終了	F359制御命令 LBPシリーズ 専用命令 インプット タイムアウト
受 信 デ ー タ ・ 登 録 デ ー タ	文字の登録(2バイトコード)	クリア	クリア/保持*1	保持	
	文字の登録(1バイトコード)	クリア	クリア/保持*1	保持	
	ユーザページの登録	クリア	クリア/保持*1	保持	
	複写ページの登録	クリア	クリア/保持*1	保持	
	マクロ登録	クリア	クリア/保持*1	保持	
	ページバッファ	クリア		印字*2	印字*3
	行メモリ内の未印字データ	クリア		クリア*4	
	現在印字位置	再左端相当位置			

\*1：メニューの「トウロクレベル」が「エイキュウ」なら保持し、「イチジ」ならクリアされます。《 P.3-37》

ただし、LIPSの制御命令（ページ登録開始やLIPS-ヘキサ形式モードの開始）による一時的なジョブ終了時は「トウロクレベル」にかかわらず保持されます。

\*2：ジョブ終了までのデータを実行し、ページバッファを印字して排紙します。

\*3：FMモードおよびLBPシリーズ専用の制御命令によるリセットを受信した時点で、それまでに受信したデータを印字し、排紙します。受信バッファ内の残りのデータはリセット後に実行されます。

\*4：LBPシリーズ専用命令のときだけ、印字されます。

## ■F359エミュレーションモードのメニューの初期状態

グループ	設定項目	工場出荷時の設定状態
ページレイアウト	ページフォーマット	ジッスタテ
	上余白	+000
	用紙位置微調整	+000
	領域	ヒョウジュン
	右マージン既定値	136ケタ
	用紙サイズ	カレントヨウシ
	2ページ印刷設定	シナイ
行桁固定	行固定機能	ムコウ
	桁固定機能	ムコウ
	行数	66ギョウ
	桁数	136ケタ
	漢字ピッチ	2/1
フォント	漢字書体	ミンチョウ
	フォントID	002
	OCR文字	シヨウセズ
	漢字サイズ	システム
印字機能	イメージの補正	シナイ
	システムオーバーレイ	オフ
	スタートアップマクロ	0
	ユーザオーバーレイ1	オフ
	ユーザオーバーレイ2	オフ
印字動作	自動排紙	オフ
	HEXモード後の <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">LF</span>	ムシスル
	右マージン動作	フッキ/カイギョウ

グループ	設定項目	工場出荷時の設定状態
VFC	帳票ページ長	システム
	ミシン目スキップ	0ギョウ
その他	コマンドモード	FM
	登録レベル	イチジ
	HEX/LIPS機能	ムコウ
	LIPSフォーム	LIPS2

## ■ページ長の初期状態

リセット処理が行われたときのページ長の初期値は、ページフォーマット、領域モード、帳票ページ長の設定によって次のようになります。

ページフォーマット	領域	帳票 ページ長	ページ長					
			A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1 Fmode 2	—	—	66行 (6lpi)					
Fmode 3 Fmode 4	標 準	システム 1~199	66行 (6lpi) メニューの設定値			用紙サイズに依存		
	ワイド	—						
Fmode 6	標 準	システム 1~199	66行 (6lpi) メニューの設定値			用紙サイズに依存		
	ワイド	システム						
Fmode 7 Fmode 8	標 準	—	用紙サイズに依存					
	ワイド							

## ■右マージンの初期状態

リセット処理が行われたときの右マージン位置の初期値は、ページフォーマット、領域モード、および右マージン位置の設定(ミギマージンキテイチ)によって次のようになります。

ページフォーマット	領域	右マージン 既定値	右マージン位置					
			A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1 Fmode 2	—	136桁	136桁目					
		用紙右端	用紙サイズに依存					
Fmode 3 Fmode 4	標 準	—	136桁目					
	ワイド	—	用紙サイズに依存					
Fmode 6	標 準	—	136桁目					
	ワイド	—	用紙サイズに依存					
Fmode 7 Fmode 8	標 準	—	136桁目					
	ワイド	—	用紙サイズに依存					

# 付録3. F359ステータスプリント

F359 ステータス プリント

[FMモード] R1.00

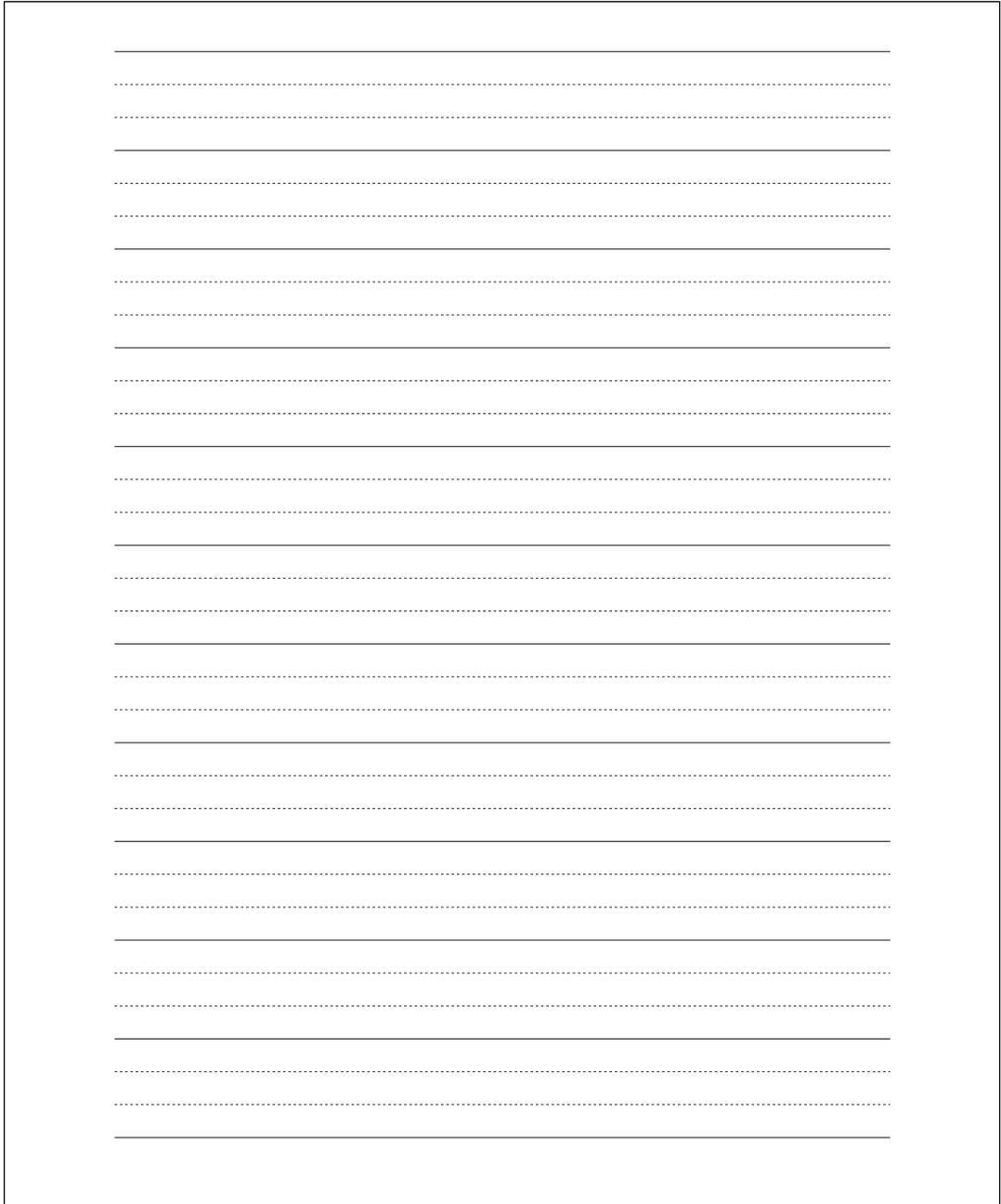
メニュー項目		登録状態
項	目	
ページ レイ アウト	ページフォーマット	実寸設置
	上余白	0
	用紙位置微調整	0
	領域	標準
	右マージン既定値	136桁
プリント	用紙サイズ	カレント用紙
	2ページ印刷指定	使用しない
桁 間 定	行固定の選択	無効
	桁固定の選択	無効
	固定行数	66
	固定桁数	136
フ ォ ン ト	漢字書体の選択	明朝
	フォントID	使用しない
	OCRフォントの選択	使用せず
	漢字サイズ	システム設定
印 字 機 能	イメージの補正	しない
	システムオーバーレイ	オフ
	スタートアップマクロ番号指示	0
	ユーザオーバーレイ1	オフ
印 字 動 作	ユーザオーバーレイ2	オフ
	タイマー排紙	オフ
V F C	HEXモード後の改行	LF無視する
	用紙長設定	システムで設定
そ の 他	ミシン目スキップ	0行
	コマンドモード	FMモード
	登録レベル	一時登録
	HEX/LIPS機能	無効
	LIPSフォーム	LIPS2

001

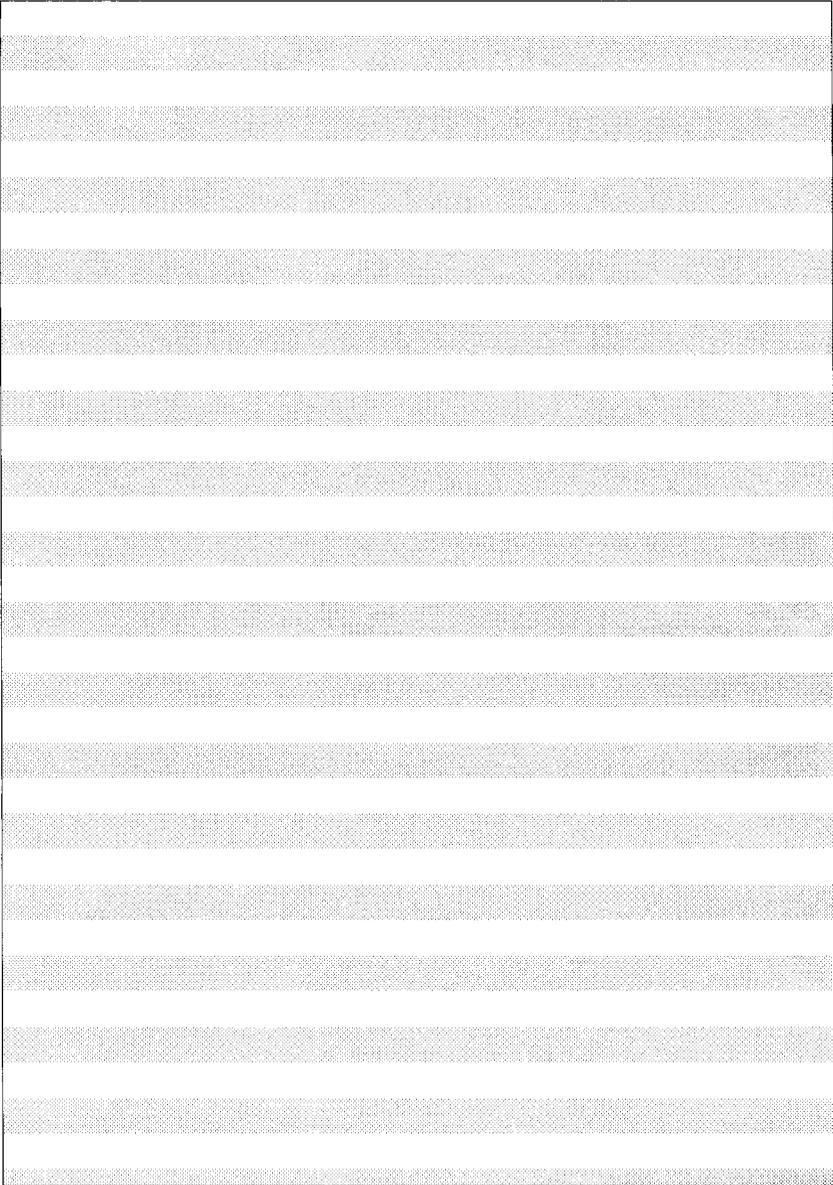
R1.00/TYSH044/05.36

## 付録4. 内蔵フォームの印字サンプル

(1) ページ1

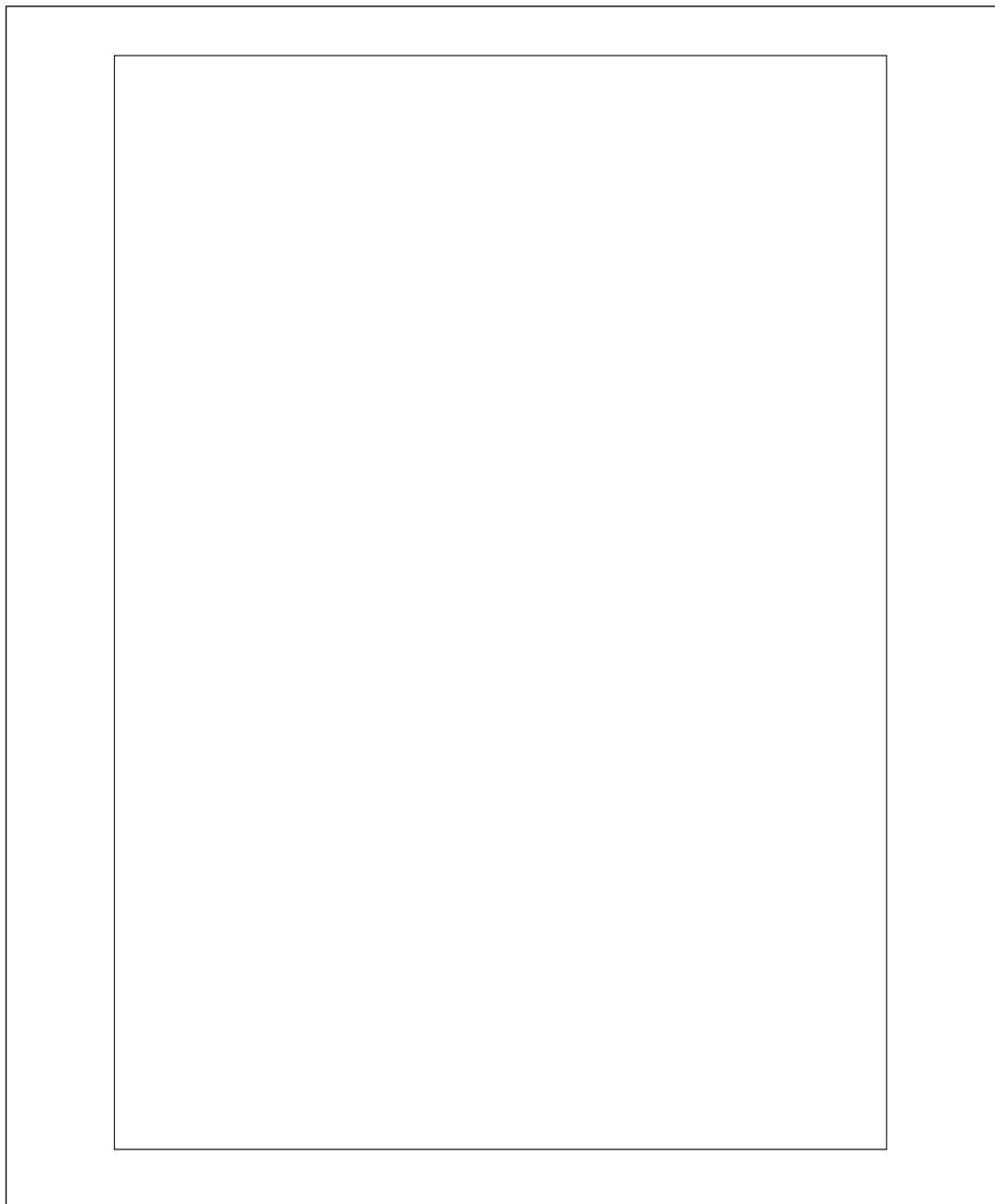


(2) ページ 2



付録

(3) ページ 3

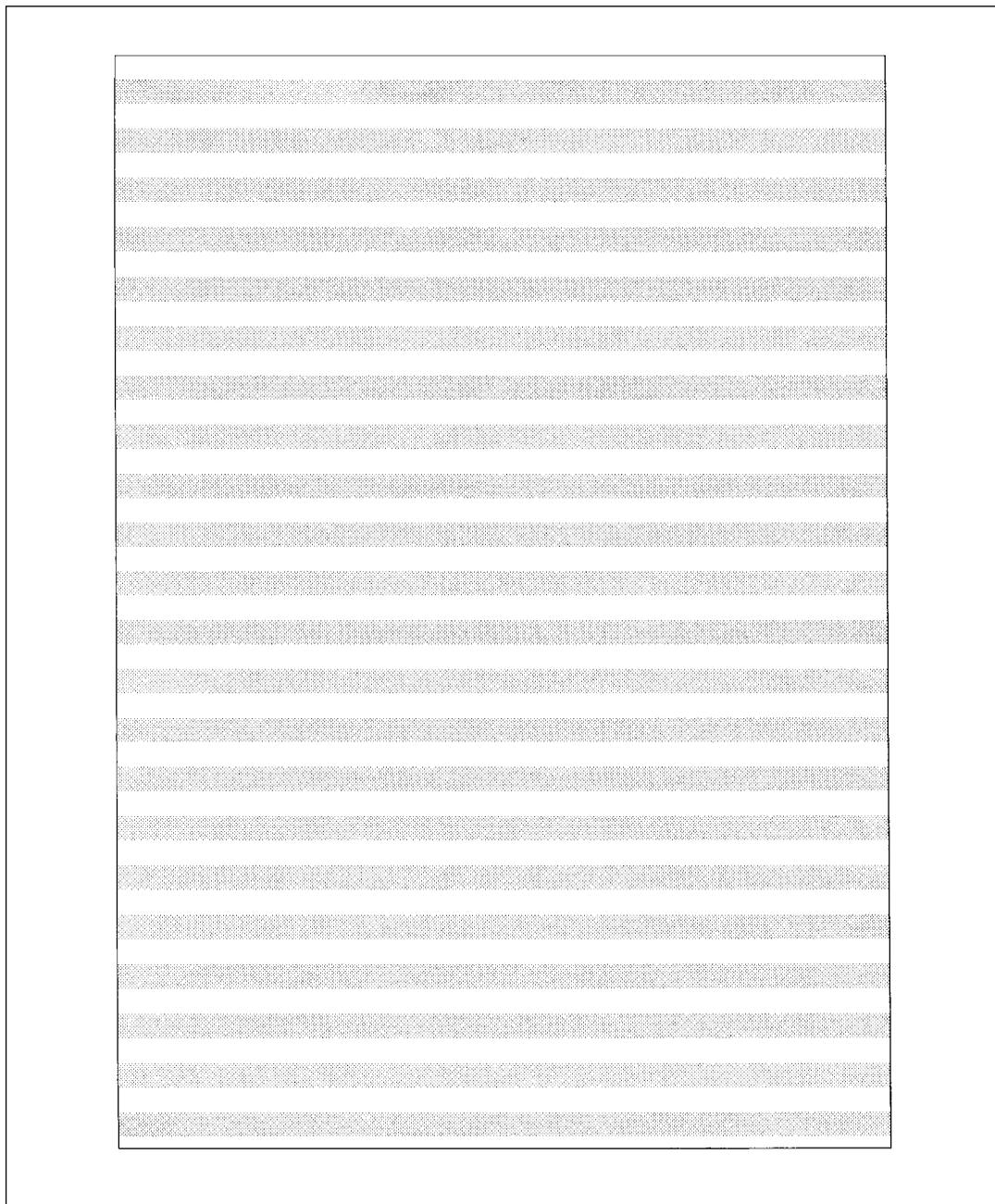


付録

(4) ページ 4

The image shows a large rectangular frame containing a series of horizontal lines for writing. Each line is composed of a solid top line, a dotted midline, and a solid bottom line, mimicking the layout of a notebook page. There are 15 such sets of lines stacked vertically within the frame.

(5) ページ 5



付録

## 付録5. コード表

### (1) 1バイトコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	p	┌	┐	一	タ	ミ	二	×			
1		!	1	A	Q	a	q	┌	┐	。	ア	チ	ム	卍	円	
2		"	2	B	R	b	r	┌	┐	「	イ	ツ	メ	卍	年	
3		#	3	C	S	c	s	┌	┐	」	ウ	テ	モ	ヨ	月	
4		\$	4	D	T	d	t	┌	┐	、	エ	ト	ヤ	▲	日	
5		%	5	E	U	e	u	┌	┐	一	・	オ	ナ	ユ	▲	時
6		&	6	F	V	f	v	┌	┐	ヲ	カ	ニ	ヨ	▼	分	
7		'	7	G	W	g	w	┌	┐	丨	ア	キ	ヌ	ラ	▼	秒
8		(	8	H	X	h	x	┌	┐	「	イ	ク	ネ	リ	♠	テ
9		)	9	I	Y	i	y	┌	┐	」	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A		*	:	J	Z	j	z	┌	┐	レ	エ	コ	ハ	レ	◆	区
B		+	;	K	[	k	{	┌	┐	」	オ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C		,	<	L	¥	l		┌	┐	「	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D		-	=	M	]	m	}	┌	┐	」	ユ	ス	ヘ	ン	○	人
E		.	>	N	^	n	~	┌	┐	「	ヨ	セ	ホ	°	／	■
F		/	?	O	_	o	+	┌	┐	」	ッ	ソ	マ	°	／	■

## (2) FMモードの2バイトコード表

### ■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
21	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
22	◆	□	■	△	▲	▽	※	〒	→	←	↑	↓	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	＝	
23	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1/2	1/3	1/4	2/3	3/4	
24	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	じ	ず	せ	そ	た														
25	ア	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	キ	ク	ケ	ケ	コ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	タ					
26	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
27	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
29	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2A	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2B	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2C	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2D	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	.	-	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	
2E	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ										
2F	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ										

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
21	~			...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
22	U	∩							Λ	V	→	⇒	⇐	⇓	∇	∃																
23	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
24	だ	ち	ち	つ	つ	つ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	ほ	ば	ば	び	び	び	ぶ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ぼ	ぼ	ま	み	
25	ダ	チ	チ	ツ	ツ	ツ	テ	テ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	バ	ビ	ビ	ビ	ブ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ベ	ボ	ボ	マ	ミ	
26	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω								
27	Ю	Я	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
29	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2A	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2B	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2C	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2D	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]		
2E	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン			
2F	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ											

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
21	÷	＝	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	●	○	◇	
22	∇	≡	≠	<	>	∞	∞	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	A	%	#	♭	♯	♯	♯								
23	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
24	む	め	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	ゑ	を	ん	う	か	け									
25	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ウ	カ	ケ									
26	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)	(l)	(m)	(n)	(o)	(p)	(q)	(r)	(s)	(t)	(u)	(v)	(w)	(x)	(y)	(z)					
27	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	’	”	
28	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
29	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2A	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2B	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2C	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2D	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	(	)			
2E	＝	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠
2F	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ										

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
30	虫	啞	娃	阿	哀	挨	始	逢	葵	莠	穉	惡	握	渥	旭	葦	鱒	梓	庄	幹	拔	宛	矩	虻	餉	絢	綉	綉	綉	或
31	院	陰	隱	韻	時	右	宇	鳥	羽	迂	雨	卯	鵲	窺	丑	確	白	渦	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔
32	押	旺	橫	歐	殿	王	翁	襖	鶯	黃	岡	沖	狄	屋	憶	臆	桶	杜	乙	俺	卸	恩	溫	穩	音	下	化	反	何	
33	魁	晦	械	海	灰	界	冠	給	芥	蟹	開	階	貝	劾	外	咳	害	慨	概	滄	得	蓋	街	該	鐳	相	相	相	相	
34	粥	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勸	勸	勸	喚	堪	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	柑	柑	柑	柑	
35	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	伎	擬	擬	擬	擬	擬	
36	供	俠	僑	兇	競	研	凶	協	匡	卿	香	峽	強	法	恐	軍	郡	卦	袈	教	橋	況	幻	狹	矯	胸	脅	膏	鄉	
37	擱	窟	香	靴	轡	窪	熊	限	桑	練	桑	歛	勳	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	教	橋	況	幻	狹	矯	胸	脅	膏	
38	檢	權	牽	犬	獻	硯	硯	網	罍	肩	見	謙	軒	遣	鍵	陔	顯	驗	元	原	嚴	幻	茲	減	玄	現	絃	絃	絃	
39	后	喉	坑	垢	孔	孝	宏	工	巷	幸	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	兇	更	杭	梗	構	江	洪	洪	洪	
3A	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	棍	混	紺	良	魂	些	左	叉	峻	嵯	左	差	查	沙	砂	詐	鎖	
3B	察	摻	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	辨	剔	鏑	血	晒	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	榘	產	算	蠶	窠	讚	贊	
3C	次	滋	治	爾	雍	痺	磁	秀	而	耳	自	時	辭	夕	式	讖	鳴	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	
3D	宗	就	州	修	愁	捨	習	秀	吳	耳	自	時	辭	夕	式	讖	鳴	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	
3E	勝	匠	升	召	哨	啣	唱	嘗	獎	妾	婿	宵	將	小	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	摺	摺	摺	摺	摺	摺	摺	
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	食	蝕	辱	尻	仲	信	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晉	森	浸	申	珍	真	真	

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
30	粟	裕	安	庵	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	依	困	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	異	異	雞	緯	胃	
31	雲	涯	餌	加	可	嘉	夏	映	曳	永	泳	洩	瑛	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	益	葢	馱	悅	謁	越	閱	櫻	暈	胃	
32	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽
33	汗	漢	潤	灌	環	監	看	罕	管	緩	岳	翰	肝	艦	莞	覲	諫	貢	還	鑑	閭	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	閑	
34	祇	義	蟻	誼	議	鞠	鞠	鞠	吉	喫	桔	橘	詰	詰	砵	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	茵	急	救	
35	鏡	響	徑	慮	仰	凝	曉	揭	局	曲	景	玉	桐	秆	僅	均	錦	斤	欣	欣	琴	指	禽	筋	筋	芹	菌	衿	襪	襪	
36	契	形	徑	慮	仰	凝	曉	揭	局	曲	景	玉	桐	秆	僅	均	錦	斤	欣	欣	琴	指	禽	筋	筋	芹	菌	衿	襪	襪	
37	契	形	徑	慮	仰	凝	曉	揭	局	曲	景	玉	桐	秆	僅	均	錦	斤	欣	欣	琴	指	禽	筋	筋	芹	菌	衿	襪	襪	
38	言	諺	限	乎	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戶	故	枯	湖	孤	糊	袴	股	胡	蔬	誇	跨	跨	跨	跨	跨	跨	跨	
39	浩	港	溝	甲	硬	稿	糠	紅	絞	綱	耕	考	胫	腔	膏	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	
3A	裝	坐	斬	挫	催	再	最	戩	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟	采	犀	碎	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	
3B	酸	餐	斬	暫	殘	任	仔	伺	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	嗣	
3C	疾	質	夷	薛	德	傑	柴	芝	屢	綉	舍	寫	射	捨	斜	煮	社	紗	者	謝	車	志	恩	蛇	邪	借	勺	尺	杵	灼	
3D	柔	汗	洪	獸	統	重	銃	叔	夙	宿	祝	縮	爾	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	舜	駿	准	循	旬	楮	殉	淳	
3E	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	省	硝	確	祥	章	笑	粧	肖	高	蔣	薰	衛	衞	衞	衞	衞	衞	衞	衞	衞	衞	
3F	神	秦	紳	臣	志	薪	親	診	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	甚	甚	甚	甚	甚	甚	甚	甚	甚	甚	甚	甚	甚	

60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
30	委	衣	謂	違	遺	井	亥	域	育	郁	磯	一	老	溢	稻	茨	芋	鱗	允	印	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	咽	
31	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	緣	艷	苑	遠	鉛	鴛	墟	於	怪	悔	恢	懷	懷	拐	改	改	
32	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壞	快	怪	悔	恢	懷	懷	拐	改	改	
33	樞	欸	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	
34	巖	玩	癌	眼	岩	鬻	贖	顏	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	畸	畸	畸	畸	畸	畸	畸	畸	畸	畸	畸	畸	畸	畸	
35	球	求	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	
36	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	凶	狗	玖	矩	苦	驅	駟	駟	具	愚	噴	空	偶	寓	遇	隅	申	榔	榔	榔	榔	榔	
37	劇	戟	擊	激	際	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	俊	倦	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼
38	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	瑚	暮	語	誤	護	餓	乞	鯉	交	侯	候	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	
39	項	香	高	鴻	剛	劫	弓	合	壕	壕	豪	轟	翹	克	告	國	殺	酷	鷓	黑	獄	灑	腰	甌	忽	忽	忽	忽	忽	忽	
3A	材	罪	財	牙	坂	阪	禪	肴	吟	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	
3B	死	氏	獅	社	私	系	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	誌	諮	資	賜	雌	飼	蘭	事	侍	兒	字	慈	慈	慈	慈	慈	
3C	酌	釈	錫	若	寂	惹	主	取	手	守	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	殊	
3D	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤
3E	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘
3F	運	吹	垂	前	推	水	炊	睡	粹	哀	遂	醉	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	錘	

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
40	澄	播	寸	世	瀨	是	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	整	星	晴	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	聲	製	西	誠		
41	織	羨	腺	舛	船	齋	是	賤	踐	選	錢	銳	閃	鮮	善	漸	然	全	禪	繡	騰	輿	隆	聖	措	曾	楚				
42	臧	藏	造	促	則	即	息	東	測	足	速	屬	單	誰	單	噴	担	探	巨	歎	掄	存	孫	尊	損	冠	遜	他			
43	叩	但	達	辰	翁	託	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇		
44	帖	帳	庁	弔	張	彰	徵	懲	挑	朝	潮	燦	眺	聽	脹	腸	蝶	調	課	超	跳	跳	長	頂	鳥	勸	拂	直			
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	擢	敵	滴	笛	適	鎬	溺	徹	撤	輒	迭	鐵	典	填	天	童	展	店	添	纏	甜	帖	軫			
46	董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	陶	頭	騰	鬪	勳	動	同	堂	撞	洞	瞳	童	洞	童	洞	童	洞	童	洞			
47	如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	襦	寧	葱	貓	熱	年	捻	燃	粘	乃	迺	之	壘	囊	惱	能	能	能	能	能			
48	函	箱	裕	審	宦	管	櫛	幡	肌	畑	冨	八	鉢	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩			
49	鼻	柁	稗	匹	足	髒	彥	膝	菱	疝	疝	必	畢	筆	逼	檜	姪	媿	紐	百	謬	佞	彪	標	漂	瓢	票	評			
4A	福	腹	覆	覆	弗	弘	沸	仏	鮒	分	吻	噴	墳	扮	焚	奮	亡	傍	剖	妨	妨	帽	忘	忙	房	弊	弊	平			
4B	法	泡	烹	砲	飽	巴	芳	萌	蓬	蜂	衰	訪	專	邦	鋒	飽	鳳	鵬	亡	傍	剖	妨	妨	帽	忘	忙	房	弊			
4C	漫	蔓	味	未	魅	貝	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷	呷		
4D	論	輸	唯	佑	優	友	宥	幽	悠	掛	柚	湧	猶	飲	祐	裕	誘	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺		
4E	痢	裏	裡	里	離	律	率	立	律	掠	略	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜	溜		
4F	連	連	鍊	呂	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯		

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	
40	警	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	腕	席	惜	戚	斥	折	石	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	籍	
41	狙	疏	疎	礎	祖	粗	素	組	訴	阻	邇	鼠	邇	對	耐	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	喪	
42	太	汰	訖	唾	妥	打	托	陀	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	
43	胆	蛋	誕	鍛	壇	壇	彈	斷	暖	檀	段	談	值	知	弛	恥	智	痴	稚	致	致	致	致	致	致	致	致	致	致	致	致	致	
44	沈	珍	賃	鎮	陳	津	蔭	推	髓	道	痛	通	塚	梅	規	佃	漬	渣	汙	鴛	鏽	鏽	鏽	鏽	鏽	鏽	鏽	鏽	鏽	鏽	鏽	鏽	
45	点	伝	殿	特	電	雷	寬	窻	吐	堵	塗	屠	徒	斗	渡	登	葛	苦	西	瀨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	
46	得	德	燬	特	電	雷	寬	窻	吐	堵	塗	屠	徒	斗	渡	登	葛	苦	西	瀨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	岨	
47	農	視	蚤	巴	把	播	霸	把	波	派	破	婆	罵	芭	馬	俳	麾	排	排	敗	杯	盃	背	背	背	背	背	背	背	背	背	背	
48	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	
49	廟	描	病	秒	苗	鉞	蒜	蛭	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	
4A	弊	柄	蔽	閉	陛	賈	鮮	癖	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	
4B	擘	冒	紡	紡	膨	謀	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓
4C	明	盟	迷	銘	鳴	花	滅	免	綿	緬	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵
4D	嘗	輿	預	備	幼	幼	容	庸	揚	擺	耀	樣	洋	溶	熔	用	羊	耀	業	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容
4E	寮	料	梁	涼	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫	獫
4F	論	倭	和	詁	詐	賄	脇	惑	粹	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E		
40	窃	節	說	雪	絕	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	扇	撰	梅	泉	淺	洗	染	潛	煎	孺	旋	箭	箭	線			
41	操	早	曹	巢	檜	槽	槽	燥	争	瘦	相	窓	糟	綜	綜	綜	草	莊	葬	藻	裝	走	遭	鎗	鎗	鎗	鎗	鎗	鎗	鎗	鎗		
42	退	速	隊	黛	鯛	代	大	第	題	鷹	滝	瀧	卓	塚	宅	托	拓	拓	沢	濯	球	球	球	球	球	球	球	球	球	球	球	球	
43	逐	秩	亭	茶	嬌	着	中	仲	宙	思	抽	昼	柱	注	虫	表	註	耐	駐	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	
44	鈿	鶴	亨	低	停	俣	剝	島	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	提	提	提	提	提	提	提	提	提	提	提	提	提	提	提	
45	凍	刀	唐	塔	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套
46	奈	那	內	乍	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	
47	煤	煤	須	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
48	悲	悲	浮	批	披	斐	比	泌	疲	碑	秘	緋	肥	被	非	費	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	
49	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔	奔
4A	圃	捕	步	甫	輔	穗	募	慕	暮	母	簿	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣
4B	摩	磨	魔	麻	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹
4C	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃
4D	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃
4E	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃
4F	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃	沃

付録





■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS C6226-1978)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
70	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
71	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤
72	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
73	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
70	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	
71	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	
72	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	
73	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	
74																																
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
70	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
71	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	
72	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	鯁	
73	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS X0208-1990)

21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	
21	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	
22	◆	□	■	△	▽	▼	※	〒	←	↑	↓	⇒	⇐	⇑	⇒	⇓	⇔	⇕	⇖	⇗	⇘	⇙	⇚	⇛	⇜	⇝	⇞	⇟	⇠	⇡	
23	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1/2	1/4	3/4	5/8	3/8	
24	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た															
25	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ															
26	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
27	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
28	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
29	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2A	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2B	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2D	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	
2E	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	
2F	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	
21	~			...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
22	U	U																														
23	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
24	だ	ち	っ	つ	つ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	ほ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ほ	ま	み					
25	夕	チ	ツ	ツ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ハ	パ	ピ	ピ	フ	フ	フ	ヘ	ベ	ベ	ホ	ホ	マ	ミ					
26	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω								
27	Ю	Я	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	a	b	в	г	д	e	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
29	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2A	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2B	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
2C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2D	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]		
2E	夕	チ	ツ	ツ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ		
2F	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		

60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
21	÷	=	≠	<	>	≥	∞	.	♂	♀	°	′	″	℃	¥	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	●	○	◇	
22	▽	≡	≠	<	>	√	∞	.	♂	♀	°	′	″	℃	¥	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	●	○	◇	
23	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	む	め	も	や	や	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	る	る	を	ん	う	か	け								
25	△	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヰ	ヱ	ラン	ヴ	カ	ケ											
26	@	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
27	o	п	p	c	t	y	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	i	ii	iii	iv	v	vii	viii	ix	x	′	″	
28	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
29	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2A	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2B	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2C	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
2D	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
2E	日	日	日	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
2F	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS X0208-1990)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F			
30	呻	哇	阿	哀	愛	始	逢	葵	種	惡	握	渥	旭	葦	鱗	榨	幹	扱	宛	妲	妲	鮎	綯	綾	鮎	或								
31	院	隱	韻	吋	宇	高	羽	迂	雨	鵝	窺	丑	確	渦	噓	鬱	蔚	鱒	姥	浦	瓜	閨	嚙	運										
32	押	橫	歐	毘	翁	襖	鴛	開	沖	荻	屋	億	臆	桶	杜	奄	卸	恩	溫	錫	下	化	俟	何										
33	魁	海	灰	瓦	皆	繪	蟹	開	叫	寒	劾	外	咳	害	慨	概	換	取	相	稽	馨	飲												
34	粥	刈	戎	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勸	卷	喚	堪	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	柑	相	稽	馨	飲							
35	機	幟	戮	氣	汽	畿	季	稀	紀	規	記	貴	軌	輝	飢	騎	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	疑								
36	供	俠	僑	兇	競	共	熊	隸	象	纁	纁	鞞	軒	羸	羸	訓	群	軍	駢	元	原	嚴	幻	絃	傾	刑	啓	圭	珪	型				
37	掘	倉	牽	犬	獸	硯	硯	俱	肩	見	謙	軒	遣	鍵	險	顯	駢	元	原	嚴	幻	絃	傾	刑	啓	圭	珪	型						
38	檢	樞	牽	犬	獸	硯	硯	俱	肩	見	謙	軒	遣	鍵	險	顯	駢	元	原	嚴	幻	絃	傾	刑	啓	圭	珪	型						
39	后	喉	坑	垢	好	孝	宏	工	巧	幸	幸	庚	康	弘	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	杌	校	梗	構	江	洪							
3A	此	頃	今	困	坤	壘	恨	懇	昏	根	棍	混	紺	良	魂	些	佐	咬	峻	左	差	左	差	左	差	左	差							
3B	察	撻	撮	擦	札	殺	薩	雜	臯	騎	鏑	血	晒	傘	參	山	散	散	棧	元	產	失	什	住	充	悉	十	戎						
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	示	耳	詩	辭	夕	鹿	式	識	鳴	軸	零	七	叱	軌	集	失	什	住	充	悉	十	戎						
3D	宗	就	州	修	慈	拾	秀	秋	終	習	吳	舟	衆	襲	警	職	週	酉	酬	執	軌	集	失	什	住	充	悉	十	戎					
3E	勝	丘	升	召	哨	商	唱	響	獎	妾	婿	宵	將	小	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	擣	昇	昌	昭	晶	枏	梢				
3F	式	植	殖	燭	織	職	色	蝕	食	蝕	屍	伸	信	侵	唇	娠	審	心	慎	振	新	森	浸	深	疹	疹	疹	疹						

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
30	粟	拾	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	匡	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	為	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	雲	存	銜	叡	營	嬰	影	映	曳	采	泳	洩	洩	頤	頤	英	衛	詠	液	液	疫	益	溢	悅	謁	謁	謁	謁	謁	謁	謁	
32	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽
33	垣	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	垢	
34	汗	漢	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	
35	祇	養	蟻	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	驚	
36	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	
37	契	形	徑	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	慶	
38	言	謔	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	庫	孤	戶	故	枯	湖	狐	糊	胡	務	股	胡	菰	跨	跨	跨	跨	跨	跨	跨		
39	港	溝	溝	甲	皇	硬	穰	紅	絃	綱	耕	考	胫	胫	胫	航	荒	行	衡	講	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈			
3A	袞	坐	座	控	恆	任	最	使	塞	刺	司	彩	士	始	姊	姿	屍	市	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志			
3B	疾	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實		
3C	疾	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實		
3D	柔	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵		
3E	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵	樵		
3F	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神		

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
30	委	衣	謂	違	遺	醫	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	穉	稻	茨	芋	觴	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	園	堰	奄	延	怨	掩	援	沿	演	炎	煙	燕	猿	緣	艷	苑	園	遠	鉛	鴛	塗	於	汚	甥	凹	央	輿	在	庇		
32	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽
33	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	
34	巖	玩	癌	眼	岩	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	
35	朽	求	金	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	泣	
36	謹	祈	金	吟	銀	九	俱	句	區	狗	玖	矩	苦	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	
37	劇	戲	擊	激	際	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	傑	
38	伍	午	吳	鴻	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	
39	項	高	吾	鴻	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	剛	
3A	材	罪	財	牙	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	
3B	死	氏	獅	社	私	系	紙	紫	肢	脂	視	詞	詩	試	殊	資	賜	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉		
3C	酌	積	錫	若	寂	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	惹	
3D	準	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	
3E	準	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	
3F	準	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS X0208-1990)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	
40	澄	澄	寸	世	瀨	故	是	凌	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	柄	正	清	牲	生	盛	精	聖	聲	製	西	誠	
41	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	選	錢	銃	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禪	繡	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	臙	
42	藏	藏	贈	造	促	側	則	郎	息	捷	束	測	足	速	俗	厲	賊	族	純	卒	袖	日	歎	採	存	孫	尊	損	端	遜	他	
43	叩	但	達	辰	奪	脫	翼	豎	迴	暢	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝
44	帖	帳	斤	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撤	轍	鐵	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	軫	軫	軫	軫	
46	董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	閻	動	同	堂	導	撞	洞	童	童	童	童	童	童	童	童	童	童	童	
47	如	尿	箱	砵	任	妊	忍	認	濡	襦	寧	葱	貓	熱	年	捻	燃	粘	乃	迺	之	筵	窩	惱	濃	納	能	腦	腦	腦	腦	
48	函	箱	砵	任	妊	忍	認	濡	襦	寧	葱	貓	熱	年	捻	燃	粘	乃	迺	之	筵	窩	惱	濃	納	能	腦	腦	腦	腦	腦	
49	鼻	終	裨	匹	疋	髻	彥	膝	菱	肘	舛	必	畢	筆	逼	松	姪	媛	紐	百	謬	依	彪	標	漂	飄	票	表	評	豹		
4A	福	腹	複	覆	弗	弗	弘	沸	仏	物	紛	分	吻	噴	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	霧	文	聞	內	併	兵	弊	平	暴		
4B	法	泡	烹	飽	飽	芳	萌	蓬	蜜	訪	豐	邦	妙	耗	民	務	夢	無	牟	矛	竊	鷓	鳩	雄	奴	夕	暴	望	某	命		
4C	漫	曼	味	未	媿	巳	冥	岬	密	窳	湊	糞	派	耗	民	務	夢	無	牟	矛	竊	鷓	鳩	雄	奴	夕	暴	望	某	命		
4D	論	論	唯	佑	優	友	岬	密	窳	湊	糞	派	耗	民	務	夢	無	牟	矛	竊	鷓	鳩	雄	奴	夕	暴	望	某	命	命		
4E	病	裏	里	離	離	律	率	立	率	掠	略	劉	流	溜	琉	留	疏	粒	降	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	
4F	運	連	鍊	呂	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	
40	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	席	惜	威	芹	折	石	積	續	續	春	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設			
41	狙	疏	疎	礎	祖	租	租	素	組	蘇	訴	阻	溯	鼠	僧	創	雙	倉	喪	壯	奏	未	層	匝	惣	惣	惣	惣	惣	惣	惣		
42	太	汰	詫	唾	瑩	瑩	瑩	打	柁	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝	駝		
43	胆	蛋	誕	鍛	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談	值	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	致	致	致	致	致	致	致	致	致	致		
44	沈	珍	賃	鎮	陳	陣	墜	推	隨	追	痛	道	塚	梅	楓	佃	漬	柘	汪	蔦	綴	鑄	椿	漬	坪	壺	燻	細	爪	吊			
45	点	伝	殿	澁	田	電	兎	吐	堵	塗	屠	徒	斗	渡	登	冕	賄	途	都	鏤	砥	努	沌	奴	怒	倒	覺	冬	冬	冬			
46	得	德	徳	特	督	把	擲	獨	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派		
47	農	眼	蚤	巴	把	擲	獨	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派	派		
48	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎		
49	廟	描	病	秒	苗	鋌	蒜	蛭	品	彬	斌	濱	賓	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	婦	富	富	富	富	富	富	富	富	富	富		
4A	弊	柄	蔽	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	閉	
4B	樞	樞	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	防	
4C	明	盟	迷	銘	鳴	北	滅	免	綿	緬	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	
4D	蒼	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用	羊	耀	業	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	容	
4E	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮	寮
4F	論	論	唯	佑	優	友	岬	密	窳	湊	糞	派	耗	民	務	夢	無	牟	矛	竊	鷓	鳩	雄	奴	夕	暴	望	某	命	命	命	命	

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E			
40	節	筓	說	雪	絕	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	扇	撰	痊	梅	泉	淺	洗	染	潛	煎	焗	旋	穿	筓	線			
41	操	早	曹	巢	檜	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜	綜		
42	退	速	隊	黛	鯛	代	台	天	第	題	鷹	滝	瀧	瀧	卓	啄	宅	托	拓	拓	沢	濯	託	託	託	託	託	託	託	託	託	託		
43	逐	秩	空	茶	嬌	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	耐	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢		
44	釣	鶴	亭	低	俚	剝	貞	庭	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	錠	禎	禎	禎	禎	禎	禎	禎	禎	禎	禎	禎		
45	凍	刀	唐	密	套	宕	島	鳴	投	搭	東	桃	棗	棟	窰	淘	湯	濤	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈	燈		
46	奈	那	內	乍	瓜	隄	謎	灘	捺	鍋	樞	馴	繩	暇	南	楠	軟	難	汝	二	尼	式	逐	邇	邇	肉	虹	廿	日	乳	入			
47	模	煤	狼	買	壳	陪	這	罍	秤	劫	萩	伯	剝	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍	拍		
48	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	碑	秘	緋	龍	被	非	費	避	非	飛	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	髓	
49	奔	普	甫	父	甫	輔	德	募	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	
4A	圃	捕	步	甫	輔	德	募	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	慕	
4B	摩	磨	魔	麻	理	妹	妹	枚	每	哩	幕	膜	枕	鮪	枉	鱒	枰	亦	俣	又	抹	末	沫	沫	沫	沫	沫	沫	沫	沫	沫	沫	沫	
4C	尤	辰	粉	貴	問	問	紋	門	勿	也	治	夜	爺	耶	弥	矢	厄	役	約	藥	訊	躍	踴	踴	踴	踴	踴	踴	踴	踴	踴	踴	踴	
4D	沃	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴
4E	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴
4F	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴	浴

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS X0208-1990)

21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	
50	丐	丂	丌	不	丆	万	丈	三	上	下	丌	不	与	丏	丐	丑	丒	专	且	丕	世	丗	丘	丙	业	丛	东	丝	丞	丟	丠
51	尪	尫	尬	尭	尮	就	尲	尳	尴	尵	尶	尷	尹	尺	尻	尽	尾	尿	尿	尿	尿	尿	尿	尿	尿	尿	尿	尿	尿	尿	尿
52	辨	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	
53	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
54	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	
55	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	
56	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	
57	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	庖	
58	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	悻	
59	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	
5A	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	
5B	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	擘	
5C	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	
5D	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	槩	
5E	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	
5F	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	漾	

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
50	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	
51	兩	兪	兮	冀	回	册	再	冏	青	靑	冕	一	窳	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	
52	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	
53	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	啻	
54	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	
55	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	
56	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	
57	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	
58	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	慇	
59	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	
5A	收	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	
5B	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	杵	
5C	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	
5D	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	
5E	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	澆	
5F	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱

60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
50	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	
51	鳳	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	
52	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	
53	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	
54	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	壤	
55	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	
56	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	巫	
57	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	恬	
58	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	懋	
59	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	振	
5A	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	
5B	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	
5C	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	
5D	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	龐	
5E	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	
5F	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉	焉

付録



■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS X0208-1990)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
70	陝	陟	陲	陿	陿	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄	隄
71	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛
72	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
73	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	
74	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
70	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	
71	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	
72	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	
73	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	
74																																
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
70	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
71	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	
72	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	
73	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															

付録



■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
30	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	莖	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	鱗	梓	庠	幹	扱	宛	妯	妯	妯	妯	妯	妯	妯	或
31	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鷓	窺	丑	確	白	渦	噓	嘔	蔚	蔚	媧	媧	媧	媧	媧	媧	媧	媧	運
32	押	旺	橫	歐	殿	王	翁	襖	鷲	鶯	黃	岡	沖	茨	德	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	溫	該	音	下	化	佻	
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖	慨	漉	漉	漉	漉	漉	漉	漉	漉	漉	蛙	
34	粥	刈	刈	瓦	乾	冠	冠	寒	刊	劬	劬	卷	喚	塊	姿	完	官	寬	干	幹	患	價	憾	換	敢	相	桓	榘	款	歎	
35	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	疑	
36	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	唧	叫	喬	境	峽	強	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	喬	鄉	
37	掘	窟	杏	靴	窪	窪	熊	隈	采	栗	練	桑	鈞	歛	君	薰	訓	群	軍	郡	卦	袞	邪	係	傾	兄	啓	圭	型		
38	檢	權	牽	犬	獻	研	絹	梟	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顛	驗	元	原	嚴	幻	玄	更	杭	梗	構	江	洪		
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	更	抗	梗	構	江	洪	洪		
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	棍	混	痕	紺	良	魂	些	佐	叟	嵯	左	差	查	沙	瑤	鈔	詐		
3B	察	摺	摺	摺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	殺	
3C	次	滋	治	爾	堯	堯	磁	示	而	耳	自	時	辭	夕	鹿	式	識	鳴	竺	軸	突	零	七	叱	執	失	嫉	歪	濕		
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	習	莫	舟	蒐	響	躡	囀	箇	巢	集	仵	仔	充	于	充	于	充	于	充	戎	
3E	勝	匠	升	召	哨	唱	嘗	妾	媼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠	彰	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	梢		
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	審	心	慎	振	新	晉	森	浸	深	申	疹	疹		

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
30	粟	裕	安	庵	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	匪	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	緯	維	胃	
31	雲	往	餌	飯	嬰	嬰	影	映	映	榮	永	泳	洩	洩	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	益	祝	祝	謁	越	閏	閏	厭	門	
32	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	花	苛	荷	荷	華	菓	蝦	課	唾	貨	
33	垣	柿	蠟	鉤	劃	各	廓	拉	櫻	格	核	殼	獲	確	確	覺	角	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	榮	頤	頸	掛	笠	樞	
34	汗	漢	澗	灌	貫	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	覲	諫	貴	還	鑑	間	閑	閑	閑	館	館	丸	含	岸	
35	祇	義	蟻	誼	議	鞠	菊	鞠	吉	喫	桔	橘	詰	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救		
36	鏡	響	響	驚	仰	懸	懸	揭	攜	景	桂	淮	畦	稽	系	絲	繼	繫	羈	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	錫	五	互	互		
37	契	形	徑	惠	平	個	古	呼	固	姑	瓜	己	庫	孤	戶	故	枯	湖	狐	糊	膠	股	胡	孤	虎	跨	屋	顧	鼓	五		
38	言	諺	限	平	個	古	呼	固	姑	瓜	己	庫	孤	戶	故	枯	湖	狐	糊	膠	股	胡	孤	虎	跨	屋	顧	鼓	五	互		
39	浩	港	溝	甲	稟	稟	稿	糲	紅	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	購	醉	鉞	礦	鋼	綱	降	
3A	姿	坐	座	挫	債	債	再	最	戩	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟	災	采	犀	碎	皆	祭	齋	細	裁	截	劑	在		
3B	酸	餐	斬	暫	仗	什	仔	伺	使	刺	司	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯	施	旨	灼		
3C	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	疾	
3D	柔	汗	洪	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	戲	
3E	樵	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	省	確	確	祥	稱	章	笑	粧	紹	肖	蔣	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪	蕪		
3F	神	秦	神	臣	芯	新	親	診	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	腎	訊	迅	陣	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫		

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
30	萎	衣	謂	遠	遺	井	亥	域	育	郁	磯	一	疋	溢	逸	稻	茨	芋	鱗	允	印	咽	員	因	咽	引	飲	淫	胤	蔭	
31	園	壞	奄	宴	延	怨	掩	擲	演	演	炎	焰	煙	燕	猿	綠	苑	蘭	遠	鉛	鑑	墟	於	甥	凹	央	奧	往	改	改	
32	檀	棍	鹹	滷	割	喝	恰	括	活	渴	葛	揭	轄	且	鯉	叶	樞	樞	靴	靴	兜	兜	兜	兜	兜	兜	兜	兜	兜	兜	
33	巖	玩	癩	眼	岩	巖	雁	頑	頑	頑	企	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	旗	旗	既	期	棋	棄		
34	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	發	絞	糾	給	旧	午	去	居	巨	把	拋	率	渠	虛	許	距	鋸	鑿	魚	亨	亨	京	
35	謹	訥	金	吟	銀	九	俱	句	欠	狗	玖	矩	苦	驅	駝	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	圍	串	櫛	劍	扇	扇	
36	劇	靴	擊	激	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	際	
37	伍	午	吳	吾	娛	後	御	梧	梧	瑚	基	語	誤	護	訶	乞	鯉	交	倭	侯	倭	倭	倭	倭	倭	倭	倭	倭	倭	倭	
38	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	壕	壕	豪	轟	麴	克	刻	告	國	穀	酷	鷓	黑	獄	漚	腰	忽	惚	骨	狎	込	
39	材	罪	財	冚	坂	坂	塚	嶺	嶺	嶺	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎
3A	死	氏	獅	社	私	系	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	時		
3B	酌	淑	錫	若	寂	弱	惹	主	肢	守	朱	殊	狩	珠	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	
3C	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	潛	庶	緒	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3D	鉦	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘	鐘
3E	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹
3F	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
40	澄	澄	寸	世	瀨	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	輝	曾	盟	祖	措	曾	曾	楚	
42	藏	藏	贈	造	促	側	則	即	忌	拮	束	測	速	俗	厲	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	孫	損	村	遜	他	多	
43	叩	但	達	辰	奪	脫	巽	豎	豎	棚	谷	狸	鱗	樽	誰	丹	單	喚	坦	担	探	旦	歎	淡	滌	炭	炭	短	端	綻	耽
44	帖	帳	疔	巾	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	屨	町	眺	脹	腸	蝶	調	譎	超	跳	銚	長	頂	鳥	勦	抄	直	朕	
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	掘	敵	滴	的	笛	適	鑄	習	徹	撤	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	帖	軋	軋	軋	
46	董	蕩	藤	討	膽	豆	踏	逃	透	透	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導	撞	洞	瞳	童	洞	苟	道	銅	峠	嶋	匿	
47	如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	禰	禰	寧	葱	貓	熱	年	念	捻	燃	粘	乃	迺	之	墊	囊	惱	濃	納	能	膿	膿	
48	箱	箱	裕	箸	筆	管	榘	嶠	肌	晶	八	鉢	滾	兇	鬚	髮	伐	罰	拔	伐	闊	鳩	嘶	鳩	鳩	車	伴	判	半	反	
49	鼻	終	稗	匹	疋	髭	彥	膝	委	肘	溺	必	畢	筆	逼	檜	婁	紐	百	謬	佞	彪	標	水	漂	票	表	評	豹	豹	
4A	福	腹	複	覆	滯	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	內	併	兵	屏	幣	平
4B	法	泡	烹	砲	縫	芳	雨	逢	蓬	麥	訪	邦	鋒	飽	鳳	騰	之	亡	傍	劫	妨	唱	忘	忙	房	暴	望	某	命	命	
4C	漫	曼	味	未	魅	巴	箕	岬	密	湊	糞	脈	妙	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷓	鳩	婿	娘	冥	名	余	余	
4D	論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	裕	誘	遊	邑	鄒	離	虜	夕	子	余	余	
4E	痢	裏	裡	里	離	律	率	率	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	龍	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌	
4F	連	連	鍊	呂	魯	魯	爐	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	榔	榔	浪	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	祿	肋	錄	錄	

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
40	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	臍	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	切	拙	接	撰	拆	設	
41	狙	疏	疎	礎	租	租	租	蘇	蘇	訴	阻	颯	僧	創	叢	倉	喪	奏	爽	爽	宋	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	
42	汰	汰	詔	唾	妥	脩	打	舵	稽	陀	駢	堆	對	耐	帶	待	怠	態	戴	泰	泰	滯	胎	腿	峯	袋	袋	袋	袋	袋		
43	胆	蛋	誕	鋸	垣	彈	斷	暖	壇	段	男	談	值	知	地	恥	智	池	痴	稚	置	致	脚	遲	脚	毘	毘	毘	毘	毘	毘	
44	沈	珍	賃	鎮	津	墜	椎	追	鎚	痛	通	塚	梅	擱	楓	佃	漬	柘	辻	葛	綴	鏝	椿	漬	坪	壺	孀	爪	吊	吊		
45	点	伝	殿	殿	田	電	鬼	吐	塗	塗	妬	屠	徒	斗	渡	登	免	賭	途	都	鏡	砥	礪	努	度	土	奴	怒	怒	党	冬	
46	得	德	濟	特	督	禿	篤	毒	獨	說	榜	椽	凸	突	綬	屆	蒿	茜	酉	潯	頓	屯	惺	致	沌	豚	適	頤	否	臺	鈍	
47	農	視	蚤	巴	把	播	霸	把	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	非	靡	拜	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	煤	庇	
48	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎
49	廟	描	病	秒	苗	鋸	蒜	蛭	鱗	品	彬	斌	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	扶	敷	敷		
4A	弊	弊	並	蔽	閉	陸	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	幣	蔑	篋	偏	麥	篇	編	邊	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	備	鋪	鋪	
4B	棒	冒	紡	紡	膠	膠	貌	質	鉗	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	鈞	鈞	沒	殆	殆	魄	奔	本	翻	凡	盆	
4C	明	盟	迷	銘	鳴	牾	牾	滅	免	綿	綿	面	麵	摸	茂	妄	孟	毛	盲	盲	網	耗	蒙	儲	不	熟	否	否	否	否	否	
4D	譽	輿	預	幼	妖	庸	庸	揚	搖	耀	耀	樣	洋	溶	溶	用	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠
4E	察	料	梁	涼	獠	獠	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	量	領	力	綠	倫	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	麟	麟	璠	璠	璠	璠	
4F	論	倫	和	話	舌	賄	脇	惑	杵	杵	互	巨	鈔	認	蕨	碗	碗	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
40	筭	節	說	雪	絕	舌	蟬	仙	先	千	古	宣	專	尖	川	戰	扇	撰	桎	梅	泉	淺	洗	染	潛	煎	煽	旋	穿	穿	線	
41	操	早	曹	巢	檜	槽	漕	燥	爭	癩	癩	相	窓	縉	縉	綜	綜	綜	綜	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	像	增
42	退	逮	隊	黛	鯛	着	台	大	癩	題	鷹	瀧	瀧	卓	啄	宅	托	扞	拓	沃	濯	塚	託	鐸	鐸	諾	諾	諾	諾	諾	諾	
43	逐	秩	窠	茶	嬌	着	中	宙	抽	屋	柱	汪	虫	表	註	耐	駐	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟
44	釣	鶴	亭	低	俾	偵	刺	貞	呈	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	錠	禊	程	綿	艇	訂	諦	蹄	通	通	
45	煉	刀	唐	塔	塔	套	宕	島	嶋	倅	投	搭	東	桃	構	棟	窰	淘	湯	瀟	汀	燈	當	痘	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	
46	奈	那	內	乍	夙	羅	謎	灘	捺	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽
47	樑	煤	須	貢	賈	賈	陪	這	繩	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤	秤
48	彼	悲	羸	批	披	斐	比	泌	疲	皮	秘	緋	龍	肥	被	非	費	避	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非	非
49	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落	伏	副	復	幅	服	
4A	圃	捕	步	甫	輔	輔	穗	募	慕	慕	戍	暮	簿	菩	倣	俸	包	采	報	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉
4B	磨	磨	魔	麻	妹	味	枚	每	哩	禎	幕	枕	鮪	枉	樽	枹	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	儘	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	
4C	尤	戾	剖	真	問	問	紋	門	刃	也	治	夜	爺	耶	野	弥	厄	役	約	藥	詛	躍	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
4D	沃	浴	羽	翼	凝	羅	螺	樑	來	賴	雷	洛	絡	落	酪	亂	卵	風	欄	濫	濫	濫	濫	濫	濫	濫	濫	濫	濫	濫	濫	濫
4E	類	令	伶	例	勵	勵	嶺	伶	玲	玲	苓	鈴	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
4F	丿	㇇	㇈	㇉	㇊	㇋	㇌	㇍	㇎	㇏	㇐	㇑	㇒	㇓	㇔	㇕	㇖	㇗	㇘	㇙	㇚	㇛	㇜	㇝	㇞	㇟	㇠	㇡	㇢	㇣	㇤	㇥

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS C6226-1978)

21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	
50	式	丐	丕	个	非	井	丁	又	乖	乘	亂	丁	豫	爭	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	毫	竄	从	仄	仆	仗	仗	仗	
51	僉	僊	傳	僂	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	
52	辨	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	
53	咫	晒	咤	哧	高	呷	哥	哦	唔	唔	哽	哮	哭	嘔	啡	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
54	圜	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	
55	奸	妁	妝	佞	佞	妣	姐	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	
56	宸	屏	屏	屬	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	夙	
57	廖	廣	廝	廚	廖	慶	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	
58	悄	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	
59	憂	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	
5A	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	
5B	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	
5C	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	樁	
5D	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	滌	
5E	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲	洲
5F	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	漓	

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
50	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	
51	兩	翕	兮	冀	回	册	再	阿	青	菁	冕	一	冤	寇	冢	寫	寫	了	決	五	沖	冰	況	冽	冽	涼	涼	几	處	夙	凭
52	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
53	嘈	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	
54	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	
55	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	
56	峯	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	
57	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	
58	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	懸	
59	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	
5A	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	
5B	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	黍	
5C	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	楸	
5D	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	飲	
5E	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	
5F	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱

60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
50	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚	倚
51	鳳	口	函	刃	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判
52	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀	呀
53	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
54	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
55	它	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦
56	巫	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳
57	怙	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠
58	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
59	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆
5A	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨
5B	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳
5C	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
5D	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
5E	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿	滿
5F	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙

付録



■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS C6226-1978)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
70	陝	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
71	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	顯	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉
72	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
73	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
70	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	
71	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	
72	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	
73	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	饜	
74																																
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
70	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
71	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
72	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
73	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															

付録

# (4) JEF拡張非漢字コード表

## ■JEF拡張非漢字コード表

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF
51																																
52																																
53																																
54																																
55																																
56																																
57																																
58																																
59																																
5A																																
5B																																
5C																																
5D																																
5E																																
5F																																

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF
51																																
52																																
53																																
54																																
55																																
56																																
57																																
58																																
59																																
5A																																
5B																																
5C																																
5D																																
5E																																
5F																																

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC	FD	FE	FF
51																																
52																																
53																																
54																																
55																																
56																																
57																																
58																																
59																																
5A																																
5B																																
5C																																
5D																																
5E																																
5F																																



# 索引

## 【数字・アルファベット】

2ページ印刷機能	2-61
2ページ印刷機能の設定	3-14
Fmode 1	2-9
Fmode 2	2-11
Fmode 3	2-12
Fmode 3のワイド領域	2-23
Fmode 4	2-14
Fmode 4のワイド領域	2-25
Fmode 6	2-16
Fmode 6のワイド領域	2-26
Fmode 7	2-18
Fmode 7のワイド領域	2-27
Fmode 8	2-20
Fmode 8のワイド領域	2-28
HEX/LIPS機能	3-38
LIPSフォーム	3-40
OCR文字	3-22
VFCグループ	3-33

## 【い】

イメージの補正	3-25
印字機能グループ	3-25
印字動作グループ	3-31
印字領域の右端	2-40
印字領域の下端	2-38
印字領域の左端	2-36
印字領域の上端	2-33
印字領域モード	3-11

## 【う】

上余白 .....3-7

## 【え】

エミュレーションモードの初期値 .....app.6

## 【か】

拡張機能 .....2-41

カット紙 .....2-2

漢字サイズ .....3-24

漢字書体 .....3-20

漢字比率 .....2-57

漢字ピッチ .....3-19

## 【き】

行桁固定機能 .....2-56

行桁固定機能グループ .....3-15

行数 .....3-17

行数固定機能 .....3-15

共通ページ .....2-47

## 【け】

桁固定機能 .....3-16

桁数 .....3-18

## 【こ】

コマンドモード .....3-36

## 【し】

システムページ .....2-42

システムページのオーバーレイ印字 .....3-26

自動排紙 .....3-31

初期状態 .....app.6

## 【す】

スタートアップマクロ .....	3-28
ステータスプリント .....	app.16

## 【そ】

ソフトリセット処理 .....	app.6
-----------------	-------

## 【と】

動作モード .....	1-5
登録レベル .....	3-37

## 【は】

ハードリセット処理 .....	app.6
-----------------	-------

## 【ひ】

標準領域モード .....	2-23
左開き .....	2-61

## 【ふ】

フォントID .....	3-21
フォントグループ .....	3-20
複写ページ .....	2-47
複写用紙機能 .....	2-47

## 【へ】

ヘキサ形式モード後の改行無視の指定 .....	3-32
ページオーバーレイ機能 .....	2-41
ページ長の設定 .....	3-33
ページフォーマット .....	2-3
ページフォーマットの種類 .....	2-8
ページフォーマットを選択 .....	3-5
ページレイアウトグループ .....	3-5

## 【ま】

マクロ機能 .....	2-52
マクロ番号 .....	2-52

## 【み】

右開き .....	2-61
右マージン既定値 .....	3-12
右マージン動作 .....	3-32
ミシン目スキップ行数の設定 .....	3-35

## 【ゆ】

ユーザページ .....	2-44
ユーザページのオーバーレイ印字 .....	3-29, 3-30
ユーザページの登録 .....	2-44

## 【よ】

用紙位置の微調整 .....	3-9
用紙サイズ .....	2-2
用紙サイズの設定 .....	3-13

## 【り】

リセット処理 .....	app.6
リセット処理の種類 .....	app.6

## 【れ】

連続用紙 .....	2-2
------------	-----

## 【わ】

ワイド領域モード .....	2-23
----------------	------

# メニュールートマップ

F359

## 《F359専用セットアップメニュー》

共通セットアップメニューのグループの階層で「F359セットアップ」を選択すると、F359専用セットアップメニューが表示されます。

### F359セットアップ

#### ページレイアウト

- ページフォーマット P.3-5
  - 実寸縦
  - 実寸横
  - 10° → A4縦
  - 15° → A4横
  - 15° → B4横
  - B4 → A4縦
  - B4 → A4横
- 上余白 P.3-7
  - 127
  - +000
  - +127
- 用紙位置微調整 P.3-9
  - 127
  - +000
  - +127
- 領域 P.3-11
  - 標準
  - ワイド
- 右マージン既定値 P.3-12
  - 136桁
  - 右端
- 用紙サイズ P.3-13
  - カレント用紙
  - A3
  - B4
  - A4
  - B5
  - A5
  - ハガキ
- 2ページ印刷設定 P.3-14
  - しない
  - 左
  - 右

#### 行桁固定

- 行固定機能 P.3-15
  - 無効
  - 有効
- 桁固定機能 P.3-16
  - 無効
  - 有効
- 行数 P.3-17
  - 10行
  - 66行
  - 400行
- 桁数 P.3-18
  - 10桁
  - 136桁
  - 400桁
- 漢字ピッチ P.3-19
  - 2/1
  - 3/2
  - 4/3
  - 5/4
  - 1/1

#### フォント

- 漢字書体 P.3-20
  - 明朝
  - ゴシック
  - 丸ゴシック
  - ID
- フォントID \*P.3-21
  - 001
  - 002
  - 999
- OCR文字 P.3-22
  - 使用せず
  - OCR-B
  - OCR-A
  - OCR-B/OCR-カナ
  - OCR-A/OCR-カナ
- 漢字サイズ P.3-24
  - システム
  - 8ポイント
  - 10ポイント
  - 12ポイント

#### 印字機能

- イメージの補正 P.3-25
  - しない
  - する
- システムオーバーレイ P.3-26
  - オフ
  - 1
  - 2
  - 3
  - 4
  - 5
- スタートアップマクロ P.3-28
  - 0
  - 255
- ユーザオーバーレイ1 P.3-29
  - オフ
  - オン
- ユーザオーバーレイ2 P.3-30
  - オフ
  - オン

#### 印字動作

- 自動排紙 P.3-31
  - オフ
  - 5秒
  - 300秒
- HEXモード後のLF P.3-32
  - 無視する
  - 無視しない
- 右マージン動作 P.3-32
  - 復帰/改行
  - データスキップ

#### VFC

- 帳票ページ長 P.3-33
  - システム
  - 1行
  - 199行
- ミシン目スキップ P.3-35
  - 0行
  - 31行

#### その他

- コマンドモード P.3-36
  - FM
  - F94
- 登録レベル P.3-37
  - 一時
  - 永久
- HEX/LIPS機能 P.3-38
  - 無効
  - 有効
- LIPSフォーム P.3-40
  - LIPS2
  - LIPS4

**ページレイアウト** : 「F359グループ」の階層を表しています。

**ページフォーマット** : 「設定項目」の階層を表しています。

**実寸縦** : 「設定値」の階層を表しています。  
アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値を表しています。

・ルートマップ中の「-----」は、設定値を省略していることを表しています。

・「\*」印の設定値は、他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。

**Canon**